

外岡 豊 教授 履歴・業績

1950 年 9 月
神奈川県藤沢市生まれ

学 歴

1966 年 3 月 横浜国立大学学芸学部付属鎌倉中学校卒
1969 年 3 月 神奈川県立湘南高等学校卒 外岡 豊教授
1973 年 3 月 早稲田大学理工学部建築学科卒
1975 年 3 月 同・大学院 理工学研究科 建設工学専攻 建築設備工学専修
(都市環境工学, 尾島俊雄研究室) 修士修了
1989 年 3 月 同・工学博士 都市環境計画のための大気汚染物質排出構造に関する研究

職歴および教育経験

1975 年 4 月 (財)計量計画研究所 (IBS) 入所
1975 年 4 月～1978 年 3 月 都市計画研究室 研究助手
1978 年 4 月～1983 年 3 月 同 研究員
1983 年 4 月～1984 年 3 月 環境資源研究室 研究員
1984 年 4 月～1992 年 3 月 同 副主任研究員
1992 年 4 月～1996 年 3 月 同 主任研究員

(留学) IIASA (International Institute for Applied System Analysis), Environmentally Compatible Energy Strategies Project (ECS) Guest Research Scholar, 在Austria, Wien郊外, Laxsenburg (1992 年 6 月～1992 年 8 月)
Harvard University Division of Applied Sciences and Department of Earth and Planetary Sciences, Atmospheric Sciences group Visiting Scholar (1992 年 9 月～1993 年 3 月)
(兼務) 早稲田大学理工学研究所特別研究員 (1991 年 7 月～1993 年 3 月)
(兼務) (財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) 地球環境システム研究室 主任研究員 (1993 年10月～1996 年 3 月)
(兼務) 麗澤大学 国際経済学部 非常勤講師 (1993 年 4 月～1997 年 3 月, 環境科学 (2～4 年選択科目) 担当

(兼務) 大阪大学先端科学技術共同研究センター客員教授 (1995年12月～1996年3月)

埼玉大学 経済学部 社会環境設計学科 教授 1996年4月～2015年3月

埼玉大学 経済短期大学部 併任 1996年4月～1997年3月

埼玉大学 経済学部社会環境設計学科 学科長 2001年度, 2006年度

埼玉大学 工学部環境共生学科 (学内兼務) 環境政策, 地球環境政策・講義担当 2006年度～2015年度

埼玉大学 環境科学研究センター社会科学部門 教授 (学内兼務) 2009～2013年度 社会科学部門
廃止により退任

(兼務) 大阪府立大学工学部 非常勤講師 (1996年度)

(兼務) 東京農工大学工学部 非常勤講師 (1996年度)

(兼務) 東京芸術大学大学院 非常勤講師 (美術学部・建築学科・環境計画特論) (1997年度～2002年度)

(兼務) 彩の国 県民カレッジ 非常勤講師 (1998年度)

(兼務) いきがい財団 (埼玉県高齢者生きがい振興財団) 非常勤講師 (1999年度)

(兼務) 国立環境研究所 客員研究員 (1998年度～2001年度)

(兼務) 国立環境研究所 客員研究員 (2003年度～2006年度)

(兼務) Imperial College, Department of Environmental Science and Technology, EPMG
(Environmental Policy and Management Group) in London, UK, Visiting Researcher (2000.4
～2005.4)

(兼務) Imperial College London, CEP (Centre for Environmental Policy) and ICEPT (Imperial College
Centre for Energy Policy and Technology), in UK, Visiting Professor (2005.5～2011.5)

(兼務) 早稲田大学理工学研究科 (創造理工学部建築学科) 招聘研究員 (2010年度～)

(兼務) 埼玉県いきがい大学春日部校舎 非常勤講師 (2011年度～2014年度)

2014年度後期 特殊講義 Environmental Problem and Sustainability (経済学部・昼間) 講義担当

2015年4月～2016年3月 埼玉大学人文社会科学研究科 教授, 経済学部と教養学部の統合大学院設
立に伴い改組

2015年度 人文社会科学研究科社会学研究領域長

2015年度後期 Global Environment and Asia (大学院・博士前期課程) 講義担当

2016年3月 定年退職

2016年4月 埼玉大学名誉教授 就任

2016年度 環境政策論 (経済学部, 工学部環境共生学科), 環境政策特講 (経済学部), 地球環境政策
(工学部環境共生学科), 環境政策論 (人文社会科学研究科博士前期課程), 非常勤講師として講義担
当予定

受賞等

西安交通大学客座教授 (人居环境建筑工程学院) 名誉職 2006年4月7日授与

大連理工大学客座教授 (能源与動力学院) 名誉職 2007年6月20日付授与

雑誌産業公害（現・環境管理），1992 年度 年間優秀論文賞受賞

エネルギー学会誌・論文賞，2003 年度（本藤裕樹等・共著）

空気調和衛生工学会 SHASE 技術フェロー（2012 年度～） 認定番号 12-10531

団体役員等

都市問題会議 代表世話人（2003 年 11 月～2007 年 01 月），現在，世話人

エコステージ協会・埼玉地区理事長（2004 年 4 月～）

エコステージ協会・理事（2014 年 5 月～）

NPO 法人 EE ハーモニー代表（2004 年 4 月～）

森街再生会議 代表（2014 年 4 月～）

低炭素社会推進会議 幹事（2014 年 7 月～）

学術経験（審議会，検討会，学会・団体委員等）

科学研究費審査委員

日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員第 2 次審査員（2005 年度～2006 年度）

同上第 1 次審査員（2013 年度）

官庁等検討会審議会委員

原子力研究所 エネルギーの生産と消費に対する環境制約研究委員会（1984 年度）

環境庁 エネルギーと環境のモデル研究委員会（1985 年度）

環境庁 地球温暖化経済影響委員会（1989 年度）

環境庁 社会システム改革研究会委員（1993 年度～1994 年度）

環境庁 温室効果ガス排出量推計手法調査委員会（1995 年度～1996 年度）

環境庁 温室効果ガス等排出吸収目録検討委員会（1996 年度）

環境庁 化学物質管理手法（環境予測手法）基礎調査検討委員会（1997 年度）

環境庁 環境アセスメントマニュアル検討委員会（1997 年度）

環境庁 発生源インベントリー作成手法開発調査検討委員会（1997 年度）

環境庁 PRTR 非点源排出量推計方法検討調査検討会委員（1998 年度～2006 年度）

環境庁 同上検討会・化学物質 WG 主査（1998 平成 10 年度～2001 年度）

環境庁 東アジア酸性雨シミュレーションモデル検討会委員（1999 年度）

環境庁 大気汚染物質排出量グリッドデータ整備調査検討会委員（1999 年度）

環境庁 温室効果ガス排出削減・吸収計画に関する調査検討会委員（2000 年度）

環境省 温室効果ガス排出量将来推計委員会委員（2003 年度）

環境省 温室効果ガス排出量将来推計委員会産業分科会委員（2003 年度）

- 環境省 温室効果ガス排出量将来推計委員会民生分科会委員（2003年度）
- 環境省 温室効果ガス排出量将来推計委員会交通運輸分科会委員（2003年度）
- 環境省 住宅・建築物に係る地球温暖化対策のあり方に関する検討委員会（2003年度）
- 環境省 地球温暖化対策技術検討会委員（2003年度～2004年度）
- 環境省 地球温暖化対策推進大綱の評価手法検討会委員（2003年度）
- 環境省 温室効果ガス排出量算定方法検討会委員（2004年度～2007年度）
- 環境省 同検討会インベントリWG委員（2004年度～2009年度）
- 環境省 温室効果ガス排出量算定方法検討委員会・エネルギー工業プロセスWG委員（2004年度～）
- 環境省 地球温暖化対策地域推進計画策定ガイドライン改訂調査検討会委員（2006年度）
- 環境省 京都議定書目標達成計画評価・見直し検討会委員（2006年度～2007年度）
- 通産省 有用金属の総合リサイクルに関する調査研究検討委員会（1998年度）
- 経済産業省環境経済産業局 国内排出削減量認証制度基盤整備事業（地域連携による国内クレジット制度促進事業（関東地域）審査委員会（2009年度）
- JETRO ベトナム『ハノイ地区の産業廃棄物処理体制の強化』事業の今後の展開に関する戦略検討委員会（2008年度）
- 三菱総研（環境省・林野庁委託），木材利用推進・省エネ省CO₂実証業務，建築・木材製品に関する利用分科会座長（2013年度）
- 三菱総研（環境省・林野庁委託），木材利用推進・省エネ省CO₂実証業務，建築・木材製品に関する利用分科会委員（2014年度～2015年度）
- 埼玉県大規模小売店立地審議会委員（労働商工部）（2001年度～2003年度）
- 埼玉県地球温暖化対策地域推進計画策定委員会委員（2003年度）
- 埼玉県環境影響評価技術審議会委員（2008年度～2011年度，任期満了退任）
- 埼玉県地球温暖化対策検討専門委員会委員（2008年度～2011年度，任期満了退任）
- 埼玉県地球環境専門委員会排出枠取引検討小委員会（2010年度～2011年度）
- 埼玉県環境優良建築表彰審査員（2009年度～2011年度）
- 埼玉県住まいづくり協議会，埼玉県環境住宅賞審査委員会（2013年度～）
- さいたま市住宅マスタープラン策定委員会（2003年度，2007年度）
- さいたま市省エネ住宅推進地域協議会委員（2007年度）
- さいたま市住生活基本計画策定委員会（2008年度）
- さいたま市環境局環境共生部地球温暖化対策課新エネルギー政策策定検討委員会（2012年度）
- さいたま市建設局建築部住宅課さいたま市住生活基本計画策定懇話会委員（2012年度～2013年度）
- エコアクション21地域事務局さいたま地域運営委員会委員（2007年度～）
- 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター，主体間連携モデル推進事業検討会委員（2007年度～2008年度）
- 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター，埼玉県住まいの温暖化対策協議会・会長（2008年度）
- 埼玉県地球温暖化防止活動推進センター，環境省地域主導型再生可能エネルギー事業化検討委託業

務，都市と森をつなぐ再生エネルギー協議会，副会長（2012 年度～ 2016 年度）

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター，小規模事業所向け省エネルギー促進コンソーシアム検討会
委員（2012 年度～ 2015 年度）

日本工業炉協会 「高性能工業炉の開発」最終評価委員会（2000 年度）

シップ・アンド・オーシャン財団 船舶排ガスの地球環境への影響と防止技術の調査委員会（1998 年度）

シップ・アンド・オーシャン財団 船舶からの温室効果ガス（CO₂ 等）の排出削減に関する調査研究委
員会委員（2000 年度）

財・建築保全センター 既存官庁施設の総合的な環境負荷低減化手法の検討専門委員会（1998 年度
～ 2000 年度）

日本鋼構造協会 鋼構造物の環境負荷調査小委員会委員（2002 年度～ 2004 年度）

日本鋼構造協会 同上 鋼構造物の LCA に関する WG 主査（2002 年度～ 2004 年度）

Member of consultative committee on emission inventory for Resource Management Associates of
Madison Inc. (1995)

IPCC, Greenhouse Effect Gases Emission Inventory Guide Line, Reviewer, (2004)

IPCC4thReport, WG3, Reviewer, (2005)

IPCC5thReport, WG3, Reviewer, (2013)

学会委員会等

日本建築学会 地球環境特別研究委員会 エコロジカルシティー分科会（1991 年～ 1992 年）

日本建築学会 環境工学委員会 都市エネルギー小委員会（1992 年～ 1996 年）

日本建築学会 地球環境特別研究委員会 LCCO₂ 分科会（1993 年～ 1996 年）

日本建築学会 地球環境委員会 委員（1996 年度～ 2002 年度，2007 年度～ 2014 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 幹事（1996 年度～ 1998 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 アジェンダ 21 小委員会（1995 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 ライフサイクル評価小委員会（1996 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 環境管理小委員会主査（1997 年度～ 1998 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 環境管理小委員会地球環境対策評価 WG 主査（1997 年度～ 1998 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 建築 LCA 指針策定小委員会（1997 年度～）

日本建築学会 地球環境委員会 COP₃ 対応小委員会（1997 年度～ 1998 年度）

日本建築学会 都市設備・環境管理小委員会 都市熱環境形成プロセス WG 委員（1996 年度～
1998 年度）

日本建築学会 都市設備・環境管理小委員会 都市熱環境 WG 委員（1999 年度～ 2000 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 行動計画小委員 委員（1999 年度～ 2000 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 対策評価小委員 主査（1999 年度～ 2002 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 対策評価小委員会 生活評価 WG 主査（1999 年度～ 2002 年度）

日本建築学会 地球環境委員会 アジア地域のサステナブル建築環境検討小委員会（2004 年度～）

- 日本建築学会 地球環境委員会 温暖化対策評価小委員会 マクロ評価 WG 主査 (2005 年度～2006 年度)
- 日本建築学会 地球環境委員会 温暖化対策推進小委員会 シナリオ WG 主査 (2007 年度～2010 年度)
- 日本建築学会 地球環境委員会 気候変動対策小委員会 (2011 年度～)
- 日本建築学会 地球環境委員会 住宅カーボンニュートラル達成シナリオ WG 主査 (2010 年度～2013 年度)
- 日本建築学会 社会ニーズ委員会 地球温暖化対策アクションプラン策定特別調査委員会 (2010 年度～2011 年度)
- 日本建築学会 地球環境委員会 カーボンニュートラル化行動計画推進WG (2012 年度～2014 年度)
- 日本建築学会 地球環境委員会 委員長 (2013 年度～2014 年度)
- 日本建築学会 地球環境委員会 低炭素社会推進合同 WG 委員 (2014 年度～)
- 日本建築学会 地球環境委員会 低炭素社会推進都市分野 WG 主査 (2014 年度～)
- 日本建築学会 社会ニーズ委員会 社会的共通資本形成戦略特別調査委員会 (2013 年度～2014 年度)
- 日本建築学会 学術推進委員会 伝統的木造住宅の温熱環境と省エネルギー研究委員会 (2013 年度～2014 年度)
- 日本建築学会 論文集編集委員会 (地球環境分野担当幹事) (2002 年度～2003 年度)
- 日本建築学会 卒業論文等顕彰事業委員会 (環境系選考部会) (2011 年度～2012 年度)
- 日本建築学会 倫理委員会 (2011 年度～)
- 日本建築学会 倫理委員会倫理研究小委員会 (2011 年度～2015 年度)
- 日本建築学会 倫理委員会倫理研究小委員会建築環境倫理 WG 主査 (2011 年度～2015 年度)
- 低炭素社会推進会議 (建築学会等 18 団体で 2014 年 7 月 22 日設立) 幹事 (2014 年度～)
- 大気環境学会誌 編集委員 (1997 年度～1999 年度)
- 大気環境学会 地球温暖化研究分科会 世話人 (1995 年～)
- 5thGEIA (Global Emission Inventory Activity) Workshop Local Committee (1994 年)
- ASSAQ2003 Local Committee (2002 年～2003 年)
- 日本大気公害防止関係団体連合会 第 16 回地域清空会議 (アジア太平洋地域会議) 国内組織委員会
- 16th Regional Conference of Clean Air and Environment in Asian Pacific Area Local Committee (2004 年度～2005 年度)
- 2nd International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, Xiam Jiaotong University (2005.11.23.25), Head of Program Committee
- 6th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment Technical Committee (2009 年)
- Peer Reviewer of the IGES Climate Change Group (2010)
- AFC, Asia Future Conference, 1st, 2013.3.8-10, Bangkok, Thailand, SGRA, 学術副委員長
- 電気学会技術委員会メタボリズム社会・環境技術委員会 (2000 年度)
- 環境情報科学センター環境研究発表会実行委員 (2000 年度)
- 空気調和衛生工学ハンドブック著作委員 (1992 年～1993 年)

埼玉大学経済学会編集委員会（2000 年度～ 2001 年度）

RITE 研究助成審査委員（1998 年度～ 2000 年度）

RITE 国内研究者海外派遣及び海外研究者招聘選考委員会（2001 年度）

某奨学金支給審査委員（2002 年度～ 2004 年度）（就任非公開）

所属学会等

日本建築学会

空気調和衛生工学会

大気環境学会

エネルギー・資源学会

社会・経済システム学会

日本エネルギー学会

環境経済政策学会

環境社会学会

日本都市計画学会

環太平洋産業連関分析学会

環境科学会

日本 LCA 学会

環境情報科学センター

アジア都市環境学会

埼玉大学経済学会

その他団体等

地球環境市民会議 CASA 会員

都市環境エネルギー協会（2009 年～） 第 2 種会員

早稲田都市計画フォーラム（任意団体） 会員（2009 年度～）

地球温暖化対策技術会議

渥美国際交流奨学財団・関口グローバル研究会（2003 年度～）

地球環境戦略研究機関 IGES 会員（2013 年度～）

構想日本 会員（2014 年度～）

日本木質バイオマスエネルギー協会 会員

研究業績

著書

- 1) 外岡 豊 (部分執筆) : 日本建築学会の技術者倫理教材, 第 2 版, 3.3(3), 建築環境倫理教材, p46-49, 日本建築学会, 丸善, 2014.3
- 2) 外岡 豊 (部分執筆) : 建物の LCA 指針—温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール—, 日本建築学会, 丸善, 2013.2
- 3) 外岡 豊 (部分執筆) : 都市は誰のものか, 日本都市問題会議編, 清文社, 2007.2
- 4) 外岡 豊 (部分執筆) : 東アジア地域におけるエアロゾル成因物質の排出量推計, エアロゾルの大気環境影響, 笠原三紀夫 / 東野達編, 京都大学学術出版会, 2007.2
- 5) 外岡 豊 (部分執筆) : 建物の LCA 指針, 日本建築学会地球環境委員会 LCA 指針小委員会, 丸善, 2006.11
- 6) 外岡 豊 (部分執筆) : 社会環境設計論への招待, 八千代出版, 第 1 章 21 世紀を迎えて—歴史の大転換点に生きる—, p 3-21, 2005.4, 同改訂版 2008
- 7) 外岡 豊 (部分執筆) : 建築環境マネジメント, シリーズ地球環境建築専門編 3, 11.4 LCA データベース, p297-305, 日本建築学会, 彰国社, 2004.1
- 8) 外岡 豊 (部分執筆) : 城市環境学, (日) 都市環境学教材編集委員会編, 林荫超等译, 李海峰等校, 机械工业出版社, 2005.9
- 9) 外岡 豊 (部分執筆) : 都市環境学, 森北出版, 第 3 章都市の大気環境, p36-44, 第 14 章環境評価, 14.4 建築 LCA による地球環境負荷の低減 p211-215, 2003.5 (2016.6 改訂版出版)
- 10) 外岡 豊 (部分執筆) : 地球の限界, 水谷広編集, 日科技連出版社, パラダイム, 地球の限界にいきついた時代, p27-39, 1999.12
- 11) 外岡 豊 (部分執筆) : 日本建築学会: 建物の LCA 指針(案) —地球温暖化防止のための LCCO₂ を中心として—, 日本建築学会, 1999.2
- 12) 外岡 豊 (部分執筆) : 環境ジャパン—地球環境と日本の明日を読む, 碓氷尊, グレン・パオレット編著, ダイアモンド社, 2-1 日本の大気汚染動向 SO_x, NO_x と酸性雨, p44-46, 1999.1
- 13) 外岡 豊 (部分執筆) : 環境用語辞典, オーム社, 1998
- 14) 外岡 豊 (部分執筆) : 中国環境ハンドブック, 第 1 編, 第 1 章Ⅲ 2, エネルギー消費量の推移, サイエンスフォーラム, p54-61, 定方正毅編, 1997.10
- 15) 外岡 豊 (部分執筆) : 地球環境の行方—酸性雨, 中央法規出版, p29-38, 2 —酸性雨原因物質の排出量および降下量の状況と予測, 1997.11
- 16) 外岡 豊 (部分執筆) : 日本建築学会地球環境委員会・ライフサイクル CO₂ 小委員会: ライフサイクル CO₂ で建物を測る—建物の環境負荷評価の手引き—, 日本建築学会, 1996.2
- 17) 外岡 豊 (部分執筆) : 空気調和・衛生工学便覧第 12 版, 空気調和衛生工学会, 1994

学術論文

2015 年

- 1) Yutaka Tonooka, Hiroto Takaguchi, Koichi Yasui, Takuo Maeda: Life Cycle Assessment of Domestic Natural Material Wood House in Japan, Proc.AIUE, 12th, 2015.10 (論文投稿, 口頭発表なし)
- 2) 外岡 豊: 持続可能性と Sustainable を巡って, 社会科学論集, 第 144 号, 2015 (平成 27) 年 3 月, 特集: 社会科学への招待 2015, p35-59, 依頼原稿
- 3) 田中昭雄, 外岡 豊: 住宅におけるエネルギー選択と市区町村別 CO₂ 排出原単位の研究—住宅の環境負荷とその地域性に関する研究 その 2—日本建築学会環境系論文集, Vol.80, No.708, pp177-184, 2015.3, 査読有

2014 年

- 4) 外岡 豊, 東アジアの大気汚染問題の解決に向けて日中韓共同政策の可能性—稲作協労社会の歴史に学ぶ, 東アジア国際秩序の形成と未来—中日韓三国学術シンポジウム論文集, p201-213, 2014.9
- 5) 外岡 豊, 在解决东亚大气污染问题上日中韩政策合作的可能性—以稻作协劳社会的历史为例, 东亚国际秩序的形与未来—第四次东亚共同体论坛, p214-225, 2014.9 4) の中国語翻訳版 (清華大学大学院生訳)
- 6) Tonooka, Y, H. Takaguchi, K. Yasui, T. Maeda, Life Cycle Assessment of Domestic Natural Material Wood House, Energy Procedia, Vol.61, 2014, pp. 1634-1637, DOI:10. 1016/j.egypro.2014. 12.313, peer-reviewed
- 7) Takaguchi, H.Y.Nakajima, K.Kawamura, S.Uchida, Y.Tonooka, A.Sagane, Research on the environmental performance of a natural material wooden house, Energy Procedia, 2014, Vol.61, pp.1677-1680, DOI:10. 1016/j.egypro. 2014. 12.190, peer- reviewed
- 8) Maeda, T., Y.Tonooka, Y.Tanaka, A.Sagane, H.Takaguchi, K.Fukushima, Y.Sasaki, Direct Supply Chain from Forest to House Builder: A Japanese Business Model, Energy Procedia, 2014, Vol.61, pp.2845-2848, DOI: 10. 1016/j.egypro.2014.12.320, peer-reviewed
- 9) 田中昭雄, 外岡 豊: 市町村別住宅エネルギー消費原単位の推定, 日本建築学会論文報告集環境系, Vol.79, No.697, 2014, p305-312, 査読有

2013 年

- 10) 馮 新玲, 外岡 豊, 吉田徳久: 中国東北部の住宅用電力消費実態と影響要因に関する分析, 日本建築学会・住宅系研究報告会論文集 8, p61-68, 2013.12, 口頭発表有, 査読有
- 11) Tonooka Y: Project Report “Achieving Climate Changes Abatement and Comfortable Life by a Partnership between Forestry and Natural House in Urban”, Proc.AFC2013, pp.223-228, 2013.3, 口頭発表有, peer-reviewed
- 12) Feng, X., T.Yoshida, Y.Tonooka: Air Pollution Control and Climate Change Measures in Fuxin

City, Liaoning Province, China.. Proc.AFC2013 (Best Paper Awards), 2013.3, 口頭発表有, peer-reviewed, 第1回アジア未来会議優秀論文集, アジアの未来へー私の提案 Vol.1, p91-103, 再掲載

- 13) Ning, Y., Y.Zhang, T., Ding, Y.Tonooka: Empirical Study of Decomposition of CO₂ Emission Factors in China, Journal of Energy, 2013, Vol. 2013, Article ID 747516, 14 pages, 2013. doi:10.1155/2013/747516, peer-reviewed
- 14) 田中昭雄, 外岡 豊: 東日本大震災後の住宅エネルギー需要の変化と地域性, エネルギー・資源学会論文誌, Vol.34No.2, 通巻 198 号, p17-24, 2013.4 査読有

2012 年

- 15) 張 文字, ディニル プシュパルール, 重野芳人, 外岡 豊: LCA に基づく中国における地域別のセメント産業の環境負荷の定量化と影響評価, エネルギー・資源学会, Vol.33, No.1, 通巻 191号, p11-22, 2012.1, 査読有
- 16) 馮 新玲, 外岡 豊, 吉田徳久: 中国東北地方における都市住宅のエネルギー消費実態と温室効果ガス排出削減の可能性, 日本建築学会住宅系研究報告会研究論文集 7, p143-150, 2012.12, 口頭発表有, 査読有

2011 年

- 17) 外岡 豊: 大震災後の業務ビルにおける, 節電, 省エネ対策, 特集 使用電力 15%抑制の夏を乗り切れー節電・省エネ対策と再生可能なエネルギーの導入, 地球温暖化, No.14, P10-13, 依頼原稿, 2011.7
- 18) Yadong Ning, Tao Ding, Yutaka Tonooka: Feature analysis of Chinese energy consumption based on a complete decomposition model, International Conference on Materials for Renewable Energy & Environment (ICMREE), 2011
(Volume:2), p1313-1317, 2011, May, 20-22, Shanghai city, DOI:10.1109/ICMREE. 2011. 5930577, peer-reviewed

2010 年

- 19) Litifu, Z., J.li, Y.Tonooka: A Research on Effectiveness of Integrated Renewable Energy Based on Regional Input/Output Model, AESE3, Saitama University, 2010, 査読有
- 20) Tonooka, Y: Human Life Cycle Emission (HLCE) Inventory and Regional Evaluation of Low Emission Society and Life, Proc.of SUDAC2010, International Conference on Sustainable Urban Design in Asia City, edit.AIUE, C-32, p374-377 (論文投稿, 口頭発表なし)
- 21) 外岡 豊: 建物における省エネルギー対策 (建築物におけるエネルギー消費, CO₂ 排出構造の分析・予測) 建築設備と配管工事 648, Vol.48, No.12, P16-21, 依頼原稿, 2010.10
- 22) 外岡 豊: 業務ビルの地球温暖化対策 地球温暖化 No.8, P8 -11, 依頼原稿, 2010.7
- 23) 黄 錚, 外岡 豊, 関口和彦, 王 青躍, 坂本 和彦: 汚染産業移転仮説と環境政策選択ー地域間経済

格差からみた中国の環境問題, 環境科学会誌 Vol.23, No.2, pp67-80, 2010, 査読有

2009 年

- 24) 黄 錚, 外岡 豊, 王 青躍, 坂本和彦: 環境クズネッツ曲線からみた北京の大気汚染と制御戦略, 環境科学会誌, 22, 5, p348-361, 2009.
- 25) Huang, Z., Y. Tonooka, K. Sekiguchi, Q. Wang, K. Sakamoto.: Long-term Sulfur Emissions and Environmental Kuznets Curves: Comparison and Implications Asian Journal of Atmospheric Environment Vol.3, p19-26, 2009, peer-reviewed
- 26) 寧 亜東, 外岡 豊: 中国交通運輸部門におけるエネルギー消費構造—1985 から 2004 年経年動向分析—運輸政策研究 Vol.12, No.44, p19-27, 2009, 春, 査読有
- 27) 金本 圭一郎, 外岡 豊: わが国の貿易に伴う CO₂ 排出量の推計, エネルギー・資源, Vol.30, No.2, pp247-252, 2009.3, 査読有

2008 年

- 28) Kannari, A., A.D.G. Streets, Y. Tonooka, K. Murano, T. Baba: MICS-Asia II: An inter-comparison study of emission inventories for the Japan region, Atmospheric Environment, Vol.42, pp3584-3591, 2008, peer reviewed
- 29) 寧 亜東, 外岡 豊: 中国セメント業における生産形態とエネルギー消費構造, エネルギー・資源 (技術報告), Vol.29, No.4, pp247-252, 2008.7, 査読有
- 30) 寧 亜東, 外岡 豊: 中国鉄鋼業における生産形態とエネルギー消費構造, エネルギー・資源 (技術報告) Vol.29, No.5, pp313-318, 2008.9, 査読有
- 31) 平野 勇二郎, 外岡 豊, 伊香賀 俊治, 亀卦川 幸浩, 藤沼康実, 下田吉之: 民生業務部門エネルギー消費原単位に関する各種資料の比較評価, 日本建築学会環境系論文集, Vol.73, No.633, pp1331-1339, 2008.11, 査読有
- 32) 外岡 豊, 寧 亜東, 韋 新東, 許雷, 高 偉俊, 周 瑋生, 三浦秀一: 中国の住宅におけるエネルギー消費実態と諸対策に関する調査研究, No.0626, 住宅総合研究財団研究論文集 Vol.35, p369-378, 2008, 助成金成果報告論文
- 33) 外岡 豊, 深澤大樹, 中口毅博, 馬場 剛, 藤野 毅, 石田武志, 金本 圭一郎: わが国民生部門の CO₂ 排出削減シナリオ, 家庭・業務部門の温暖化対策, 藤沼康実他編, 国立環境研究所地球環境研究センター, ISSN1341-4356, CGER-1079-2008, p91-133, 2008, 依頼論文

2007 年

- 34) Kannari, A., Y. Tonooka, T. Baba, K. Murano: Development of multiple-species 1km×1km resolution hourly basis emissions inventory for Japan, Atmospheric Environment, Vol.41, pp3428-3439, 2007, peer reviewed
- 35) Tonooka, Y., Y. Ning: Future projection of household energy consumption in China to 2030 Part-

1, Structure of domestic energy consumption in China, Journal of Harbin Institute of Technology (New Series), 14., p98-103, 2007

- 36) Tonooka, Y., Y.Ning: Future projection of household energy consumption in China to 2030 Part-2, Scenario analysis to 2030 of domestic energy consumption in China, Journal of Harbin Institute of Technology (New Series), 14, p104-109, 2007

2006 年

- 37) Huang, Z., Y.Tonooka, G.Song, Y.Kondo: International Comparison of Environmental Kuznets Curve, Environment and Sustainable Development, 2, pp.9-11 (Chinese), 2006, peer reviewed
- 38) Tonooka, Y., J. Liu, Y.Ning, Y.Kondou, O.Fukasawa: A survey on the energy consumption in rural households in the fringes of Xi'an city; Energy and Buildings, Vol.38, pp.1335-1342, 2006, peer reviewed
- 39) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, :中国都市部家庭部門におけるエネルギー消費構造に関する研究(Ⅱ) —地域特徴—, 日本エネルギー学会誌, Vol.85, pp.773-782, 2006.9, 査読有
- 40) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 周 瑋生: 中国都市部家庭部門におけるエネルギー消費構造に関する研究(Ⅰ) —経年動向 1981 ~ 2000 —, 日本エネルギー学会誌, Vol.85, No.5, pp371-380, 2006.5, 査読有
- 41) 外岡 豊: 住宅におけるエネルギー問題, エネルギー・資源, 特集グローバル化時代における中国のエネルギー問題, Vol27, No3, p198-202, 2006.5, 依頼原稿

2005 年

- 42) 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万里, 深澤大樹, 水石 仁: 住宅のエネルギー消費量と CO₂ 排出量の都道府県別マクロシミュレーション手法の開発, 日本建築学会技術報告集, Vol22, p263-268, 2005.12, 査読有
- 43) 村橋喜満, 鈴木憲三, 外岡 豊, 作本好文: 薄板軽量形鋼造に外張断熱を施した高断熱高気密住宅の室内温熱環境とエネルギー消費特性 その 2 温暖地域における評価とさらなる省エネルギー化に向けた課題, 日本建築学会環境系論文集 Vol596, p7-14, 2005.10, 査読有
- 44) 外岡 豊, 深澤大樹, 村橋喜満, 三浦秀一: 都道府県別・建て方別住宅エネルギー消費量と CO₂ 排出実態の詳細推計, 日本建築学会環境系論文集, No.592, p89-96, 2005.6, 査読有

2004 年

- 45) 神成陽容, 外岡 豊, 馬場 剛, 村野 健太郎: 日本における大気汚染物質排出グリッドデータベースの開発, 大気環境学会誌 Vol39.No6, p257-271, 2004.11, 査読有
- 46) Hailin Mu, Yasuhiko Kondou, Yutaka Tonooka, Yadong Ning, Weisheng Zhou, Kazuhiko Sakamoto: Analyses on Accuracy and Sensitivity of Grey Energy Model; 日本エネルギー学会誌, Vol.83, No.11, pp908-915, 2004.11, 査読有

- 47) Shinya Seto, Hiroshi Hara, Manabu Sato, Izumi Nogichi, Yutaka Tonooka: Annual and seasonal trends of wet deposition in Japan, Atmosperic. Environment. Vol.38, pp3543-3556, 2004, peer reviewed
- 48) 村橋喜満, 鈴木憲三, 外岡 豊, 作本好文: 薄板軽量形鋼造に外張断熱を施した高断熱高気密住宅の室内および壁体内温熱環境とエネルギー消費特性, 日本建築学会環境系論文集 No.579, p 1 - 8, 2004.5, 査読有

2003 年

- 49) 外岡 豊: 地球温暖化対策 — 20世紀後半異常社会からの脱却, 紙パ技協誌, Vol.15, No.631, p 2 - 13, 2003.10, 依頼原稿
- 50) 外岡 豊, M. リーチ, D. ハッチンソン: 住宅における温室効果ガス排出削減対策の日英比較, 総合論文誌, 日本建築学会, Vol.1, p62-68, 2003.3, 査読有
- 51) 外岡 豊: 重要論文のレビュー — ライフスタイルと地球温暖化対策, 総合論文誌, 日本建築学会, Vol.1, pp140-144, 2003.3, 依頼原稿
- 52) 穆 海林, 寧 亜東, 外岡 豊, 坂本和彦, 周 玮生: 中国终端能源消費量和 SO₂, NO_x, CO₂ 排放的评估和预测, 大连理工大学学报, Vol.42, No.6, pp574-579, 2003
- 53) Yutaka Tonooka, Hailin Mu, Yadong Ning, Yasuhiko Kondou: Energy Consumption in Residential House and Emissions Inventory of GHGs, Air Pollutants in China, Journal of Asian Architecture and Building Engineering, Vol.2, No.1, pp93-100, 2003.5, peer reviewed
- 54) 神成陽谷, 外岡 豊, 村野 健太郎: 東アジア地域における大気汚染物質発生源インベントリーの開発, 環境研究, 特集環境研究の将来 — 地球環境研究, No129, p35-46, 2003.5, 依頼原稿,

2002 年

- 55) 三浦秀一, 外岡 豊: 日本の住宅における地域別エネルギー需要構造とその増加要因に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, No.562, p105-112, 2002.12, 査読有
- 56) WeishengZhou, Hailing Mu, Yutaka Tonooka: Analysis and Forecast on Energy Consumption and Emissions of NO_x, SO₂ and CO₂ for China's Heavy Chemical Industries, 政策科学, Vol.10, No.1, p11-20, 立命館大学, 2002.10
- 57) Hailin Mu, Yutaka Tonooka, Yadong Ning, Weisheng Zhou: Development of Gray System Model on Energy Consumption and Emissions of Air Pollutants and GHGs in China (I) — Gray System Model on Energy Consumption in China; 日本エネルギー学会誌, Vol.81, No8, pp738-753, 2002.10, 査読有
- 58) Hailin Mu, Yutaka Tonooka, Yadong Ning, Weisheng Zhou, Yasuhiko Kondou: Development of Gray System Model on Energy Consumption and Emissions of Air Pollutants and GHGs in China (II) — An Emission Model of SO₂, NO_x and CO₂ (CGEm Model); 日本エネルギー学会誌, Vol.81, No.8, pp754-766, 2002.10, 査読有

- 59) 本藤裕樹, 森泉由恵, 外岡 豊, 神成陽容: 1995年産業連関表を用いた温室効果ガス排出原単位の推計, 日本エネルギー学会誌, Vol.81, pp828-833, 2002.9, 査読有, 同誌論文賞受賞
- 60) 阿部成治, 三浦秀一, 外岡 豊: LCA データベースによる家庭生活からの CO₂ 排出特性に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, No.551, p93-98, 2002.1, 査読有

2001 年

- 61) Noboru Nomura, Atsushi Inaba, Yutaka Tonooka, Makoto Akai, Life Cycle Emission of Oxide Gases from Power-generation System, Applied Energy, Vol.68, No.2, pp215-227, 2001.2, peer reviewed

2000 年

- 62) Sakamoto, Yuki, Yutaka Tonooka: Estimation of CO₂ emission for each process in the Japanese Steel Industry: a Process Analysis, International Journal of Energy Research, Vol.24, pp625-632, 2000.11, peer reviewed
- 63) 外岡 豊, トリップ・エネルギー分析による交通環境影響評価, 社会科学論集, Vol.99・100, 小山徹教授退官記念号, p91-112, 2000.3, 依頼原稿
- 64) 伊香賀 俊治, 外岡 豊: 建築設備の建物用途別ライフサイクル環境負荷原単位, 日本建築学会計画系論文集, No.533, p51-58, 2000.7, 査読有
- 65) 伊香賀 俊治, 外岡 豊: 事務所ビル設備のライフサイクル環境負荷原単位, 日本建築学会計画系論文集, No.529, p117-123, 2000.3, 査読有
- 66) 外岡 豊: 気候変動防止対策技術—CO₂ 排出削減を中心に, 環境技術, Vol.29, No.2, p84-87, 2000.2, 依頼原稿

1999 年

- 67) Sakamoto, Yuki, Yutaka Tonooka: Estimation of Energy Consumption for Each Process in the Japanese Steel Industry: a Process Analysis, Energy Conservation and Management, Vol.40, pp1129-1140, 1999.10, peer reviewed
- 68) 阿部成治, 三浦秀一, 外岡 豊: 福島大学地域研究, Vol.11, No.1, pp 3-11, 1999.9
- 69) 本藤祐樹, 外岡 豊, 内山洋司: 化石燃料の国内消費に伴い海外で誘発される環境影響物質—CO₂, SO₂, NO_x 排出量—, エネルギー・資源 Vol.20, No.6, pp578-585, 1999.11, 査読有
- 70) 本藤祐樹, 外岡 豊, 内山洋司: 産業連関表による実態を反映した環境分析—部門別直接燃料消費量の推計と輸入財の取り扱い—, エネルギー・資源 Vol.20, No.1, pp93-99, 1999.1, 査読有

1998 年

- 71) Tonooka, Y., H.Hondo, Y.Uchiyama, T.Ikaga: Comparison Analysis of Fundamental Data for LCA-Energy and Emissions from Material production Processes, Proc. of the 3rd International

Conference on EcoBalance, 1998.11, TsuKuba, peer reviewed

- 72) Tonooka, Y., H. Hondo, T. Ikaga: Development of Data Base for Life Cycle Assessment of Buildings, Proc. of the 3rd International Conference on EcoBalance, 1998.11, TsuKuba, peer reviewed
- 73) 野村 昇, 稲葉 敦, 赤井 誠, 外岡 豊: 発電システムのライフサイクルにおける窒素酸化物, 硫黄酸化物排出量, エネルギー・資源 Vol.19, No.6, pp551-557, 1998.11, 査読有
- 74) 外岡 豊: COP3 京都会議とこれからの建築, 東京建築, Vol.34, No.402, 1998.4, 依頼原稿

1997 年

- 75) 大原利眞, 若松伸司, 鶴野 伊津志, 安藤 保, 泉川碩雄, 神成陽容, 外岡 豊: 光化学オキシダント・シミュレーションモデルの構築と検証, 大気環境学会誌 Vol.32, No.1, p6-28, 1997.1, 査読有
- 76) 渡邊一成, 河中 俊, 市川 徹, 外岡 豊: コージェネレーション等による省エネルギー対策推進地区の抽出, オペレーションズ・リサーチ, Vol.42, No.1, pp26-33, 1997, 査読有

1996 年

- 77) Ikaga T., Y. Tonooka A. Ishifuku: Development of DATA Base for Life Cycle Assessment of Buildings, Proceedings of the 2nd International Conference on EcoBalance, Tukuba, Nov.18-20, 1996
- 78) 東野晴行, 外岡 豊, 柳沢幸雄, 池田有光: 東アジア地域を対象とした大気汚染物質の排出量推計 (II): 中国における NO_x, CO₂ 排出量推計を中心とした検討, 大気環境学会誌 Vol. 31, No.6, pp262-281, 1996.11, 査読有

1995 年

- 79) 東野晴行, 外岡 豊, 柳沢幸雄, 池田有光: 東アジア地域を対象とした大気汚染物質の排出量推計: 中国における硫黄酸化物の人為起源排出量推計, 大気環境学会誌 Vol.30, No.6, pp374-390, 1995.11
- 80) 外岡 豊: 環境とエネルギーから見た理想都市構想, 用地 Vol.28, No.328, p52-65, 1995.1, 依頼原稿
- 81) 外岡 豊, 河中 俊: 産業連関表による建設部門誘発 CO₂ 排出量の解析, IBS 研究報告 30 周年記念号, p86-103, 1995

1994 年

- 82) Sagai S., Y. Tonooka: An Estimation of Energy Potential by Using District Mesh Data, APORS'94, 1994, 口頭発表あり
- 83) Ishikawa Y., Fujii, Y. Tonooka: Carbon Dioxide Reduction Potential of Steel Industry in Japan, in Advanced Materials'93V/A: Ecomaterials, edited by R. Yamamoto et al., Transactions of Material Research Society in Japan, Vol.18A, 1994
- 84) 佐賀井 重雄, 外岡 豊, 藤井美文: コージェネレーションシステムの地域運用による省エネルギー可能性の評価, オペレーションズ・リサーチ, 特集=都市の省エネルギーをめぐって, Vol.39No.5,

pp255-260, 1994.5, 査読有

1993 年以前

- 85) 外岡 豊：温室効果ガスの排出実態と削減可能性，産業公害，Vol.28，No.4, pp315-324, 1992.4, 依頼原稿，同誌年間優秀論文賞
- 86) 藤田慎一，外岡 豊，太田一也：わが国における火山起源の二酸化硫黄の放出量の推計，大気汚染学会誌，Vol.27，No.6, pp336-343, 1992, 査読有
- 87) Shinichi Fujita, Yoichi Ichikawa, Rorert k.Kawaratani, Yutaka Tonooka: Short Communication—Preliminary Inventory of Sulfur Dioxide Emission in East Asia, Atmospheric Environment Vol.25a, No.7, pp1409-1411, 1991, peer reviewed
- 88) 外岡 豊：人工源排出の全体構造，公害と対策，Vol.26，No.14, pp1403-1411, 特集 / 酸性雨 1, 汚染物質の排出源，1990.11, 依頼論文
- 89) 外岡 豊：日本の NO_x 排出状況とその構造，化学工学，Vol.54，No.1, p69-73, 依頼原稿，1990.1
- 90) Tonooka.Y.Y.Fujii:Developing Air Pollutant Emission Structure Database in Japan—for Anaalysis of Relationship between Emission, Energy Consumption & Urban Activity, ESME89, International Symposium on Energy Systems, Management & Economics, 1989.11, 口頭発表あり
- 91) Nagano. T, Y.Tonooka, O.Sato. S.Yasukawa: A Study on Reducing Environmental Emissions from Energy System—a Milestone towards Consequence Free—, RISO International Conference on Environmental Models: Emissions & Consequences, 1989.6, 口頭発表あり
- 92) 外岡 豊，尾島俊雄：都市環境計画のための大気汚染物質排出構造に関する研究 その 2 地域別排出特性について，日本建築学会計画系論文報告集，No.368, p21-30, 1986.10, 査読有
- 93) 外岡 豊，尾島俊雄：都市環境計画のための大気汚染物質排出構造に関する研究 その 1 発生源種類別排出特性について，日本建築学会計画系論文報告集，No.359, p1-9, 1986.1, 査読有
- 94) 外岡 豊，竹内佑一：トリップ・エネルギーによる都市交通のエネルギー消費分析，計量計画研究所研究報告'82, p89-102, 1982
- 95) 竹内佑一，外岡 豊：都市・地域計画とエネルギー消費，大気汚染の関連について，計量計画研究所研究報告'80, p93-104, 1980
- 96) 外岡 豊：設備談話室「温室と施設園芸」，建築文化 p17, 1976.7, 依頼原稿（修士論文をもとに執筆）
- 97) 尾島俊雄，外岡 豊：施設園芸の省エネルギー問題，建築設備と配管工事，Vol.13, No.9, p41-50, 1975.7, 依頼原稿（修士論文をもとに執筆）

口 頭 発 表

2016 年

- 1) Tonooka, Y.: Japanese humanity and social history-Towards Sunstainable society from Old Shinto in Japan, International Joint Seminar (Oslo University and Saitama University), Internationalism in Modern East Asia, SaitamaUniversity, 2016.3.14, Saitama-city

- 2) 小林謙介, 外岡 豊, 前田拓生: 2011 年版産業連関表を用いた建築実務者向け原単位データベースの構築—開発の方針とデータベース構築状況, 日本 LCA 学会研究発表会 11 要旨集, E 2-08, p258-259, 2016.3.2-3, 柏市
- 3) 外岡 豊, 小林謙介, 前田拓生: 環境産業連関表の作成—2011年産業連関表基本表を用いた試算, エネルギーシステム経済・環境コンファレンス 32 講演論文集, 2016.2.2-3, 東京都
- 4) 外岡 豊, 寧 亜東: 中国のエネルギー消費と温室効果ガス, 大気汚染物質排出の経年動向分析, エネルギーシステム経済・環境コンファレンス 32 講演論文集, 2016.2.2-3, 東京都

2015 年

- 5) 外岡 豊: 关于日本的 VOCs 与熱焼系大気汚染物質発生源調査方法, 中国环境保护拋訪問団讲义, 馮 新玲通訳, 早稲田大学西早稲田キャンパス, 2015.12.08, 東京都
- 6) 外岡 豊: 日本における塗装 VOC 排出と抑制対策, The 11th China City Air Quality Management Workshop-VOCs Emission Management and Technologies, 寧亜東通訳, 2015.10.14-16, 大連市, 中国
- 7) 増井利彦, 明日香 寿川, 外岡 豊, 上園昌武, 歌川 学, 甲斐 美紀子, 田村 賢太郎, 槌屋治紀, 西岡秀三, 朴勝俊, Pranab Jyoti Baruah, 平田仁子, 脇山尚子: わが国における 2030 年を対象とした温室効果ガス排出削減目標の議論, 環境経済政策学会, 京都大学, 2015.9.18-20, 京都市
- 8) 外岡 豊: 日本の排出削減シナリオと都市・建築分野の取り組み, 地球環境委員会 PD, 建築学会大会 (関東), 企画講演, 東海大学湘南, 2015.9.04-06, 平塚市
- 9) 外岡 豊: 建築環境の倫理, 建築における専門家倫理—倫理綱領改定と倫理教育の実践, 倫理委員会研究懇談会, 建築学会大会 (関東), 企画講演, 東海大学湘南, 2015.9.04-06, 平塚市 (予稿集なし)
- 10) 歌川 学, 外岡 豊, 平田仁子: 環境制約下の 2050 年までを視野に入れた温暖化対策検討, 日本環境学会研究発表会 41 回, 2015.6.20, 龍谷大学, 2015.6.20, 京都市
- 11) 歌川 学, 外岡 豊, 平田仁子: 2050 年までの排出削減対策の効率化オプション, エネルギー資源学会研究発表会 34 回, 2015.6.7, 東京都
- 12) 外岡 豊: Sunsatinable—真の持続可能性を目指して, 湘友会セミナー, 招待講演, 神奈川県立湘南高校, 2015.4.11, 藤沢市
- 13) 外岡 豊: 2050 年社会像を描く—Sunstainable な生活に向けて, 日本都市問題会議 257 回例会, プレスセンター, 2015.4.04, 東京都
- 14) 明日香寿川, 外岡 豊, 上園昌武, 歌川 学, 田村賢太郎, 槌屋治紀, 増井利彦, 他: 2015 年パリ合意に向けての日本における温室効果ガス排出削減中長期目標試算の比較分析(1) 2011 年以降に示された試算結果の比較, 国民に開かれた日本のエネルギー・ミックスおよび温暖化ガス排出削減数値目標に関する議論のために, 記者発表, 埼玉大学東京ステーションカレッジ, 2015.3.23, 東京都
- 15) 明日香寿川, 外岡 豊, 上園昌武, 歌川 学, 田村賢太郎, 槌屋治紀, 増井利彦, 他: 2015 年パリ

合意に向けての日本における温室効果ガス排出削減中長期目標試算の比較分析(2) 試算結果比較からのメッセージ, 国民に開かれた日本のエネルギー・ミックスおよび温暖化ガス排出削減数値目標に関する議論のために, 記者発表, 2015.3.23, 埼玉大学東京ステーションカレッジ, 2015.3.23, 東京都

- 16) 歌川 学, 外岡 豊, 平田仁子: ボトムアップモデルによる 2050 年までの中長期省エネ温暖化対策と費用対効果, エネルギーシステム経済・環境コンファレンス 31 講演論文集, 2015.1.27-28, 東京都
- 17) 外岡 豊, 国府田 諭: 日本における市区町村別自動車走行量とエネルギー消費量, CO₂ 排出量の再推計, エネルギーシステム経済・環境コンファレンス 31 講演論文集, 2015.1.27-28, 東京都

2014 年

- 18) 外岡 豊: Sunsatinable — 真の持続可能性を目指して, 持続可能性と Well-Being — 4 種の資本概念とその限界, 三井物産環境基金研究助成研究会, 早稲田大学法学部, 2014.12.26, 東京都
- 19) 外岡 豊: Activity of the Global Environment Committee in AIJ, China-Japan Academic Exchange Meeting on Eco-city and Green Buildings, AIJ, 建築会館, 2014.12. 03, 東京都
- 20) 外岡 豊: 持続可能社会とは—環境から 2050 年の日本を構想する—, 埼玉大学市民講座, 埼玉大学, 2014.10.4, さいたま市 (講演記録 web 公開)
- 21) 外岡 豊, 東アジアの大気汚染問題の解決に向けて日中韓共同政策の可能性—稲作協労社会の歴史に学ぶ, 東アジア国際秩序の形成と未来—中日韓三国学術シンポジウム, 清華大学法学院, 2014.9, 北京市, 中国
- 22) 外岡 豊: 地球環境委員会24年の回顧と展望, シンポジウム都市・建築分野におけるこれからの地球環境対策に向けて—建築学会の活動と展望, 企画講演, 建築会館, 2014.9.25, 東京都
- 23) 外岡 豊: 地球環境問題について, 生きがい大学春日部学園, 2014.7.3, 依頼講義, 庄和保健センター, 2014.7.03, 春日部市
- 24) 歌川 学, 外岡 豊, 平田仁子, 2050 年までを視野に入れた中長期温暖化積極対策シナリオの検討, 日本環境学会研究発表会 40 回, 農工大農学部, 2014.6.22, 東京都府中市
- 25) Tonooka, Y, H. Takaguchi, K. Yasui, T. Maeda, Life Cycle Assessment of Domestic Natural Material Wood House, The 6th International Conference on Applied Energy-ICAE2014, 2014.5.31, Taipei
- 26) Takaguchi, H. Y. Nakajima, K.Kawamura, S.Uchida, Y.Tonooka, A. Sagane, Research on the environmental performance of a natural material wooden house, The 6th International Conference on Applied Energy-ICAE2014, 2014.5.31, Taipei,
- 27) Maeda, T., Y. Tonooka, Y. Tanaka, A. Sagane, H. Takaguti, K. Fukusima, Y. Sasaki, Direct Supply Chain from Forest to House Builder: A Japanese Business Model, The 6th International Conference on Applied Energy - ICAE2014, 2014.5.31, Taipei
- 28) 外岡 豊: 温室効果ガス排出量推計手法について, 北海道立総合研究機構環境科学研究センター, 招待講演, 2014.3.12-13, 札幌市
- 29) 歌川 学, 外岡 豊, 平田仁子: ボトムアップモデルによる 2050 年までの対策, エネルギーシステム経済・環境コンファレンス 30 講演論文集, 2014.1.23-24, 東京都

- 30) 外岡 豊, 国府田諭, 田中昭雄:日本の市区町村別住宅 CO₂排出量推計, エネルギーシステム経済・環境コンファレンス 30 講演論文集, 2014.1.23-24, 東京都
- 31) 外岡 豊, 国府田諭:日本における 2010 年度・市区町村別自動車 CO₂排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 30 講演論文集, 2014.1.23-24, 東京都

2013 年

- 32) 外岡 豊:木造住宅の LCA 日本建築学会シンポジウム, 国産木造建築の推進に向けて 林業と建築の連携を探る, 建築会館, 企画講演, 2013.12.12, 東京都
- 33) 外岡 豊:持続可能社会に向けて, 埼玉大学経済学部市民講座 18 回, 浦和コミュニティーセンター, 2013.11.06, さいたま市,
- 34) 外岡 豊:日本の将来社会像—生活基礎需要の定量分析と脱企業経済社会の具体化, 社会経済システム学会, 32, 京都産業大学, 2013.10.27, 京都市
- 35) 歌川 学, 外岡 豊, 平田仁子:ボトムアップモデルによる 2050 年までの対策を考慮する中長期省エネ・温暖化対策シナリオの検討, 環境経済政策学会, 2013.10.27, 同志社大学
- 36) 外岡 豊:LCA 用環境負荷データベースの紹介と応用, 埼玉大学オープンイノベーションセンター次世代産業カレッジ・環境と経営 1 招待講演, 埼玉大学, 2013.10.03, さいたま市
- 37) 外岡 豊:温暖化を止められる仕組みを—LCCO₂の徹底削減, ラウンドテーブル・森と街をつなぐ木の家—持続可能な住宅ビジネス手法, 脱温暖化, 森街連携 PJ, 企画講演, 早稲田大学西早稲田キャンパス, 2013.9.21, 東京都
- 38) 外岡 豊:学会が取り組むべき課題, 日本建築学会大会(北海道)地球環境委員会 PD「地域におけるカーボンニュートラル化と持続可能社会への道筋」, 企画講演, 北海道大学, 2013.8.30-9.01, 札幌市
- 39) 外岡 豊:長期的な社会経済像と都市・建築のあり方, 日本建築学会大会(北海道)PD「わが国の建築ストック形成に関わる超長期戦略を探る」, 企画講演, 北海道大学, 2013.8.30-9.01, 札幌市
- 40) 外岡 豊:21 世紀を迎えて, バンクアート 1929, 招待講演, 2013.7.9, 横浜市
- 41) 外岡 豊:地球環境問題について, 生きがい大学春日部学園, 依頼講義, 庄和保健センター, 2013.7.02, 春日部市
- 42) 外岡 豊, 国府田諭, 田中昭雄:市区町村別住宅 CO₂排出量データベース開発, エネルギー資源学会研究発表会 32 講演論文集, 2013.6.6-7, 東京都
- 43) 外岡 豊, 高口洋人, 保井孝一, 前田拓生:国産天然住宅の LCA, エネルギー資源学会研究発表会 32 講演論文集, 2013.6.6-7, 東京都
- 44) 宇城哲平, 外岡 豊, 伊香賀俊治, 薛 佑佳, 目黒康介:建築 LCA 用環境負荷データベース開発, エネルギー資源学会研究発表会 32 講演論文集, 2013.6.6-7, 東京都
- 45) 外岡 豊:事業活動についての外部経済性としての社会的共通資本の意味, 環境経営学会シンポジウム「社会的共通資本形成への企業の貢献の可能性」, SB3(3), p109-110, 招待講演, 都市大学横浜キャンパス, 2013.5.25-26, 横浜市

- 46) Tonooka, Y. : Why do we emit so much CO₂?, Lecture for Chulalongkorn University Students, 招待講演, Saitama University, 2013.3.12, Saitama-City,
- 47) Tonooka Y.: Project Report “Achieving Climate Changes Abatement and Comfortable Life by a Partnership between Forestry and Natural House in Urban”, AFC (Asia Future Conference), 2013., 2013.3.9-10, Bangkok, Thailand
- 48) Feng, X., T.Yoshida, Y.Tonooka: Air Pollution Control and Climate Change Measures in Fuxin City, Liaoning Province, China. Proc. AFC2013 (Best Paper Awards), 2013. 3.9-10, Bangkok, Thailand
- 49) 松田健士, 井伊亮太, 国府田 諭, 外岡 豊: 全国消費実態調査を用いた家庭部門のエネルギー消費実態分析, 日本 LCA 学会研究発表会 8 講演要集, P2 -075, p388-389, 立命館大学びわこ・くさつキャンパス, 2013.3.6-8, 草津市
- 50) 外岡 豊: データベース編解説, 改訂・建築の LCA 指針, 温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール講習会, 日本建築学会, 2013.2.22, 東京都
- 51) 外岡 豊, 孫 博: 中国産業連関表によるエネルギー消費実態分析と CO₂ 排出量推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 29 講演論文集, 27-1, p125, 2013.1.29-30, 東京都
- 52) 田中昭雄, 外岡 豊: 東日本大震災後の住宅エネルギー消費原単位の構造変化, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 29 講演論文集, 14-6, p69, 2013.1.29-30, 東京都
- 53) 国府田諭, 外岡 豊: 家計調査と冷房暖房データを用いた地域別住宅エネルギー消費原単位の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 29 講演論文集, 14-2, p65, 2013.1.29-30, 東京都
- 54) 外岡 豊: 中国都市・農村部の住宅エネルギー消費, シンポジウム: アジア地域における建築環境とエネルギー消費, 日本建築学会, 2013.01.21, 東京都

2012 年

- 55) 外岡 豊: これからの住宅のあり方について, 日本建築学会地球環境委員会気候変動対策小委員会報告会, 信州大学工学部, 2012.11.12, 長野市
- 56) 外岡 豊: 討論・建築環境倫理分野, 今, 我々に求められる建築倫理とは何か—倫理教育の普及と基盤充実を目指して, 倫理委員会研究懇談会, 日本建築学会大会 (東海), 名古屋大学, 2012.9.12-14 名古屋市 (予稿集なし)
- 57) 外岡 豊: 環境問題の前提と成る将来社会像と環境倫理について, 科研費研究会, 東京工業大学桑子研究室, 2012.8.20, 東京都 (ppt のみ)
- 58) 外岡 豊: 省エネルギーと再生エネルギーについて, エコステージ協会, 大宮ソニックシティ, 招待講演, 2012.7.27, さいたま市
- 59) 外岡 豊: 地球環境問題について, 生きがい大学春日部学園, 依頼講義, 庄和保健センター, 2012.7.05, 春日部市
- 60) 田中昭雄, 外岡 豊: 東日本大震災の住宅エネルギー需要への影響の研究, エネルギー資源学会研

究発表会 31 講演論文集, 大阪国際交流センター, 2012.6.5-6, 大阪市

- 61) 田中昭雄, 外岡 豊: 住宅エネルギー需要の東日本大震災後の継時変化, 日本建築学会東日本大震災シンポジウム, 建築会館, 2012.3, 東京都
- 62) 松田健士, 井伊亮太, 荒木大志, 神波泰夫, 外岡 豊: HLCE ヒューマンライフサイクルエミッション指標のための産業連関表に基づく二酸化炭素排出量の推計, 日本 LCA 学会研究発表会 7 講演要旨集, 慶応大学日吉, 2012.3, 横浜市
- 63) 外岡 豊: 天然住宅と気候変動対策— 2050 年 CO₂ 排出削減シナリオ, JST 森・街連携シンポジウム, 早稲田大学西早稲田キャンパス, 2012.3.04, 東京都
- 64) 外岡 豊, 井伊亮太, 田中昭雄, 小笠原 均郎, 井田健一: HLCE ヒューマンライフサイクルエミッションによる地域排出水準評価, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 65) 外岡 豊, 井田健一, 国府田 諭, 田中昭雄: 日本の住宅におけるエネルギー消費実態と CO₂ 排出量推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 66) 国府田 諭, 外岡 豊, 中口毅博: 民生業務部門における 2008 年度市区町村別 CO₂ 排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 67) 田中昭雄, 外岡 豊: 東日本大震災前後の家庭用エネルギー消費の地域変化, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 68) 小笠原 均郎, 外岡 豊: プロジェクトの環境影響評価と社会的便益性評価の研究, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 69) 尹 秀儀, 外岡 豊, 寧 亜東, 大野正人: 中国鉄鋼生産とエネルギー消費, CO₂ 排出削減将来シナリオ分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 70) 馮 新玲, 外岡 豊, 吉田徳久: 中国東北部の諸都市の家庭におけるエネルギー消費特性に関する比較分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 28 講演論文集, 2012.1.30-31, 東京都
- 71) 馮 新玲, 吉田徳久, 外岡 豊: 遼寧省阜新市の大気環境対策及び低炭素化対策の評価と課題, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス講演論文集, 28, 2012.1.30-31, 東京都

2011 年

- 72) 環境政策外岡ゼミ (埼玉大学): 遊休農地の活用—さいたま市民の自産自消—, 学生政策提案フォーラム in さいたま, 2011.11.20, さいたま市大宮, (ゼミ学生, 相馬崇志, 栗原葉月, 堀切雄介, 佐藤 愁, 佐藤裕史, 長尾 聡, 茹 一幸, 宮澤幸花, 北村真也, 森田 諒, 山田和貴, 谷田川 明慶, 渡辺薫子)
- 73) 外岡 豊: 住宅 LCA の基礎手法, 住宅カーボンニュートラル達成シナリオ WG, LCA 指針小委員会合同公開勉強会, 日本建築学会, 企画講演, 建築会館, 2011.11.17, 東京都
- 74) 外岡 豊: CO₂ 排出量, 削減量評価手法のいろいろ, JST 領域サロン第 1 回, 招待講演, 早稲田大学研究開発センター, 2011.10.20, 東京都
- 75) 外岡 豊: 中国におけるエネルギー消費実態調査と気候変動防止対策の提案, 地球環境委員会 PD,

- 2050 年の低炭素社会に向けた都市・建築の方向性を探るクロストーク (2), 日本建築学会大会 (関東), 企画講演, 早稲田大学, 2011.8.23-25, 東京都
- 76) 許 赫翔, 外岡 豊, 施 行之, 高 偉俊: 中国における都市住宅のエネルギー消費量に関する推計, 日本建築学会大会 (関東), 学術講演梗概集, 40507, p1053-1054, 早稲田大学, 2011.8.23-25, 東京都
- 77) 外岡 豊: 地球環境問題について, 再生可能エネルギーについて, 生きがい大学春日部学園, 依頼講義, 2011.7.05, 12, 庄和保健センター, 春日部市
- 78) 小笠原 均郎, 外岡 豊: 環境負荷低減技術を導入した場合の便益性評価研究: 具体的なプロジェクトを例題に新技術導入による利益最大化の研究, エネルギー・資源学会研究発表会 30 講演論文集, p173-176, 2011.6.02-03, 東京都
- 79) 田中昭雄, 外岡 豊: HLCE ヒューマンライフサイクルエミッション評価のための家庭部門中核都市と地方都市の比較, エネルギー・資源学会研究発表会 30 講演論文集, p119-122, 2011.6.02-03, 東京都
- 80) 許 赫翔, 外岡 豊, 施 行之, 高 偉俊, 高 永志, 玄 姫: 中国非住宅建築物における CO₂ 排出量構造に関する研究, 日本建築学会研究報告・九州支部・2, 環境系 (50), 440, p157-160, 2011.3
- 81) 小笠原 均郎, 外岡 豊: 新技術の導入における適正設備投資規模の評価: 新技術導入による投資コスト, 経済波及効果, 社会的被害費用の研究, 日本 LCA 学会研究発表会 6 講演要旨集, p171, 2011.3, 仙台
- 82) Gao, Yongzhi, Weijun Gao, Ji Xuan, Yutaka Tonooka: Study on the Energy Demand of Building Sector and the Structure of CO₂ Emission, International Conference on Energy Systems and Technologies 2011.20, Egypt
- 83) 外岡 豊, 井伊亮太, 田中昭雄, 小笠原 均郎, 井田健一: HLCE ヒューマンライフサイクルエミッションによる地域排出水準評価, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 27 講演論文集, 2011.1.25-26, 東京都
- 84) 田中昭雄, 外岡 豊: HLCE ヒューマンライフサイクルエミッション評価のための家庭部門エネルギーの地域性の研究, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 27 講演論文集, 2011.125-26, 東京都
- 85) 中口 毅博, 外岡 豊, 国府田 諭, 関本葉月, 阿部将統: 業務部門・家庭部門における 2007 年度市区町村別 CO₂ 排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 27 講演論文集, 2011.125-26, 東京都
- 86) 小笠原 均郎, 外岡 豊: 建設に伴う便益評価と社会的被害費用分析の研究, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 27 講演論文集, 2011.125-26, 東京都
- 87) 尹 秀儀, 外岡 豊, 宋 国君, 寧 亜東, 大野正人: 中国の産業エネルギー需要と温室効果ガス排出動向, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 27 講演論文集, 2011.125-26, 東京都
- 88) 許 赫翔, 施 行之, 高 偉俊, 高 永志, 外岡 豊, 玄 姫: 中国建築分野のエネルギー需要及び CO₂ 排出構造に関する研究, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 27 講演論文集, 2011.125-26, 東京都

2010 年

- 89) 外岡 豊：総合討論「木で暮らす―新たな可能性を切り開く―」，木で暮らす・木で稼ぎ，木で生きる，JST 究開発プロジェクトフォーラム，早稲田大学西早稲田キャンパス，2010.12，東京都（予稿集あり）
- 90) Gao, Yongzhi, Ji Xuan, Yutaka Tonooka, Weijun Gao: Research on Electric Power Consumption of Public Building in Guangzhou, Proc. of the 8th ISAIA, 2010, 11, Kitakyushu-City
- 91) Xu, Hexiang, Yongzhi Gao, Yutaka Tonooka, Weijun Gao: Study of Energy Consumption Structure of China's Non-residential building, Proc. of the 8th ISAIA, 2010.11, Kitakyushu-city
- 92) Chomtohsuwan, Thoedsak, Masaharu Nagashima, Yutaka Tonooka: Impact on Environmental Load and Economics Structure from Change of Household Expenditure: A Case of Thailand from 1986 to 2025, EcoBalance 9th, 2010.11, Tokyo
- 93) 高 偉俊，外岡 豊：中国の非住宅建築エネルギーの現状と省エネに向けた検討 中国の非住宅建築エネルギー消費原単位の整備，アジア地域における建築環境と Sustainable Development ～アジア地域の建築環境の実態～，日本建築学会，2010.11.24，東京都
- 94) 小笠原 均郎，外岡 豊，李 潔：産業連関分析手法を活用した事業評価と環境負荷量計算，環太平洋産業連関表分析学会，2010.11，長崎市
- 95) 外岡 豊：建築における省エネルギーとゼロエミッションへのシナリオ，建築電力研究会シンポジウム平成 22 年度，招待講演，2010.11.26，金沢市
- 96) 外岡豊ゼミ：自然エネルギー出前事業，abn 開局 20 周年記念「森のフェスティバル」，飯綱町霊仙湖畔・GOZAN ハウス，2010.10.9，飯綱町
- 97) 外岡 豊：産業連関表の応用手法― HLCE（ヒューマンライフサイクルエミッション）や越谷レイクニュータウン解析例など―，地域の産業連関から見た低炭素社会実現への課題 Report ～産業連関の解析事例の議論と成果・問題点の共有へ～ JST・社会技術研究開発センター「地球に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究領域，2010.9.25，東京都
- 98) 外岡 豊：脱温暖化・環境共生社会プロジェクトの取り組み，地球環境委員会 PD，日本建築学会（北陸）大会，2010.9.09-11，富山市
- 99) 外岡 豊：2050 年住宅カーボンニュートラル達成は可能か―木造自然素材住宅を例とした PDCA 試行，地球環境委員会 PD，日本建築学会（北陸）大会，2010.9.09-11，富山市
- 100) 張 文字，プシュパラル ディニル，外岡 豊：中国セメント業における廃棄物利用による CO₂削減の効果と可能性：CDM 事業の問題点をめぐって，エネルギー・資源学会研究発表会 29 講演論文集，p67-70，2010.6.16-17，大阪市
- 101) 外岡 豊：主旨説明，「森と街をつないで脱温暖化を実現する」，JST 研究開発プロジェクトフォーラム，日本青年館，企画講演，2010.4.10，東京都
- 102) Gao, Yongzhi, Weijun Gao, Ji Xuan, Yutaka Tonooka, Estimation of Non-residential Building Energy Consumption in China, International Conference Sustainable Architecture & Urban Design 2010.3, Penan, Malaysia

- 103) 井筒進平, 遠藤崇光, 馬場雅裕, 高口洋人, 外岡 豊: 統計資料に基づいた民生業務部門建築物エネルギー消費原単位の経年変化, 日本建築学会関東支部研究報告集 80(II), 4055, p217-220, 2010.3
- 104) 玄 姫, 外岡 豊, 龍 有, 福田展淳, 高 偉俊: 熱電力需要比率から見たコージェネレーションシステムの省エネ効果の比較手法に関する研究: 中国の夏暑冬寒地域と厳寒地域の複合建築施設におけるケーススタディ, 日本建築学会研究報告・九州支部・2, 環境系(49), 495, p377-380, 2010.3
- 105) 李 哲, 高 偉俊, 李 海峰, 外岡 豊: 上海市崇明県における VPP (仮想発電所) の実施可能性の分析, 日本建築学会研究報告・九州支部・2, 環境系(49), 501, p401-404, 2010.3
- 106) 高 永志, 玄 姫, 外岡 豊, 高 偉俊: 中国の非住宅建築物のエネルギー消費の推移と構成に関する研究, 日本建築学会研究報告・九州支部・2, 環境系(49), 502, p405-408, 2010.3
- 107) 小笠原 均郎, 外岡 豊: 新技術の導入における適正設備投資規模の評価: 新技術の導入による投資コスト, 経済波及効果, 社会的被害額の研究, 日本 LCA 学会研究発表会 5 講演要旨集, 2010(0), p64-64, 2010.3
- 108) 外岡 豊, 高 偉俊, 玄 姫, 李 海峰, 蘇 媛: 中国建築部門におけるエネルギー消費, CO₂ 排出構造の分析・予測 その2, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 26 講演論文集, 5-4, p18, 2010.1.26-27, 東京都
- 109) 寧 亜東, 外岡 豊, 丁 涛, 朱 徳志: 完全要因分解モデルに基づいた中国エネルギー消費の特徴分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 26 講演論文集, 5-5, p19, 2010.1.26-27, 東京都
- 110) 外岡 豊, 高口洋人, 遠藤崇光, 井筒進平: 日本の業務部門におけるエネルギー消費, CO₂ 排出構造の分析・予測, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 26 講演論文集, 2010.1.26-27, 東京都

2009 年

- 111) 外岡 豊: 住宅エネルギー消費, CO₂ 排出量の現況と排出削減シナリオ, JST「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発PJ, 快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を「森と街」の直接連携で実現する第2回 RT 研究会, 埼玉大東京ステーションカレッジ, 2009.11.20, 東京都
- 112) 李 哲, 任 洪波, 高 偉俊, 外岡 豊: 上海市崇明県における VPP (仮想発電所) の実施可能性の分析, 日本建築学会研究報告九州支部環境系第2号, 2009.
- 113) 高 永志, 玄 姫, 外岡 豊, 高 偉俊, 蘇 媛: 中国の非住宅建築物のエネルギー消費の推移と構成に関する研究, 日本建築学会研究報告九州支部環境系第2号, 2009
- 114) 玄 姫, 外岡 豊, 龍 有, 福田展淳, 高 偉俊: 熱電力需要比率から見たコージェネレーションシステムの省エネ効果の比較手法に関する研究—中国の夏暑冬寒地域と厳寒地域の複合建築施設におけるケーススタディ, 日本建築学会研究報告九州支部環境系第2号, 2009
- 115) Tonooka, Y., W.Gao, H.Li, J.Xuan, Y.Su: Estimation Trial of Non-Domestic Building Energy Consumption in China, AIUE, 6th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, “Energy Conservation and Carbon off in Asia City”, 2009.9.20-22, Changchun, China

- 116) Li, H., J.Xuan, W.Gao, Y.Tonooka, G.Nan:Urbanization and Rural Problems in China : A Challenge for Environmentally Harmonious and Sustainable Society, AIUE, 6th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, “Energy Conservation and Carbon off in Asia City”, 2009.9.20-22, Changchun, China
- 117) Xuan, J., W. Gao, X. Pei, X. Wei, H. Li, Y. Tonooka, Y. Ning : Survey Research on Reality of Energy Consumption in Non-residential Buildings in Changchun in China AIUE, 6th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, “Energy Conservation and Carbon off in Asia City”, 2009.9.20-22, Changchun, China
- 118) Xin, X., S.Gao, Y.Tonooka, Y.Jun, W.Gao, J.Ling., J.Cui, X.Wu, X.Wang (2009)
Investigation and Analysis for the Current Condition of Rural Residential Energy Consumption in Jilin, China, AIUE, 6th International Symposium of Asia Institute of Urban Environme “Energy Conservation and Carbon off in Asia City”, 2009.9.20-22, Changchun, China
- 119) Gao, W., Y.Guo, J.Ren, Y.Tonooka, H.Li : Kitakyushu’s Initiative on Energy Saving and Carbon off of a City, AIUE, 6th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, “Energy Conservation and Carbon off in Asia City”, 2009.9.20-22, Changchun, China
- 120) 李 海峰, 高 偉俊, 外岡 豊 : 中国の都市化と建築エネルギー消費に関する考察日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, D-1, 40374, p799-800, 東北学院大学, 2009.8.26-29, 仙台市
- 121) 玄 姫, 裴 雪峰, 高 偉俊, 福田展淳, 龍 有 二, 渡邊俊行, 外岡 豊, 李 海峰 : 用途別エネルギー消費量の実態調査 : 中国長春市における非住宅建築物のエネルギー消費に関する調査研究 (その 1), 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, D-1, 40375, p801-802, 東北学院大学, 2009.8.26-29, 仙台市
- 122) 玄 姫, 裴 雪峰, 高 偉俊, 福田展淳, 龍 有 二, 渡邊俊行, 外岡 豊, 李 海峰 : 某ホテルのエネルギー消費実態及び省エネ対策の効果 : 中国長春市における非住宅建築物のエネルギー消費に関する調査研究 (その 2), 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, D-1, 40376, p803-804, 東北学院大学, 2009.8.26-29, 仙台市
- 123) 李 哲, 任 洪波, 高 偉俊, 李 海峰, 外岡 豊 : 中国における仮想パワープラント (VPP) の導入可能性に関する研究, 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, D-1, 40383, p817-818, 東北学院大学, 2009.8.26-29, 仙台市
- 124) 官 冬杰, 深堀秀敏, 外岡 豊, 李 海峰, 高 偉俊 : 7565 システム・ダイナミクス手法による中国の都市経済と環境の関係に関する研究 : その 1 都市経済と環境システムの分析手法, 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, 7565, p1199-1200, 東北学院大学, 2009.8.26-29, 仙台市
- 125) 深堀秀敏, 官 冬杰, 外岡 豊, 李 海峰, 高 偉俊 : 7566 システム・ダイナミクス手法による中国の都市経済と環境の関係に関する研究 : その 2 都市経済と環境システムの結果分析, 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, F-1, 7566, p1201-1202, 東北学院大学, 2009.8.26-29, 仙台市
- 126) 外岡 豊 : 低炭素社会・都市・建築の要素整理, 低炭素社会・都市・建築シンポジウム—真の持続可能性を目指して, 企画講演, 埼玉大学東京サテライト, 2009.6.18, 東京都

- 127) 外岡 豊, 高 偉俊, 李 海峰, 玄 姫, 寧 亜東:中国建築部門におけるエネルギー消費, CO₂排出構造の分析・予測, エネルギー・資源学会研究発表会 28 講演論文集, 2009.6.10-11, 東京都
- 128) 外岡 豊, 寧 亜東, 黎明, 韓 驥:中国交通部門におけるエネルギー消費, CO₂排出構造の分析・予測, エネルギー・資源学会研究発表会 28 講演論文集, 2009.6.10-11, 東京都
- 129) 玄 姫, 李 海峰, 高 偉俊, 外岡 豊, 寧 亜東:中国農村部におけるバイオマスの利用状況と政策動向, エネルギー・資源学会研究発表会 28 講演論文集, 2009.6.10-11, 東京都
- 130) 高 偉俊, 外岡 豊, 李 海峰, 任 建興:中国における電力エネルギーの技術及び政策動向, エネルギー・資源学会研究発表会 28 講演論文集, 2009.6.10-11, 東京都
- 131) 外岡 豊, 寧 亜東, 朱 徳志, 李 海峰, 高 偉俊:中国鉄鋼業とセメント業におけるエネルギー消費構造の分析・予測, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 25 講演論文集, 22-5, p100, 2009.1.29-30, 東京都
- 132) 寧 亜東, 外岡 豊, 朱 徳志, 楊 永, 王 君, 秦 偉偉, 韋 新東, 劉 京:中国東北地域における農村部住宅エネルギー消費構造の調査・分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 25 講演論文集, 22-4, p99, 2009.1.29-30, 東京都
- 133) 寧 亜東, 外岡 豊, 朱 徳志, 楊 永, 王 君, 秦 偉偉:中国大連地域における農村部住宅エネルギー消費構造の調査・分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 25 講演論文集, 22-3, p98, 2009.1.29-30, 東京都

2008 年

- 134) 外岡 豊:21 世紀を迎えて一歴史の大転換点に生きる, キワニスクラブ 176 回例会, 招待講演, 2008.12.3, さいたま市大宮
- 135) 外岡 豊:住宅と CO₂排出削減対策, 埼玉県地球温暖化防止活動推進員研修, 招待講演 2008.11.30, さいたま市大宮
- 136) Tonooka, Y:A Concept for Sustainable Town and Building, Part1 A First Step Toward Sustainable Town from Existing Urban Area:A New Institution of Real Estate Exchange for More Green Space —持続可能な環境理想都市と建築 その1 現存都市から持続可能都市への一歩—緑地拡大のための不動産交換制度変革, Proc. Creation of Asian City Model for Sustainable Development, AIUE, 5th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, p40-44, 2008.11.24-26, Kurobe-city, Toyama-perf.
- 137) Tonooka, Y:A Concept for Sustainable Town and Building, Part2 An Image Proposal of A Human Scale Urban Building with a Light Structure for Sustainable City, 持続可能な環境理想都市と建築 その2 持続可能都市要素としての軽量・低層建築の提案, Proc. Creation of Asian City Model for Sustainable Development, AIUE, 5th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, p45-48, 2008.11.24-26, Kurobe-city, Toyama-perf.
- 138) Tonooka, Y:A Concept for Sustainable Town and Building, Part3 An Idea of A Sustainable New Town Considering Relationship between Human Being and Nature, 持続可能な環境理想都市と

- 建築 その3 自然と人間の関係を考慮した新設持続可能都市構想, Proc. Creation of Asian City Model for Sustainable Development, AIUE, 5th International Symposium of Asia Institute of Urban Environment, p49-52, 2008.11.24-26, Kurobe-city, Toyama-perf.
- 139) 埼玉大学外岡豊ゼミ他学生+外岡 豊: パネルディスカッション「僕らが暮らす明日の未来を考えよう」～地球環境問題への工学, 社会環境, 教育などの諸領域からのアプローチ～, 国際さいたまシンポジウム－気候変動による国際的課題, さいたま市主催, 招待講演, (司会: 日高聡子, 北村真也, パネリスト: 山口忠成, 木村圭吾, 尾形 純, 小杉春菜, 市川裕隆, 杜佳雯, コーディネーター: 外岡 豊), 2008.11.09-10, 浦和市
- 140) 外岡 豊: カーボンニュートラルは可能か, 大林組・特別講演, 大林組技術研究所, 招待講演, 2008.11.07, 清瀬市
- 141) 外岡 豊: 建築対策・補足—いますぐ開始すべき御薦め対策, 建築学会シンポジウム, 京都議定書に建築は何ができるか—京都議定書約束期間を迎える地球温暖化対策と建築分野からの貢献, 日本建築学会シンポジウム, 企画講演, 2008.11.05, 東京都
- 142) 外岡 豊: 住宅とCO₂排出削減対策, 埼玉県すまいの温暖化対策協議会, 生活と環境展, 招待講演 2008.10.30, さいたま市大宮
- 143) 外岡 豊: 地球温暖化の原因と対策—生活者の立場から, 地球の環境と私たちの暮らし, さいたま市教育委員会, 別所会館, 招待講演, 2008.10.22, さいたま市
- 144) 外岡 豊: 中国農村部の実態, アジア地域における建築環境と Sustainable Development, 日本建築学会大会(中国)地球環境委員会研究協議会, 企画講演, 2008.9.18-20, 東広島市
- 145) 韋 新東, 外岡 豊, 尹 軍, 近藤康彦, 寧 亜東: 中国吉林省農村部家庭部門におけるエネルギー消費構造に関する調査・分析, 日本エネルギー学会大会 17 講演要旨集, 8-10, p330-331, 2008.8
- 146) 外岡 豊: 再生可能資源, 大連理工大学能源与動力学院, 招待講演, 2008.7.17, 大連市
- 147) Tonooka, Yutaka; Yadong Ning: Energy Consumption of Rural Housing in China and Climate Change, Forum 01, A Commentary on the Residential Energy Consumption in China, Data Secured and Required, COBEE, Invited, 2008.7.13-16, Dalian, China
- 148) Tonooka, Yutaka; Yadong Ning: Building Energy Consumption and Emission of GHGs and Air Pollutants in Japan and China, COBEE, 2008.7.13-16, Dalian, China
- 149) Tonooka, Y: Energy Consumption and Greenhouse Gas Emissions of Rural Housing in China, Discussion meeting in Qinghua university Resource Centre, Invited, 2008.7.11, Beijing, China
- 150) 外岡 豊: 中国の大気汚染物質, 温室効果関連物質の排出量推計と削減可能性, 大気環境学会都市大気環境モデリング, 発生源対策分科会講演会「国内外排出量インベントリの現状とその評価」, IGES 東京分室, 2008.7.01, 東京都
- 151) 外岡 豊, 深澤大樹, 金本 圭一郎: 日本の建築部門における CO₂ 排出の現状と削減シナリオ, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 24 講演論文集, 32-1, p144, p541-544, 2008.1.30-31, 東京都
- 152) 寧 亜東, 外岡 豊: 上海市の住宅部門におけるエネルギー消費構造の経年動向に関する分析, エネ

ルギーシステム・経済・環境コンファレンス 24 講演論文集, 17-1, p78, p301-304, 2008.1.30-31, 東京都

2007 年

- 153) Tonooka, Y.: The Structure of Building Energy Consumption in China, Special Session Building Energy in China the Present and the Future, IAQVEC 6th, Invited, 2007.10.28-31, Sendai-city
- 154) 外岡 豊: どうする気候変動問題, 浦高会総会・記念講演, 招待講演, 2007.10.20, さいたま市大宮
- 155) 姜 中天, 吉野 博, 渡辺俊行, 吉野泰子, 張 晴原, 高 偉俊, 外岡 豊, 熊谷一清, 羽山広文: 中国の都市集合住宅における暖冷房使用と用途別エネルギー消費量の実態, 調査, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, H-9, p1451-1454, 2007.8
- 156) 外岡 豊: 長期シナリオ比較—目標・現実・実現, 地球環境委員会研究協議会, 日本建築学会大会 (九州), 企画講演, 福岡大学, 2007.8.29-31, 福岡市
- 157) 伊香賀 俊治, 小池万里, 吉野 博, 長谷川 兼一, 外岡 豊, 下田吉之, 三浦秀一: 40490 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究 (その 11): 断熱改修を検討するための断熱基準別戸数推計データベースの改良, 日本建築学会 (九州) 学術講演梗概集, D-1, 40490, p1019-1020, 福岡大学, 2007.8.29-31, 福岡市
- 158) 尹 軍, 韋 新東, 外岡 豊: 中国吉林省農村部住宅におけるエネルギー消費実態調査分析, 日本建築学会 (九州) 学術講演梗概集, D-2, 41096, p191-192, 日本建築学会大会 (九州), 福岡大学, 2007.8.29-31, 福岡市
- 159) 姜 中天, 吉野 博, 于 リャン, 渡辺俊行, 吉野泰子, 張 晴原, 高 偉俊, 外岡 豊, 熊谷一清, 羽山広文: 中国の都市住宅における暖冷房使用とエネルギー消費量の実態調査, 日本建築学会 (九州) 学術講演梗概集, D-2, 41095, p189-190, 福岡大学, 2007.8.29-31, 福岡市
- 160) 長谷川 兼一, 吉野 博, 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万里: 低負荷型ライフスタイルの省エネルギー効果に関する調査研究: その 7 実行グレードの設定と住宅内エネルギー消費量の削減効果, 日本建築学会 (九州) 学術講演梗概集, D-2, 41084, p167-168, 福岡大学, 2007.8.29-31, 福岡市
- 161) 近藤康彦, 村田晃伸, 山田公子, 坂本和彦, 外岡 豊, 周 瑋生, 劉 炳義: 中国の民生家庭部門におけるエネルギー消費実態調査, 日本エネルギー学会大会 16 講演要旨集, 8-3, p340-341, 2007.8
- 162) 近藤康彦, 村田晃伸, 山田公子, 坂本和彦, 外岡 豊, 周 瑋生, 劉 炳義, 趙 越: 中国の農村部家庭部門におけるエネルギー需要分析, 日本エネルギー学会大会 16 講演要旨集, 8-4, p342-343, 2007.8
- 163) 外岡 豊: 大連理工大学客座教授就任講演, 大連理工大学能原与動力学院, 2007.6.28, 大連市, 中国
- 164) 寧 亜東, 外岡 豊: 中国セメント業における生産形態とエネルギー消費構造に関する分析, エネルギー・資源学会研究発表会 26 講演論文集, p 303-306, 2007.6
- 165) 姜 中天, 吉野 博, 崔 凱, 于リャン, 渡辺俊行, 吉野泰子, 張 晴原, 高 偉俊, 外岡 豊, 熊谷一清, 羽山広文: 中国の都市住宅における温熱環境とエネルギー消費の実態調査 (環境工学), 日本

建築学会東北支部研究報告集. 計画系(70), A-21, p87-90, 2007.6

- 166) 長谷川兼一, 吉野 博, 伊香賀俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万里: 省エネ型ライフスタイルの実行度合いと住宅内エネルギー消費量の削減効果 (環境工学), 日本建築学会東北支部研究報告集. 計画系 (70), A-26, p105-108, 2007.6
- 167) 韋 新東, 外岡 豊, 尹 軍: 464 中国東北地域農村部住宅におけるエネルギー消費実態調査分析 (環境工学), 日本建築学会研究報告. 九州支部. 2, 環境系(46), p253-256, 2007.3
- 168) 寧 亜東, 外岡 豊, 近藤康彦: 中国地域別家庭部門におけるエネルギー消費構造分析と将来予測, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 23 講演論文集, p263-266, 2007.1.25-26, 東京都
- 169) 寧 亜東, 外岡 豊, 近藤康彦: 中国鉄鋼業における生産形態とエネルギー消費構造に関する分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 23 講演論文集, p259-262, 2007.1.25-26, 東京都
- 170) 黄 錚, 外岡 豊, 坂本和彦, 王 青躍: 環境クズネツ曲線からみた東アジアの大気環境と都市化問題, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 23 講演論文集, p147-150, 2007.1.25-26, 東京都
- 171) 平野 勇二郎, 外岡 豊, 伊香賀 俊治, 亀卦川 幸浩, 藤沼 康実: 竣工設備データを用いた業務部門エネルギー消費原単位の詳細評価, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 23 講演論文集, p137-140, 2007.1.25-26, 東京都
- 172) 外岡 豊, 深澤大樹, 金本 圭一郎: 日本の家庭部門における CO₂ 排出削減シナリオ, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 23 講演論文集, p25-28, 2007.1.25-26, 東京都
- 173) 外岡 豊, 石田武志, 深澤大樹, 金本 圭一郎: 日本の業務部門における CO₂ 排出削減シナリオ, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 23 講演論文集, p21-24, 2007.1.25-26, 東京都

2006 年

- 174) 平野 勇二郎, 外岡 豊, 伊香賀 俊治, 他: 民生業務部門エネルギー消費原単位に関する各種資料の比較, 環境システム研究論文発表会 34 講演集, 土木学会, p37-44, 2006.10
- 175) 伊香賀 俊治, 吉野 博, 長谷川 兼一, 小池万里, 外岡 豊, 下田吉之, 三浦秀一: 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究 (その10): エネルギー消費量と CO₂ 排出量の 2050 年までの推計結果, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, G-60, p2137-2140, 2006.9.27-29
- 176) 小池万里, 伊香賀 俊治, 吉野 博, 長谷川 兼一, 外岡 豊, 下田吉之, 三浦秀一: 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究 (その 9): インターネットを利用した CO₂ 排出量の 2050 年までの将来推計サービス, 日本建築学会, 学術講演梗概集, D-2, 41101, p201-202, 神奈川大学, 2006.9.07-09, 横浜市
- 177) Tonooka, Y.: Energy Consumption and GHGs Emission Inventory of Buildings in Japan, Presentation for prof.Tadj Oreszczyn and Prof.Robert Lowe Group, Univeristy College London, 2006.9.05, London
- 178) 韋 新東, 尹 軍, 外岡 豊: 8-9. 中国吉林省農村部住宅におけるエネルギー消費実態調査分析, 日本エネルギー学会大会 15 講演要旨集, p 419-420, 2006.8.4

- 179) 寧 亜東, 外岡 豊, 劉 京: 8-8. 中国東北農村部家庭部門におけるエネルギー消費構造に関する調査・分析, 日本エネルギー学会大会 15 講演要旨集, p417-418, 2006.8.4
- 180) 高 偉俊司会, 外岡 豊他: ごみ処理と国境を越える資源循環—私が分別したゴミはどこへ行くの?—パネルディスカッション, SGRA フォーラム in 軽井沢 24, SGRA レポート No.0035, p62-75, 2006.7.22
- 181) Tonooka, Y: Energy Consumption and GHGs Emissions of Buildings in Japan, China and UK, IEA, Paris, 2006.7.05, Paris
- 182) 外岡 豊, 田中恭子, 東野晴行: 東アジアにおけるエアロゾル成因物質排出量推計, 「東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト」シンポジウム, 科研費特定領域研究(A), 2006.7
- 183) 寧 亜東, 外岡 豊, 周 瑋生: 中国地域別交通運輸部門の輸送需要特徴とエネルギー消費構造分析, エネルギー・資源学会研究発表会 25 講演論文集, p155-158, 2006.6
- 184) 外岡 豊: 西安交通大学客座教授就任講演, 人居环境学院, 2006.4.07, 西安, 中国
- 185) 伊香賀 俊治, 小池万里, 外岡 豊, 下田吉之, 三浦秀一: 日本の家庭からの CO₂ 排出量の 2050 年までの都道府県別逆予測, 日本 LCA 学会研究発表会 1 講演要旨集, p57, 2006.3.
- 186) 外岡 豊: 業務部門エネルギー消費実態とその排出削減対策, 公開シンポジウム, 日本の 21 世紀型・業務部門温暖化対策技術普及シナリオとは?, 国立環境研究所, 招待講演, 2006.2.21, つくば市
- 187) Tonooka, Y.: Emission Inventory of Aerosols and Their Precursors in China, Joint ACCENT/GEIA Workshop on Anthropogenic Emissions for Non-OECD Countries in Global Inventories, IIASA, 2006.2, Laxemburg, Austria
- 188) 外岡 豊, 石田武志, 深澤大樹, 馬場 剛, 中口毅博: 業務部門における温室効果ガス排出削減対策についてその 3, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 22 講演論文集, p635-638, 2006.1.26-27, 東京都
- 189) 深澤大樹, 中口毅博, 外岡 豊, 三浦秀一: 地方自治体における民生家庭部門温室効果ガス削減対策の特性分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 22 講演論文集, p627-630, 2006.1.26-27, 東京都
- 190) 村橋喜満, 外岡 豊, 深澤大樹: わが国住宅の暖冷房におけるエネルギー生産性の評価: その 1: 4 棟の高断熱・高気密住宅での実測調査を踏まえて, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 22 講演論文集, p553-556, 2006.1.26-27, 東京都
- 191) 寧 亜東, 外岡 豊, 近藤康彦: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その 12 中国家庭部門エネルギー消費構造分析と大気汚染物質及び温室効果ガス排出量の推計—排出量予測, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 22 講演論文集, p277-280, 2006.1.26-27, 東京都
- 192) 寧 亜東, 外岡 豊, 近藤康彦: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その 11 中国家庭部門エネルギー消費構造分析と大気汚染物質及び温室効果ガス排出量の推計—燃料消費構造予測, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 22 講演論文集, p 273-276, 2006.1.26-27, 東京都

- 193) 黄 錚, 外岡 豊, 坂本和彦, 王 青躍, 近藤康彦: 環境クズネッツ曲線からみた中国の大気環境と都市化問題, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 22 講演論文集, p 55-58, 2006.1.26-27, 東京都
- 194) 外岡 豊: 田中恭子, 東野晴行: エアロゾル成因物質の排出量推計, 東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト(AIE) 平成17年度シンポジウム講演要旨集, p48-49, 京都大学, 2006.1.16-18, 京都市
- 195) 外岡 豊: 持続可能な地球社会をめざした都市と環境のパラダイムシフト, 都市問題会議, 230 回例会, 2006.1.14, 東京都

2005 年

- 196) Tonooka, Y.: Energy Consumption and Black Carbon Emssion in Rural House in China, AIUE 2nd, International Symposium on Sustainable Development of Asia City Environment, Xi'an Jiaotong University, 2005.11.23-25, Xi'an city, China
- 197) Tonooka, Y., H.Higashino, K.Tanaka, Y.Ning, A.Kannari: Emission Inventory of Aerosols and their Precursors in East Asia, International Symposium on Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia, Kyoto University, 2005.9.19-21, Kyoto city
- 198) 小池万里, 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 水石 仁: 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究(その5): 住宅内のエネルギー消費推計マクロモデルの改良 日本建築学会, 学術講演梗概集, D-2, 41141, p311-312, 近畿大学, 2005.9.01-03, 東大阪市
- 199) 伊香賀 俊治, 小池万里, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 水石 仁: 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究(その6): 住宅の省エネルギー対策による CO₂ 削減量の 2020 年までの予測, 日本建築学会, 学術講演梗概集, D-2, 41142, p313-314, 近畿大学, 2005.9.01-03, 東大阪市
- 200) 内海康雄, 神村一幸, 外岡 豊, 三田村 輝章, 中根 英昭: CO₂ 削減のための建築設備の自動コントロールシステム技術に関する開発・研究: その1 プロジェクトの概要, 日本建築学会, 学術講演梗概集, D-2, 41641, p1333-1334, 近畿大学, 2005.9.01-03, 東大阪市
- 201) 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万里: I-32 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究(その8): 断熱・家電製品・ライフスタイルの変更による CO₂ 削減量, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, p1449-1452, 2005.8.9-11, 札幌市
- 202) 小池万里, 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之: 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究(その7): 世帯あたりエネルギー消費量の推計値と実測値の比較, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, I-31, p1445-1448, 2005.8.9-11, 札幌市
- 203) 内海康雄, 神村一幸, 井上 隆, 外岡 豊, 三田村 輝章, 百田真史, 吉田 友紀子, 中根英昭: CO₂ 排出量削減のための空調機器の自動制御システム開発に関する研究: (第1報) 開発プロジェクトの概要, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, C-65, p1737-1740, 2005.8.9-11, 札幌市
- 204) 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万里: 民生家庭部門 CO₂ 排出量と温暖化対策

- 効果の都道府県別将来推計, 日本エネルギー学会大会14講演要旨集, 6-16, p310-311, 2005.8, 大阪市
- 205) 村橋喜満, 外岡 豊, 深澤大樹: 日本の住宅における温室効果ガス排出削減対策, 日本エネルギー学会大会14講演要旨集, 6-17, p312-313, 2005.8, 大阪市
- 206) 寧 亜東, 外岡 豊, 深澤大樹, 村橋喜満: 中国の住宅における温室効果ガス排出削減対策, 日本エネルギー学会大会14講演要旨集, 6-18, p314-315, 2005.8, 大阪市
- 207) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国交通部門における輸送需要とエネルギー消費構造の将来予測と対策効果分析, 日本エネルギー学会大会14講演要旨集, 8-6, p364-365, 2005.8, 大阪市
- 208) Kannari, A., Y.Tonooka, K.murano, T.Baba: Development of Multiple Species Emissions Inventory, Acid Rain2005, 2005.6, Prague, Czech
- 209) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その10 中国交通部門輸送需要構造の推移とエネルギー消費構造に関する分析と推計, エネルギー・資源学会研究発表会24講演論文集, p13-16, 2005.6.09-10, 東京都
- 210) 外岡 豊, 寧 亜東, 東野晴行, 田中恭子, 深澤大樹: 東アジアにおける温室効果ガス排出削減対策: 中国住宅バイオマス・エネルギー消費とエアロゾル排出抑制, エネルギー・資源学会研究発表会24講演論文集, p27-30, 2005.6.09-10, 東京都
- 211) 黄 錚, 外岡 豊, 近藤康彦: 環境クズネツ曲線から見た中国の地域経済発展と水環境, 固体廃棄物問題, エネルギー・資源学会研究発表会24講演論文集, p73-76, 2005.6.09-10, 東京都
- 212) 外岡 豊, 深澤大樹, 中口毅博, 馬場 剛, 中根英昭, 藤野 毅: 部門における温室効果ガス排出削減対策について その2, エネルギー・資源学会研究発表会24講演論文集, p273-276, 2005.6.09-10, 東京都
- 213) 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万里: 住宅のエネルギー消費量とCO₂排出量の都道府県別マクロシミュレーション手法の開発, 日本LCA学会研究発表会講演要旨集, p75, 2005.3, つくば市
- 214) Tonooka Y.A.Kannari, K.Murano: Emission Inventory Comparison: China Case in 2002, MICS-ASIA workshop, IIASA, 2005.2.14-15, Laxenburg, Austria
- 215) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その8 中国都市部家庭部門エネルギー消費構造の予測及び大気汚染物質, 温室効果ガス排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス21講演論文集, p391-394, 2005.1, 東京都
- 216) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その9 中国農村部家庭部門エネルギー消費構造分析と大気汚染物質及び温室効果ガス排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス21講演論文集, p395-398, 2005.1, 東京都

- 217) 村橋喜満, 外岡 豊, 鈴木憲三, 深澤大樹: 高断熱高気密住宅における夏期の室内温熱環境とエネルギー消費特性: 会津若松における三年間の実測調査を踏まえて, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 21 講演論文集, p469-472, 2005.1, 東京都
- 218) 深澤大樹, 外岡 豊, 村橋喜満, 三浦秀一: 住宅部門における地域別のエネルギー消費と CO₂ 排出実態の現況分析: 2002 年度における都道府県・政令市別推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 21 講演論文集, p 573-576, 2005.1, 東京都
- 219) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その 8 中国都市部家庭部門エネルギー消費構造の予測及び大気汚染物質, 温室効果ガス排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 21 講演論文集, p391-394, 2005.1, 東京都

2004 年

- 220) Tonooka Y.: A survey on the energy consumption in rural households in the fringes of Xian city, 3rd EERB2004, 2004. Xi'an, China (invited)
- 221) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国の家庭部門におけるエネルギー消費構造と環境負荷物質の排出動向に関する分析及び対策効果の予測, 中国科学院山西煤炭化学研究所, 招待講演, 2004.10.29, 太原市, 中国
- 222) 吉田 友紀子, 井上 隆, 神村一幸, 内海康雄, 三田村 輝章, 百田真史, 外岡 豊, 平野 勇二郎: B-43 エネルギー消費削減目標への技術的解決について, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, p1539-1542, 2004.8
- 223) 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 小池万理, 深澤大樹, 水石 仁: 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究(その 1): 住宅内のエネルギー消費推計マクロモデルの概要, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-2, 41184, p395-396, 北海道大学, 2004.8.29-31, 札幌市
- 224) 小池万里, 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 外岡 豊, 下田吉之, 深澤大樹, 水石 仁: 41185 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究 (その 2): 住宅内のエネルギー消費推計マクロモデルの検証, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-2, 41185, p397-398, 北海道大学, 2004.8.29-31, 札幌市
- 225) 深澤大樹, 外岡 豊, 伊香賀 俊治, 三浦秀一, 小池万里: 41187 住宅内のエネルギー消費量の都道府県別将来推計に関する研究(その 4): 都道府県別住宅断熱水準, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-2, 41187, p401-402, 北海道大学, 2004.8.29-31, 札幌市
- 226) 村橋喜満, 鈴木憲三, 外岡 豊: 住宅の断熱性能と電力消費量のピークカットに関する研究: 会津若松の戸建住宅における実測と評価を通して, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-2, 41577, p1197-1198, 北海道大学, 2004.8.29-31, 札幌市
- 227) Hutchinson, D., D.Vowles, A.kannari, Y.Tonooka, Y.Nishida: Air Quality in London and Tokyo: A Comparison, World Clean Air and Environmental Protection 13th Congress and Exhibition, 2004.

8.22-27, London, UK

- 228) Tonooka, Y., Y.Ning, A.Kannari, K.murano, H.Higashino, H.Mu, Y.kondou: Air pollutants and GHGs Emission Inventory in East Asia, World Clean Air and Environmental Protection 13th Congress and Exhibition, 2004. 8.22-27, London, UK
- 229) 近藤康彦, 村田晃伸, 穆 海林, 坂本和彦, 外岡 豊: アジア諸国における石炭利用技術導入可能性に関する分析, 日本エネルギー学会大会 13 講演要旨集, 8-2, p314-315, 工学院大学新宿, 2004.7.29-30, 東京都
- 230) 黄 錚, 外岡 豊, 近藤康彦: 中国の工業化とそのエネルギー消費, 日本エネルギー学会大会 13 講演要旨集, 8-11, p332-333, 工学院大学新宿, 2004.7.29-30, 東京都
- 231) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生: 中国交通部門における輸送需要の推移及びエネルギー消費構造に関する研究, 日本エネルギー学会大会 13 講演要旨集, 8-13, p336-337, 工学院大学新宿, 2004.7.29-30, 東京都
- 232) 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生, 外岡 豊, 寧 亜東, 坂本和彦: 中国における交通部門エネルギー消費と環境排出に関する分析・予測, 日本エネルギー学会大会 13 講演要旨集, 8-14, p 338-339, 工学院大学新宿, 2004.7.29-30, 東京都
- 233) 外岡豊: 21 世紀の環境経営, エコステージ研究会 (中国人民大学訪日団研究交流集会), 2004.6.25, さいたま市大宮
- 234) 穆 海林, 近藤康彦, 村田晃伸, 外岡 豊, 周 瑋生, 坂本和彦: 中国における省別部門別細分化エネルギー消費と環境排出に関する分析・予測モデルの開発, エネルギー・資源学会研究発表会 23 講演論文集, p49-52, 2004.6.10-11, 大阪市
- 235) Kannari, A., Tonooka Y. K.Murano: Emission Inventory Intercomparison -Japan Case-, MICS-ASIA workshop, 6th, IIASA, 2004.2.09-10, Laxenburg, Austria
- 236) Tonooka Y.A.Kannari, K.Murano: Emission Inventory Intercomparison -China Case-, MICS-ASIA workshop, 6th, IIASA, 2004.2.09-10, Laxenburg, Austria
- 237) 近藤康彦, 村田晃伸, 穆 海林, 小竹恵子, 坂本和彦, 外岡 豊: わが国を含めたアジア諸国のエネルギー需給構造に関する基礎的な分析と評価, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p99-102, 2004.1.29-30, 東京都
- 238) 黄 錚, 外岡 豊, 近藤康彦: 環境クズネッツ曲線の国際比較: 日中長期動向分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p151-154, 2004.1.29-30, 東京都
- 239) 外岡 豊, 深澤大樹, 中口毅博, 馬場 剛: 業務部門における温室効果ガス排出削減対策について, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス20 講演論文集, p259-262, 2004.1.29-30, 東京都
- 240) 三浦秀一, 外岡 豊, 野地洋史, 中口毅博: 家計調査による建物属性別エネルギー消費に関する研究, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p281-284, 2004.1.29-30, 東京都
- 241) 野地洋史, 外岡 豊, 三浦秀一, 中口毅博, 深澤大樹, 村橋喜満: 家計調査による住宅エネルギー消費の地域特性に関する研究, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集,

p285-288, 2004.1.29-30, 東京都

- 242) 深澤大樹, 外岡 豊, 村橋喜満, 三浦秀一:日本の住宅部門における温室効果ガス排出削減対策の検討: その1 2000 年度実績値をもとにした主要機器別対策効果算定手法の検討, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p289-292, 2004.1.29-30, 東京都
- 243) 深澤大樹, 外岡 豊, 村橋喜満, 三浦秀一:日本の住宅部門における温室効果ガス排出削減対策の検討: その2 断熱性能向上と高効率家電機器の普及による地域別対策効果の算定, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p293-296, 2004.1.29-30, 東京都
- 244) 石原 優, 深澤大樹, 村橋喜満, 外岡 豊:家庭用エネルギー供給機器の温暖化対策費用効果分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス20 講演論文集, p297-300, 2004.1.29-30, 東京都
- 245) 穆 海林, 近藤康彦, 外岡 豊, 寧 亜東, 周 瑋生, 坂本和彦:中国における鉄鋼製造エネルギー消費の現況分析及びその国際比較, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p395-398, 2004.1.29-30, 東京都
- 246) 村橋喜満, 外岡 豊, 鈴木憲三, 深澤大樹:住宅の断熱・気密性能と電力消費量のピークカットに関する研究:会津若松の戸建住宅における実測と評価を通して, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p563-566, 2004.1.29-30, 東京都
- 247) 寧 亜東, 外岡 豊, 深澤大樹, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生:中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析:その7 中国都市部家庭部門エネルギー消費構造分析と大気汚染物質及び温室効果ガス排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 20 講演論文集, p581-584, 2004.1.29-30, 東京都
- 248) 外岡 豊, 東野晴行:東アジアにおける将来 BC, OC 排出量予測—中国生活部門試算, 東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト(AIE) 平成 15 年度シンポジウム講演要旨集 p51-55, 京都大学, 2004.1.26-28, 京都市
- 249) 安井 至, 浅野直人, 上野 潔, 小野芳朗, 外岡 豊, 藤倉 良:パネルディスカッション「環境学の体系化と研究・教育」, 環境科学会誌 17(1), p76-82, 東京大学駒場, 2004.1 東京都

2003 年

- 250) 外岡 豊:異常体験としての 20 世紀後半から 3 千年紀を展望する, 埼玉大学公開講座, 地球環境との共生を目指す, 第 1 回, p 2-19, 2003.10.11, 大宮市
- 251) 外岡 豊, 神成陽容, 村野 健太郎, 穆 海林, 東野晴行:東アジア地域を対象とした大気汚染物質排出量推計:その9 エアロゾルの現況排出実態推計, 大気環境学会年会 44 講演要旨集, 2M0915, p571, 2003., 京都大学, 9.24-26, 京都市
- 252) 穆 海林, 近藤康彦, 外岡 豊, 寧 亜東, 周 瑋生, 坂本和彦:東アジア地域を対象とした大気汚染物質排出量推計:その10 中国におけるセメント部門のエネルギー消費とその大気汚染物質排出量の現況分析と将来予測, 大気環境学会年会 44 講演要旨集, 2M0930, p572, 京都大学, 2003.9.24-26, 京都市
- 253) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 村田晃伸, 周瑋生:東アジア地域を対象とした大気汚染

- 物質排出量推計：その11 中国の都市化を考慮した家庭部門の分析と予測，大気環境学会年会44 講演要旨集，2M0945，p573，京都大学，2003.9.24-26，京都市
- 254) 外岡 豊，三浦秀一，村橋喜満：断熱強化による住宅エネルギー需要の地域別削減効果の検討（断熱評価，環境工学D），日本建築学会（中部），学術講演梗概集，40503，p1021-1022，中部大学，2003.9.05-07，春日井市
- 255) 鈴木憲三，村橋喜満，外岡 豊：41096 薄板軽量形鋼造に外張断熱を施した高断熱高気密住宅の室内温熱環境とエネルギー消費特性：その1 会津若松の戸建住宅における冬期の評価，日本建築学会（中部），学術講演梗概集，41096，p213-214，中部大学，2003.9.05-07，春日井市
- 256) 伊香賀 俊治，外岡 豊，佐藤正章：1995 年産業連関表に基づく LCA データベース，空気調和衛生工学会学術講演会論文集，OS-1，p605-608，2003.8
- 257) 寧 亜東，外岡 豊，村田晃伸，近藤康彦，穆 海林：中国の都市化を考慮した都市部家庭部門エネルギー消費動向の分析と予測，日本エネルギー学会大会12 講演要旨集，4-3，p260-261，2003.7，札幌市
- 258) 近藤康彦，村田晃伸，穆 海林，小竹恵子，坂本和彦，外岡 豊：アジア国別のエネルギー需給見通しにおける基礎的な分析，日本エネルギー学会大会12 講演要旨集，9-11，p432-433，2003.7，札幌市
- 259) 李 克罡，外岡 豊，寧 亜東，近藤康彦，穆 海林，小竹 志織里：中国における家庭用電化製品によるエネルギー消費量の推計，日本エネルギー学会大会12 講演要旨集，9-12，p434-435，2003.7，札幌市
- 260) 穆 海林，近藤康彦，外岡 豊，寧 亜東，坂本和彦，周瑋生：近年中国におけるエネルギー消費状況の解析，日本エネルギー学会大会12 講演要旨集，9-13，p436-437，2003.7，札幌市
- 261) 外岡 豊：球温暖化防止のための国際協力，環境問題と国際協力：COP3 の目標は実現可能か，SGRA フォーラム12 回，SGRA レポート No.0020，p 3-18，2003.7.19，軽井沢
- 262) 外岡 豊：前駆物質の排出実態，増え続ける光化学オキシダント—その原因と対策—，大気環境学会特別講演会，2003.7.07，東京都
- 263) 外岡 豊：地球温暖化対策概論，環境セミナー，紙パルプ技術協会，2003.6.10，東京都
- 264) Tonooka, Y.: NMVOCs Emission Inventory in Japan, Saitama University Symposium-Asian Energy and Environment, Organized by Tonooka, Y. 2003.3.14, Saitama-city
- 265) Tonooka, Y, A. Kannari, H. Higashino, K. Murano: Emission Inventory of Air Pollutants in East Asia, International Conference on Atmospheric Science and Application to Air Quality, 8th ASSAQ2003, 2003.3.11-13, Tsukuba
- 266) Kondou, Y, H. Mu, Y. Tonooka, Y. Ning, W. W. Zhou, K. Sakamoto: Emissions of NO_x, SO₂ and CO₂ in China up to the year of 2020, 8th ASSAQ2003, 2003.3.11-13, Tsukuba
- 267) 寧 亜東，外岡 豊，穆 海林，近藤康彦：中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析：その5 中国の人口構成と都市化度別消費水準動向を反映した民生部門予測，エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス19 講演論文集，p331-336，2003.1.30-

- 31, 東京都
- 268) 外岡 豊, 寧 亜東, 深澤大樹, 穆 海林, 近藤康彦: 中国における住宅エネルギー消費と温室効果ガス, 大気汚染物質排出量の推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 19 講演論文集, p337-342, 2003.1.30-31, 東京都
- 269) 穆 海林, 近藤康彦, 外岡 豊, 寧 亜東, 周 瑋生, 坂本和彦: Analyses on Accuracy and Sensitivity of Gray Energy Model, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 19 講演論文集, p399-404, 2003.1.30-31, 東京都
- 270) 近藤康彦, 穆海林, 村田晃伸, 八木田 浩史, 坂本和彦, 外岡 豊: アジア諸国におけるエネルギー需要量推定モデルの作成, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 19 講演論文集, p479-482, 2003.1.30-31, 東京都
- 271) 村橋喜満, 外岡 豊, 鈴木憲三, 深澤大樹: 地球温暖化対策の観点からみた住宅の「高断熱・高気密化」対策とその誘導措置のあり方に関する研究: 住宅の熱性能向上化対策とその費用対効果を中心に, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 19 講演論文集, p581-586, 2003.1.30-31, 東京都
- 272) 深澤大樹, 外岡 豊, 村橋喜満, 三浦秀一: 都道府県別住宅 CO₂ 排出実態の詳細推計: その 3 2000 年度における建て方別・用途別推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 19 講演論文集, p703-708, 2003.1.30-31, 東京都
- 273) 外岡 豊, 東野晴行: エアロゾル成因物質の排出量推計—排出係数の適用を中心に, 科研費特定領域研究「東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト」平成 14 年度研究発表会, 講演要旨集 p47-48, 2003.23-25, つくば市

2002 年

- 274) 外岡 豊: 地球環境問題と公害—20 世紀を振り返って 21 世紀を展望する, 埼玉大学経済学部市民講座第 7 回, 21 世紀型日本システムを展望する—国際化・高齢化・自然環境を中心に, 第 7 回, 大宮ソニックシティ・カレッジ, 招待講演, 2002.11.14, 大宮市
- 275) 外岡 豊: 住宅エネルギー消費と燃料電池, エネルギー分科会講演, 化学技術推進機構, 招待講演, 2002.11.07, 東京都
- 276) Ikaga, T., Y.Tonooka: Integrated LCA & LCC Software of Buildings Proposed by the Architectural Institute of Japan, S1-104, EcoBalance, 5th, Epochal Tsukuba, p925-926, 2002.11.6-8, Tsukuba-city
- 277) Tonooka, Y.: Methodology of Emission Factor for Stationary Combustion Sources, The Workshop on East Asian Economy, Energy and Environment in 21st Century for the 30 th Anniversary of Normalization of Diplomatic Relations between Japan and China, Zhejiang University, 2002.10, Hanjiou, China
- 278) Tonooka, Yutaka, Hailin Mu, Yadong Ning: Energy Consumption in Residential House and Emissions Inventory of GHGs, Air Pollutants in China, Proc. of the 2nd International Workshop on Enrgy and Environment of Residential Buildings in China, Tongji University, 2002.10, 14-15,

Shanghai, China

- 279) 神成陽容, 外岡 豊, 村野 健太郎: 東アジア地域の大气汚染物質排出インベントリー開発, 大气環境学会年会 43 講演要旨集, 1F1400, p336, 農工大農学部, 2002.9.11-13, 東京都府中市
- 280) 外岡 豊, 穆 海林, 神成陽容, 村野 健太郎: 東アジア地域を対象とした大气汚染物質排出量推計: その 6 2000 年までの現況実態推, 大气環境学会年会 43 講演要旨集, 1F1415, p337, 農工大農学部, 2002.9.11-13, 東京都府中市
- 281) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 近藤康彦, 周 瑋生, 坂本和彦: 東アジア地域を対象とした大气汚染物質排出量推計: その 8 都市化地域格差シナリオによる将来予測, 大气環境学会年会 43 講演要旨集, 1F1430, p338, 農工大農学部, 2002.9.11-13, 東京都府中市
- 282) 穆 海林, 外岡 豊, 近藤康彦, 寧 亜東, 周 瑋生, 坂本和彦: 東アジア地域を対象とした大气汚染物質排出量推計: その 7 生産技術と対策技術シナリオによる将来予測, 大气環境学会 44 講演要旨集, P28, p498, 農工大農学部, 2002.9.11-13, 東京都府中市
- 283) 村橋喜満, 鈴木憲三, 外岡 豊: 薄板軽量形鋼を枠組とした外張高断熱高気密住宅の温熱環境特性とエネルギー消費効率の評価, 日本建築学会 (北陸), 学術講演梗概集, D-2, p171-172, 金沢工業大学, 2002.8.02-04, 金沢市
- 284) 外岡 豊, 三浦秀一: 日本の住宅 CO₂ 対策の可能性評価, 日本建築学会 (北陸), 学術講演梗概集, D-1, p1021-1022, 金沢工業大学, 2002.8.02-04, 金沢市
- 285) 寧 亜東, 外岡 豊, 穆 海林, 坂本和彦, 周 瑋生, 近藤康彦: 中国における大气汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その 4 中国の人口構成と都市化度別消費水準動向を反映した将来シナリオ分析, エネルギー・資源学会研究発表会 21 講演論文集, p27-32, 2002.6.12-13, 大阪市
- 286) Hailin, M., Y.Tonooka, Y.Ning, K.Sakamoto, W.Zhow, Y.Kondo: Analysis and Forecast Modeling Enrgy Consumption and Emissions of Air Pollutants and GHGs in East Asia-Scenario Analysis of Production and Combustion Technologies for Heavy Industries in China, エネルギー・資源学会研究発表会 21 講演論文集, p33-38, 2002.6.12-13, 大阪市
- 287) 村橋喜満, 外岡 豊, 鈴木憲三, 深澤大樹, 三浦秀一: 地球温暖化対策の観点からみた高断熱高気密住宅の暖冷房と住まいのあり方に関する研究, エネルギー・資源学会研究発表会 21 講演論文集, p157-162, 2002.6.12-13, 大阪市
- 288) 外岡 豊, 深澤大樹, 村橋喜満, 三浦秀一, Matthew Leach, David Hutchinson: 住宅温室効果ガス排出量削減対策の日英比較, エネルギー・資源学会研究発表会 21 講演論文集, p247-252, 2002.6.12-13, 大阪市
- 289) 深澤大樹, 外岡 豊, 村橋喜満, 松井俊明, 三浦秀一: 都道府県別住宅 CO₂ 排出実態の詳細推計: その 2—暖冷房標準負荷計算による建て方別推計—, エネルギー・資源学会研究発表会 21 講演論文集, p261-266, 2002.6.12-13, 大阪市
- 290) Tonooka, Y.: Technologies for GHGs Emission Control in Industrial Sector, Group Training Course in “Techonology for GHGs Emission mitigation”, ICETT, JICA, 2002.2.11, tokyo

- 291) 村橋喜満, 外岡 豊, 本藤祐樹, 伊香賀 俊治: 1995 年建設部門産業関連表誘発 CO₂ 排出原単位分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 18 講演論文集, p451-456, 2002.1.24-25, 東京都
- 292) 外岡 豊, 深澤大樹, 村橋喜満, 松井俊明, 三浦秀一: 都道府県別住宅 CO₂ 排出実態の詳細推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 18 講演論文集, p457-462, 2002.1.24-25, 東京都
- 293) 寧 亜東, 穆 海林, 外岡 豊, 坂本和彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析: その 3 地域別・年齢別人口モデルとエネルギー消費量, CO₂ 排出量推計, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 18 講演論文集, p573-578, 2002.1.24-25, 東京都

2001 年

- 294) 外岡 豊: 21 世紀・都市と生活の環境設計, 21 世紀の社会・都市・建築・生活—地球環境の視点から, 日本学術会議生活環境設計シンポジウム, 4 回, 2001.11, 東京都
- 295) 外岡 豊: 地球環境問題と 21 世紀 21 世紀をどう生きるか?, さいたま市立木崎中学校, 総合学習〈環境問題〉講演会, 2001.10.26, さいたま市
- 296) 神成陽容, 馬場 剛, 植田洋匡, 外岡 豊, 松田和秀: 日本の大気汚染物質排出インベントリー開発, 大気環境学会 42 講演要旨集, 1G0930, p278, 産業医科大学, 2001.10.6-8, 北九州
- 297) 神成陽容, 外岡 豊, 村野 健太郎: 日本・中国における人為起源・植物起源 NMVOC 排出, 大気環境学会 42 講演要旨集, P41, p456, 産業医科大学, 2001.10.6-8, 北九州
- 298) 穆 海林, 坂本和彦, 外岡 豊, 周 瑋生: 中国における鉄鋼業の大気汚染物質と温室効果ガス排出量将来動向予測と対策検討, 大気環境学会 42 講演要旨集, 2H1015, p524, 産業医科大学, 2001.10.6-8, 北九州市
- 299) 寧 亜東, 穆 海林, 外岡 豊, 坂本和彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出量の将来動向と対策効果予測モデル分析—その 1 地域別基礎活動量推計モデル, エネルギー・資源学会研究発表会 20 講演論文集, p467-472, 2001.6
- 300) 穆 海林, 寧 亜東, 外岡 豊, 坂本和彦, 周 瑋生: 中国における大気汚染物質と温室効果ガス排出の将来動向と対策効果予測モデルの分析—その 2 地域エネルギー消費と排出量推計モデル, エネルギー・資源学会研究発表会 20 講演論文集, p473-478, 2001.6
- 301) 外岡 豊: 環境デザインとしての建築と環境, 環境建築特論(仙田満)ゲスト講義, 東京工業大学大学院, 大岡山校舎, 2001.5.29, 東京都
- 302) Tonooka, Y.: Technology on Prevention Global Warming in Industrial Sector, ICETT Group Training Course in Technology for GHGs Emission, 2001.2, Yokkaichi-city
- 303) 外岡 豊, 本藤祐樹, 神成陽容, 森口祐一, 南斎規介: LCA への基礎解析—1995 年産業連関表による大気汚染物質誘発排出分析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 17 講演論文集, p193-198, 2001.1, 東京都
- 304) 森泉由恵, 本藤祐樹, 外岡 豊, 神成陽容: 地球温暖化を対象とした LCI のための基礎データ—産業連関表(1995 年表)を用いた CO₂ および CH₄ 排出原単位の推計—, エネルギーシステム・経

済・環境コンファレンス 17 講演論文集, p203-208, 2001.1, 東京都

2000 年

- 305) Tonooka, Y., A.Kannari, H.Higashino, K.Murano: NMVOCs and CO Emission Inventory in East Asia, Acid Rain 2000, 5th, 2000.12, Tsukuba-city
- 306) Y.Tonooka, Y.Moriguchi, H.Hondo, K.Harada, T.Ikaga, A.Kannari, H.Shiba, K.Hagiwara: Emission factor Analysis of Air Pollutants for Input/Output Table, Proc.4th International Conference on Eco Balance, C1-08, Tsukuba, 2000.10.31-11.02
- 307) 外岡 豊, 神成陽容, 村野 健太郎, 東野晴行, 穆 海林, 寧 亜東: 東アジア地域を対象とした大気汚染物質排出量推計: その 5 グリッド別排出分布の推計, 大気環境学会 41 講演要旨集, 2L0930, p476, 埼玉大学, 2000.9.26-28, 浦和市
- 308) 三浦秀一, 外岡 豊: 住宅における都道府県別 CO₂ 排出量の増加構造と将来予測に関する研究: 住宅が与える環境負荷の地域特性に関する研究 (その 3), 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集. D-1, 40479, p971-972, 日本大学工学部, 2000.9.08-10, 郡山市
- 309) 阿部成治, 三浦秀一, 外岡 豊: 世帯人員と CO₂ 排出量に関する研究: 家計消費支出にもとづく CO₂ 排出量の推計, 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, D-1, 40480, p973-974, 日本大学工学部, 2000.9.08-10, 郡山市
- 310) 外岡 豊, 三浦秀一, 中島裕輔: 21 世紀環境理想都市構想: 東京を例として, 日本建築学会 (東北), 学術講演梗概集, D-1, 40535, p1083-1084, 日本大学工学部, 2000.9.08-10, 郡山市
- 311) 菊池泰聡, 三浦秀一, 外岡 豊: 都市建設に起因する CO₂ 排出に関する研究: ストックアプローチによる CO₂ 排出の推計 (環境工学 II), 日本建築学会東北支部研究報告集. 計画系 (63), p385-388, 2000.6
- 312) 外岡 豊, 鈴木俊治, 三浦秀一, 中島裕輔: 21 世紀環境理想都市構想- 東京都 都区部を例として, エネルギー・資源学会研究発表会 19 講演論文集, p181-186, 2000.6, 大阪市
- 313) Tonooka, Y.: Air Pollutant Emission Inventory in Japan, 2nd Meeting of Expert Group on Modeling of Transboundary Air Pollution, HK Convention & Exhibition Centre, 2000. 3.27-31, Hong Kong
- 314) 大竹裕之, 外岡 豊, 三浦秀一, 阿部成司: HLCE—ヒューマンライフサイクル排出に関する研究— 家計調査による CO₂ 等排出量動向分析—, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 16 講演論文集, p79-84, 2000.1, 東京都
- 315) 穆 海林, 坂本和彦, 外岡 豊, 周 瑋生: 日本のエネルギー需給動向分析を例としたグレーモデルの検証, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 16 講演論文集, p91-96, 2000.1, 東京都
- 316) 外岡 豊, 山内 毅, 神成陽容: トリップ・エネルギー分析による交通環境影響評価, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 16 講演論文集, p561-566, 2000.1, 東京都

1999 年

- 317) 外岡 豊, 東野晴行, 村野 健太郎: 1 H16 東アジア地域を対象とした大気汚染物質排出量推計:

- その4 人工起源 NMVOC 排出量の改訂推計, 大気環境学会 40 講演要旨集, 1H16, p426, 三重大学, 1999.9.28-30, 津市
- 318) 阿部成治, 三浦秀一, 外岡 豊: 40457 都市階級によるCO₂排出特性に関する研究: 家計消費支出にもとづくCO₂排出量の算定, 日本建築学会(中国), 学術講演梗概集, 40457, p951-952, 広島大学, 1999.9.17-19, 広島市
- 319) 三浦秀一, 阿部成治, 外岡 豊: 家庭生活における住宅と交通からの CO₂ 排出の地域特性に関する研究, 日本建築学会(中国), 学術講演梗概集, 40458, p953-954, 広島大学, 1999.9.17-19, 広島市
- 320) 外岡 豊: 建築 LCA について: その実践的手法, 日本建築学会(中国), 学術講演梗概集, 40478, p993-994, 広島大学, 1999.9.17-19, 広島市
- 321) 伊香賀 俊治, 外岡 豊: 建物の LCA データベース: 電気・械設備の LCCO₂, LCSO_x, LCNO_x, LCE, LCC データベース, 空気調和衛生工学会, 学術講演会論文集, D-6, p229-232, 1999.8
- 322) Ikaga, T., Y. Tonooka, H. Hondo, Y. Uchiyama: Simplified LCA Method of Building and its Data Base for Designers, Eco-materials, IUMRS International conference on Advanced materials, 5th, 1999.6
- 323) 島津郁美, 三浦秀一, 阿部成治, 外岡 豊: 旅客交通における CO₂ 排出量の地域特性に関する研究, 日本建築学会東北支部研究報告集(62), 3-10, p101-104, 1999.6
- 324) 鈴木 匠, 三浦秀一, 外岡 豊: 住宅における都道府県別 CO₂ 排出量の実態に関する研究: 住宅が与える環境負荷の地域特性に関する研究(その5), 日本建築学会東北支部研究報告集(62), 5-10, p257-260, 1999.6
- 325) 三浦秀一, 外岡 豊: 住宅における都道府県別 CO₂ 排出量の推移と動向に関する研究: 住宅が与える環境負荷の地域特性に関する研究(その6), 日本建築学会東北支部研究報告集(62), 5-11, p261-264, 1999.6
- 326) 鈴木沙織, 三浦秀一, 阿部成治, 外岡 豊: 家庭生活に関わる CO₂ 排出量とその地域特性に関する研究: 家計の消費支出にもとづく CO₂ 排出量の算定, 日本建築学会東北支部研究報告集(62), 5-12, p265-268, 1999.6
- 327) 加藤真紀, 三浦秀一, 外岡 豊: 建築工事及び土木工事における CO₂ 排出量の地域特性に関する研究, 日本建築学会東北支部研究報告集(62), 5-31, p347-350, 1999.6
- 328) 穆 海林, 外岡 豊, 周 瑋生, 坂本和彦: 灰色システムモデル理論による中国のエネルギー消費量と CO₂ 排出量の予測, エネルギー資源学会研究発表会 18 講演論文集, p111-116, 1999.6, 東京都
- 329) 外岡 豊, 本藤祐樹, 内山洋司, 神成陽容, 佐藤 治: 大気環境影響濃度を考慮した LCA 手法, エネルギー資源学会研究発表会 18 講演論文集, p255-258, 1999.6, 東京都
- 330) 外岡 豊, 本藤祐樹, 内山洋司: LCA への基礎解析—素材生産の排出原単位分析, エネルギーシステム・経済環境コンファレンス 15 講演論文集, 1999.1, 東京都
- 331) 伊香賀俊治, 外岡 豊, 本藤祐樹, 内山洋司: 建築物の LCA-CO₂ と大気汚染排出評価, エネルギーシステム・経済環境コンファレンス 15 講演論文集, 1999.1, 東京都
- 332) Tonooka, Y.: Country Report on Emission Estimation in Japan, Proc. of the Expert Group Meeting on Emission Monitoring and Estimation, p88-101, with Emission Inventory of Air

Poluutants in East Asi, p102-113, 1999.1.27-29, Niigata-city

1998 年

- 333) 外岡 豊：COP3 一周年・京都シンポジウム—主旨説明，日本建築学会・地球環境シンポジウム第 3 部，1998.12.04，京都市
- 334) 外岡 豊：建設，生活，都市の LCA，大阪科学技術センター，地球環境技術推進委員会・製品アセスメント調査部会，建設・施設等の環境保全調達に関する基礎調査，第 10 回 WG，1998.11.13，大阪市
- 335) 外岡 豊：HLCE を用いた地域的な温暖化防止対策評価，環境科学シンポジウム 1998，Ⅱ 地球温暖化防止京都会議以降の地域環境計画の展開方向，年会講演要旨集 S2-05，p96，1998.9.30，つくば，環境科学会誌 Vol.12No.1，pp74-75，要旨所収
- 336) Tonooka, Y.:Emission Inventory Methodology of Air Pollutants and Greenhouse Gases in Japan, US-EPA Emission Characterization and prevention Branch, 1998.10.26, Research Triangle Park, NC, USA
- 337) 外岡 豊：温室効果ガス・大気汚染物質の生産量当排出係数，大気環境学会 39 講演要旨集，1 E 1045，p252，北海道大学，1998.9.24-26，札幌市
- 338) 外岡 豊：環境政策の現状と地域環境設計について，下川産業クラスター研究会，下川町林業総合センター，招待講演，1998.9.19，下川町，北海道（ゼミ旅行）
- 339) 外岡 豊：LCA の基礎と応用，日本機械学会関東支部ブロック合同講演会，エネルギー・環境セミナー，埼玉大学，1998.9.17，浦和市
- 340) 伊香賀 俊治，外岡 豊，石福 昭：建物の LCA データベースに関する研究：その 1. 1990 年産業連関表を利用したエネルギー・CO₂・SO_x・NO_x 原単位，日本建築学会（九州），学術講演梗概集，D-1，40414，p857-858，九州産業大学，1998.9.11-13，福岡市
- 341) 外岡 豊：HLCE-Human Life Cycle Emission とその削減，日本建築学会（九州），学術講演梗概集，D-1，40419，p867-868，九州産業大学，1998.9.11-13，福岡市
- 342) 片岡真人，小峯裕己，外岡 豊，山内 毅，柴田 理：ヒューマンライフサイクルエネルギー評価に関する研究：その 4 都心居住と郊外居住における通勤 HLCE に関する一考察，日本建築学会（九州），学術講演梗概集，D-1，40420，p869-870，九州産業大学，1998.9.11-13，福岡市
- 343) 小峯裕己，片岡真人，外岡 豊，山内 毅，柴田 理：ヒューマンライフサイクルエネルギー評価に関する研究：その 5 都心居住と郊外居住における流通 HLCE・エネルギー供給インフラ HLCE の比較，日本建築学会（九州），学術講演梗概集，D-1，40421，p871-872，九州産業大学，1998.9.11-13，福岡市
- 344) 外岡 豊：建設和生活的生命周期的評価，'98 中日上海環境対策和技术保護交流论文集 p200-2007，上海交通大学，1998.9.11-12，上海市，中国
- 345) 外岡 豊：生活，建設，都市の LCA，'98 持続可能な発展戦略国際シンポジウム，第 2 回，p66-78，1998.9，大連理工大学，中国

- 346) 古川深雪, 外岡 豊: ダイオキシン対策の動向, '98 持続可能な発展戦略国際シンポジウム, 第 2 回, 大連理工大学, 1998.9, 大連市, 中国
- 347) 穆 海林, 謝 洪俊, 外岡 豊, 周 瑋生: 中国能源消費与 CO₂ 排放の灰予測模型, '98 持続可能な発展戦略国際シンポジウム, 第 2 回, 大連理工大学, 1998.9, 大連市, 中国
- 348) 外岡 豊: 地球環境から 21 世紀を展望する, 日本製紙旭川工場 ISO14000 キックオフ大会, 1998.6, 旭川市
- 349) 外岡 豊: 日本の地球温暖化政策・私論, エネルギー・システム・経済・環境コンファレンス 14 講演論文集, p317-322, 1998.1, 東京都

1997 年

- 350) 外岡 豊: 21 世紀・日本の CO₂ 対策, Think Global Act Local (地球から地域へ) 大気環境学会地球温暖化分科会第 6 回シンポジウム (COP3 京都会議・一般市民集会), 依頼講演, 1997.12, 京都
- 351) Tonooka, Y.: GHGs Emission reduction in Architecture Sector, Towards the Architecture and Urbanism for Sustainable Society, AIJ NGO Symposium, UNFCCC-COP3 Kyoto, Part-2 Action of Architects and Construction Engineers, 1997.12.4 Kyoto
- 352) 外岡 豊: 建築関連分野の削減可能性評価, 持続可能社会の建築・都市に向けて, 日本建築学会 COP3 京都会議 NPO シンポジウム, ハートピア京都, 企画講演, 1997.12.4, 京都市
- 353) 外岡 豊: 地球温暖化防止のためのアジア地域での戦略研究のあり方, 地球環境変化の人間社会への効果とその構造変革に関するセミナー, 第 5 回, 講演記録集 (1998.1), p110-133, 大阪大学千里, 1997.11, 大阪市
- 354) 外岡 豊: 地球温暖化対策技術の展望—COP3 の検討課題を考える—民生部門の CO₂ 対策と日本の対策の効果分析, 地球温暖化分科会特別研究会, 大気環境学会 38 講演要旨集, 筑波大学, 1997.9.23-25, つくば市
- 355) 東野晴行, 外岡 豊, 池田有光: 東アジア地域を対象とした大気汚染物質排出量推計—その 2 CO 排出量の推計—, 大気環境学会 38 講演要旨集, P201, p591, 筑波大学, 1997.9.23-25, つくば市
- 356) 外岡 豊, 東野晴行, 村野 健太郎, 大原利真: 東アジア地域を対象とした大気汚染物質排出量推計—その 3 NMVOC 排出量の推計—, 大気環境学会 38 講演要旨集, P202, p592, 筑波大学, 1997.9.23-25, つくば
- 357) 外岡 豊: 環境管理計画, 地球環境問題と学会の取り組み—行動計画, 日本建築学会 (関東) 大会, 地球環境委員会研究協議会, 日本大学船橋, 1997.9.13-15, 船橋市
- 358) 柴田 理, 山内 毅, 外岡 豊, 三村 麻紀子, 伊藤一哉, ヒューマンライフサイクルエネルギー評価に関する研究: 都心居住の省エネ効果: その 1 概念とインフラ分野の省エネ効果, 日本建築学会 (関東), 学術講演梗概集, D-1, 40468, p967-968, 日本大学, 1997.9.13-15, 船橋市
- 359) 山内 毅, 外岡 豊, 小峯裕己, 柴田 理, 三村 麻紀子, 伊藤一哉: ヒューマンライフサイクルエネルギー評価に関する研究: 都心居住の省エネ効果: その 2 交通分野における居住地域別消費エネルギーの比較, 日本建築学会 (関東), 学術講演梗概集, D-1, 40469, p969-970, 日本大学船

橋, 1997.9.13-15, 船橋市

- 360) 外岡 豊, 柴田 理, 山内 毅, 三村 麻紀子, 伊藤一哉, 小峯裕己: ヒューマンライフサイクルエネルギー評価に関する研究: 都心居住の省エネ効果: その 3 人間生活と建設の誘発エネルギーと CO₂ 排出, 日本建築学会 (関東), 学術講演梗概集, D-1, 40470, p971-972, 日大船橋, 1997.9.13-15, 船橋市
- 361) 外岡 豊, 本藤祐樹, 内山洋司: LCA への基礎解析: 産業連関表による SO_x, NO_x 誘発排出, エネルギー・資源学会研究発表会 16 講演論文集, p169-174, 1997.6
- 362) Tonooka, Y.: How Can We Reduce CO₂ Emission in Japan? – A Critical Review on Future Emission Options and 50% Cut Scenario, Internatlnal Energy Workshop and the Energy Modeling Forum, IIASA, 1997.6, Luxemburg, Austria
- 363) 外岡 豊: 温室効果ガス排出係数推定上の諸問題, 大気環境学会地球温暖化部会特別講演会, 東京都環境科学研究所, 依頼講演, 1997.3, 東京都
- 364) 外岡 豊: 都市のエネルギー消費実態推計手法について, 都市を対象とした小地域エネルギー需給システムの計画と評価研究, (科研費研究・代表辻毅一郎大阪大学教授), 依頼講演, 1997.1.30, 東京都
- 365) 外岡 豊: 日本の住宅における温室効果ガス排出実態解析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 13, 講演論文集, p 25-30, 1997.1, 東京都

1996 年

- 366) 外岡 豊: 交通分野の温室効果ガス排出量推計手法, 日本交通工学研究会 (鹿島茂), 1996.12.2, 東京都
- 367) 外岡 豊: 21 世紀の環境と生活, 第 19 回東北環境設備研究会—地球環境時代に向けての地域計画「CO₂ 排出と建築・都市」, 仙台市戦災復興記念館, 1996.12.11, 仙台市
- 368) 外岡 豊: 日本と中国のエネルギー消費と大気汚染, 地球温暖化防止, 21 世紀持続可能発展戦略—経済・エネルギー・環境の調和ある発展—'96 大連国際シンポジウム, 大連理工大学, 1996.9.19-21, 大連市, 中国
- 369) 東野晴行, 外岡 豊, 柳澤幸雄, 池田有光: 大気汚染物質, 温室効果ガス排出量推計の国際比較—その 1 排出係数の比較, 大気環境学会 37 講演要旨集, G119, p335, 大阪府立大学, 1996.9.24-26, 堺市
- 370) 外岡 豊, 東野晴行, 柳澤幸雄, 池田有光: 大気汚染物質, 温室効果ガス排出量推計の国際比較—その 2 推計手法の検討, 大気環境学会 37 講演要旨集, G120, p336, 大阪府立大学, 1996.9.24-26, 堺市
- 371) 伊香賀 俊治, 石福 昭, 外岡 豊: 建物のライフサイクル CO₂ 分析用 CO₂ 原単位に関する研究, その 2 建築設備機器種別毎の CO₂ 原単位, 空気調和衛生工学会学術講演会, E-33, p825-828, 1996.8, 名古屋市
- 372) 伊香賀 俊治, 外岡 豊, 石福 昭: 建物ライフサイクル CO₂ 分析用 CO₂ 原単位に関する研究: その 3. 建築設備機器の製造に伴う CO₂ 排出と資源消費量の構成, 日本建築学会 (近畿), 学術講演梗

- 概集, D-1, 40302, p603-604, 滋賀県立大学, 1996.9.4-16, 彦根市
- 373) 外岡 豊: 環境とエネルギーを重視した高密度都市モデル: その5 理想都市構想具体化への断章, 日本建築学会(近畿), 学術講演梗概集, D-1, 40434, p867-868, 滋賀県立大学, 1996.9.4-16, 彦根市
- 374) 野村 昇, 赤井 誠, 外岡 豊: 火力発電システムのライフサイクルにおける大気汚染物質排出量の評価, エネルギー・資源学会研究発表会 15 講演論文集, p109-114, 1996.6
- 375) 外岡 豊: 21 世紀の都市とエネルギー, 地球環境対策の実践へ向けて, 空気調和衛生工学会近畿支部地区講演会, 依頼講演 1996.2.14, 大阪市
- 376) Higashino, Haruyuki, Yutaka Tonooka, Yukio Yanagisawa, Yukoh Ikeda: Emission Inventory of SO₂ and NO_x in East Asia with GridData System, International Workshop on the Harmonization of Monitoring Protocol of Acid Deposition and the Methodology of Emission Inventories of SO₂ and NO_x in East Asia, 4th, NIES, 1996.2.13-15, Tsukuba-city, reported in Proc. of the International Workshop on Unification on Monitoring Protocol of Acid Deposition and Standardization of Emission Inventory, p124-133, Kentaro Murano, ed. 1997.3
- 377) 外岡 豊: 日本における業務用エネルギー消費と事業所排出実態の解析, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 12 講演論文集, p153-158, 1996.2, 東京都
- 378) 林 耕士, 名古屋 俊士, 外岡 豊: 東アジア地域におけるCO₂排出構造の国際比較: 排出削減可能性の視点から, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 12 講演論文集, p351-356, 1996.2, 東京都
- 379) 外岡 豊: 都市における温室効果ガスの排出構造, 第 11 回環境工学連合講演会, 依頼講演, 予稿集資料 7 p, 1996.1.24, 東京都

1995 年

- 380) 外岡 豊: LCA への基礎検討—産業連関表による誘発環境負荷量分析, 大阪大学先端科学技術共同研究センターセミナー平成 7 年度第 1 回, 客員教授として講演, 1995.12, 大阪市
- 381) 東野晴行, 池田有光, 外岡 豊, 柳沢幸雄: 東アジアにおける大気汚染物質の排出構造解析—中国を中心とした検討, 機械学会大会, 1995
- 382) 外岡 豊: 事業所の大気汚染物質, 温室効果ガス排出と熱消費, 大気環境学会 36 講演要旨集, H103, p334, 東京女子医大, 1995.11.3-5, 東京都
- 383) 東野晴行, 外岡 豊, 柳沢幸雄, 池田有光: 東アジア地域を対象とした大気汚染物質の排出量推計—中国における人為起源排出量推計, 大気環境学会 36 講演要旨集, C207, p454, 東京女子医大, 1995.11.3-5, 東京都
- 384) 外岡 豊, 前川哲也: マクロ的に見た都市のエネルギー消費, 都市エネルギーに関する実態把握とモデル化, 環境工学委員会都市エネルギー小委員会シンポジウム予稿集, 日本建築学会, p31-34, 1995.10, 東京都
- 385) 伊香賀 俊治, 外岡 豊, 石福 昭: 建物のライフサイクル CO₂ 分析用 CO₂ 原単位に関する研究, 産業連関分析による消費支出と資本形成成分 CO₂ 原単位, 空気調和衛生工学会学術講演会, p1329-

1332, 1995.9, 広島

- 386) 外岡 豊, 船渡川 純, 馬場 剛: 40311 環境とエネルギーを重視した高密度都市モデル: その 2 基本的構想, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-1, 40311, p621-622, 北海道大学, 1995.8.17-19, 札幌市
- 387) 船渡川 純, 外岡 豊, 馬場 剛: 環境とエネルギーを重視した高密度都市モデル: その 3 高密度都市の構造, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-1, 40312, p623-624, 北海道大学, 1995.8.17-19, 札幌市
- 388) 馬場 剛, 外岡 豊, 船渡川 純: 環境とエネルギーを重視した高密度都市モデル: その 4 シュミレーション・モデル, 日本建築学会, 学術講演梗概集, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-1, 40313, p625-626, 北海道大学, 1995.8.17-19, 札幌市
- 389) 伊香賀 俊治, 外岡 豊, 石福 昭: 建物のライフサイクル CO₂ 分析用 CO₂ 原単位に関する研究: その 1. 産業連関分析による消費支出と資本形成分 CO₂ 原単位, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-1, 40441, p881-882, 北海道大学, 1995.8.17-19, 札幌市
- 390) 小澤 まゆみ, 伊香賀 俊治, 外岡 豊, 石福 昭: 建物のライフサイクル CO₂ 分析用 CO₂ 原単位に関する研究: その 2. 産業連関分析による生産・流通過程の CO₂ 原単位, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, D-1, 40442, p883-884, 北海道大学, 1995.8.17-19, 札幌市
- 391) 外岡 豊: 省資源・省エネルギー都市のあり方について, 都市整備課題研究会, 神奈川県都市部都市政策課, 依頼講演, 1995.4.13, 横浜市
- 392) Tonooka Y.: Emissions Inventory of Greenhouse Gases and Air Pollutants in Japan, The 2nd International Workshop on Environmental Technology Research Network in Asia-Pacific Region Proceedings, 1995.2.02-03, Tsukuba-city
- 393) Tonooka Y.: Emissions Inventory in Japan—Air Pollutants and GHGs, International Workshop on the Harmonization of Monitoring Protocol of Acid Deposition and the Methodology of Emission Inventories of SO₂ and NO_x in East Asia, 3rd, 1995.1.31-2.02, Tsukuba-city
- 394) 外岡 豊: 日本における CO₂ 排出量推計手法, エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス 11 講演論文集, p243-248, 1995.1, 東京都

1994 年

- 395) 船渡川 純, 外岡 豊: 環境とエネルギーを重視した高密度都市モデル, 日本建築学会 (中部), 学術講演梗概集, D, 4651, p1301-1302, 名城大学, 1994.9.08-11, 名古屋市
- 396) 河中 俊, 渡辺一成, 小倉正雄, 市川 徹, 外岡 豊: 首都圏における省エネルギー対策推進地区の抽出 (その 1): 住宅用途と業務用途の隣接に着目したコージェネレーション適地の抽出, 日本建築学会 (中部), 学術講演梗概集, F, 7233, p465-466, 名城大学, 1994.9.08-11, 名古屋市
- 397) 渡辺一成, 河中 俊, 小倉正雄, 市川 徹, 外岡 豊: 首都圏における省エネルギー対策推進地区の抽出 (その 2): 清掃工場周辺の用途別土地利用に着目した熱需要量の推計, 日本建築学会 (中部), 学術講演梗概集, F, 7234, p467-468, 名城大学, 1994.9.08-11, 名古屋市

- 398) Tonooka Y.:GHGs and Air Pollutant Emissions Inventory in Japan, The 5th GEIA Workshop on Global Emission Inventories, 1994.9.02-4, Fujiyoshida-city
- 399) 外岡 豊：素材消費が誘発するCO₂排出とその対策—建設部門を中心に、エネルギーを考慮した新設計法研究会, 1994.8.17
- 400) 外岡 豊：地球環境問題と素材利用, (日本ファインセラミクス協会主催), RITE 地球環境産業技術研究機構, 1994.7.12, 木津町
- 401) Tonooka Y.:GHG Emission Options in Japan, International Energy Workshop (IEW), East-West Center, 1994.6.21-22, Honolulu, Hawai
- 402) 外岡 豊：地球環境システム解析のためのコンピュータ利用, 地球環境改善のためのコンピュータ利用講演会 (触媒学会コンピュータの利用研究会主催), RITE 地球環境産業技術研究機構, 1994.2.4, 木津町, 京都府
- 403) 外岡 豊：日本における温室効果ガス排出削減の可能性, エネルギーシステム・経済コンファレンス 10 講演論文集, 1994.1, 東京都
- 404) 外岡 豊：日本における温室効果ガス排出削減の可能性, エネルギーシステム・経済コンファレンス 10 講演論文集, 1994.1, 東京都
- 405) 松川 勇, 外岡 豊, 栢田考一：家庭におけるエアコンの利用実態, エネルギーシステム・経済コンファレンス 10 講演論文集, 1994.1, 東京都
- 406) 外岡 豊, 柳沢幸雄, 稲葉 敦：GRC による人間活動の環境基礎負荷量の評価, エネルギーシステム・経済コンファレンス 10 講演論文集, 1994.1, 東京都
- 407) Tonooka Y.:Emission Inventories in Japan and East Asia, The 2nd International Workshop on the Harmonization of the Monitoring Techniques of Acid Deposition and the Methodology of Emission Inventories of SO₂ and NO_x in East Asia, NIES, 1994.1.25-27, Tukuba-city
- 408) 外岡 豊：地球温暖化問題への基礎的検討 その 3 日本における温室効果ガス発生源調査手法の検討, 大気汚染学会 34 講演要旨集, 1993.9, 千葉
- 409) 長野克則, 中村真人, 落藤 澄, 永坂茂之, 渡辺英紀, 外岡 豊, C-44 札幌における家庭用エネルギー消費量の実態調査：第 1 報 調査概要と調査結果, 空気調和衛生工学会学術講演会論文集, C-44, p261-264, 1993.10.20-22,
- 410) 外岡 豊：大気汚染物質及び温室効果ガスの排出量推計と統計解析, 日本統計学会第 61 回大会, 1993.7.21-23, 金沢市
- 411) Tonooka Y.:Global Warming—Experience in Japan, CCRE/MIT, 1993.3.17, Cambridge, USA
- 412) 佐賀井 重男, 椎名孝之, 藤井美文, 外岡 豊：コージェネレーション・システムの地理的配置による省エネルギー可能性の評価, エネルギーシステム・経済コンファレンス 9 講演論文集, 1993.2, 東京都

1992 年

- 413) 外岡 豊：諸外国における地球温暖化対策—我国との国際比較, 発生源対策分科会, 大気汚染学会

- 32, 大阪国際交流センター, 1992.11.30-12.02, 大阪市
- 414) 大原利真, 神成陽容, 外岡 豊, 秋元 肇, 酒巻史郎, 若松伸司, 植田洋匡, 須山芳明: グリッド型モデルによる光化学大気汚染の数値シミュレーション, 大気汚染学会 32 講演要旨集, 7205, p434, 大阪国際交流センター, 1992.11.30-12.02, 大阪市
- 415) Tonooka Y.: Air pollutants and GHGs Emission Inventory in Japan and China, Luncheon Seminar, Atmospheric Sciences Group, Department of Earth and Planetary Sciences, Harvard University, 1992.9.09, Cambridge, USA
- 416) 加藤弘之, 村上公哉, 市川 徹, 外岡 豊, 尾島俊雄: 東京の環境容量を考慮したコージェネレーション導入に関する研究, 日本建築学会 (北陸), 学術講演梗概集, D, 4554, p1107-1108, 新潟大学, 1992.8.27-29, 新潟市
- 417) Tonooka, Y.: Air Pollutants Emissions Inventory in Japan, GEIA, Global Emissions Inventory Activity, NILU, 1992.6.22-24, Lillestrom, Norway
- 418) Tonooka Y.: Emission Inventories in Japan and East Asia, ITIT International Symposium on Emission Inventory and Prevention Technology for the Atmospheric Environment, 1992.3.24-25, Tukuba (印刷された論文集に掲載なし, 口頭発表のみ)
- 419) Tonooka Y.: Structure of Greenhouse Gas Emissions in Japan, Estimation of Greenhouse Gas Emissions and Sinks, OECD Experts Meeting, 1992.2.18-21, Paris
- 420) 外岡 豊: 業務部門における温室効果ガス排出抑制の可能性, エネルギーシステム・経済コンファレンス 8 講演論文集, 1992.2, 東京都
- 421) 藤井美文, 石川雅紀, 外岡 豊: 産業部門における省エネルギー省電力の実現可能性評価, エネルギーシステム・経済コンファレンス 8 講演論文集, 1992.2, 東京都
- 422) 石川雅紀, 藤井美文, 外岡 豊: 鉄鋼業の CO₂ 削減ポテンシャル, エネルギーシステム・経済コンファレンス 8 講演論文集, 1992.2, 東京都
- 423) 外岡 豊: 日本における温室効果ガス排出量の推計方法, 資源環境技術総合研究所, 1992.1.30, 筑波 (流動研究員として講演)

1991 年

- 424) 外岡 豊, 木村 富士男: エコシティと環境設計, エコシティーシンポジウム, 建築と地球環境特別研究委員会, 日本建築学会, 1991.12.11, 東京都
- 425) 外岡 豊: 地球温暖化問題への基礎的検討 その 2 事業所からの温室効果ガスの排出と削減可能性, 大気汚染学会 32 講演要旨集, 8209, p479, 北九州国際会議場, 1991.10.30-11.01, 北九州市
- 426) 外岡 豊: 日本の大気汚染物質排出構造—汚染防止の根本対策に向けて—, 第 4 回環境と経済研究会, 連合総合生活開発研究所, 電力労働会館, 1991.9.20, 東京都
- 427) 外岡 豊: 大気汚染物質排出構造に関する研究: その 12 事業所, 住宅のエネルギー消費と温室効果ガス排出, 日本建築学会大会 (東北), 学術講演梗概集, D, 4479, p957-958, 東北学院大学, 1991.9.12-14, 仙台市

- 428) 外岡 豊：日本における大気汚染物質排出構造，OB 談話，早稲田大学尾島研究室セミナー第 1 回，追分セミナーハウス，1991.7.13，軽井沢町
- 429) 外岡 豊：大気汚染物質排出構造と汚染防止，産業創造研究所「大気汚染防止の新技术」調査研究会 報告書（平成元年度・2 年度），p543-576，霞山会館 1991.5. 23，東京都
- 430) Tonooka, Y.: Structure of Greenhouse Gas Emissions in Japan, Estimation of Greenhouse Gas Emissions and Sinks, OECD Experts Meeting, OECD, Invited, 1991.2.18-21, Paris
- 431) 外岡 豊：大気汚染物質の排出構造と排出抑制の方向性について，環境問題連絡研究会 1991.2.04，東京都
- 432) 外岡 豊，永田勝也，塩原元哲，植木哲生：日本における温室効果ガスの排出削減モデル分析，エネルギーシステム・経済コンファレンス 7 講演論文集，1991.1.23-25，東京都
- 433) 松川 勇，藤井美文，真殿誠志，外岡 豊：わが国製造業の燃料選択に価格・非価格要因が及ぼした影響の分析，エネルギーシステム・経済コンファレンス 7 講演論文集，1991.1.23-25，東京都

1990 年

- 434) 外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 12 実用 NO_x 排出係数表の作成方法，大気汚染学会 31 講演要旨集，9308，p508，金沢市観光会館，1990.10.31-11.02，金沢市
- 435) 外岡 豊：地球温暖化問題への基礎的検討 その 1 燃焼発生源からの温室効果ガスの排出量推計，大気汚染学会 31 講演要旨集，6105，p351，金沢市観光会館，1990.10.31-11.02，金沢市
- 436) 太田一也，藤田慎一，外岡 豊：日本における火山起源 SO₂ 放出量の検討，大気汚染学会 31 講演要旨集，7327，p442，金沢市観光会館，1990.10.31-11.02，金沢市
- 437) 外岡 豊：理想都市論—地球環境とエネルギーの視点から—多面体としての環境問題とその解決策について，都市問題会議例会，プレスセンター，1990.10.27，東京都
- 438) 外岡 豊：大気汚染物質排出構造に関する研究：その 11 歴史的排出構造変化の国際比較—産業社会の発展と関係付け，日本建築学会（中国），學術講演梗概集，D，4655，p1309-1310，広島工業大学，1990.10.05-07，広島市
- 439) 外岡 豊：排出係数とその応用—排出構造解析と対策効果検討，大気汚染学会関東支部，発生源・防止技術部会，第 17 回，招待講演，公衆衛生院，1990.2.16，東京都

1989 年

- 440) 外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 11 排出構造解析の方法と CO₂ 問題への応用可能性，大気汚染学会 30 講演要旨集，7308，p380，川崎市産業文化会館他，1989.11.09-11，川崎市
- 441) 外岡 豊：大気汚染物質排出構造に関する研究：その 10 多面体問題としての環境問題とその解決策について，日本建築学会（九州），學術講演梗概集，D，4557，p1113-1114，熊本大学，1989.10.08-10，熊本市
- 442) 横溝成人，三浦秀一，外岡 豊，高橋信之，崔 榮秀，尾島俊雄：東アジアの工業化に伴う大気汚染排出の広域的影響，日本建築学会（九州），學術講演梗概集，D，4687，p1373-1374，熊本大学，

1989.10.08-10, 熊本市

- 443) Tonooka.Y, F.Watanabe, T.Ojima: Artificial Thermal Emission in Tokyo Metropolitan Area & Its Reducing by Green Nechlace Plan, IFHP/CIB/WMO International Conference on Urban Climate, Planning & Building, 1989, Kyoto-city
- 444) 藤田慎一, 市川陽一, 外岡 豊: 東アジア地域からの二酸化硫黄の発生量の推計, 日本気象学会 1989 年秋大会, 1989
- 445) 外岡 豊, 藤田慎一, 市川陽一: 東アジア地域からの二酸化硫黄の発生量の推計, 環境科学会 1989 年会, 1989
- 446) 外岡 豊, 藤井美文: エネルギー技術消費構造と燃料選択の要因分析その 2, エネルギーシステム・経済コンファレンス 6 講演論文集, 1989.1, 東京都
- 447) 藤井美文, 松川 勇, 永田 豊, 外岡 豊: 部門別購入価格にもとづくわが国製造業のエネルギー間競合分析, エネルギーシステム・経済コンファレンス 6 講演論文集, 1989.1, 東京都

1988 年

- 448) 外岡 豊: 発生源データの基礎解析 その10 加重平均法によるばいじん排出係数について, 大気汚染学会 29 講演要旨集, 1988, 仙台
- 449) 外岡 豊: エネルギー技術消費構造と燃料選択の要因分析, エネルギーシステム・経済コンファレンス 5 講演論文集, 1988

1987 年

- 450) Tonooka.Y: Recent Trend of NO_x and NMHC Emission, Technical Meeting on Photochemical Air Pollution Modeling and It's Applications, NIES, 1987.11.11, Tsukuba-city
- 451) 外岡 豊: 発生源データの基礎解析 その 9 数量化理論による NO_x 排出係数について, 大気汚染学会 28 講演要旨集, 1987, 東京都
- 452) 外岡 豊: 大気汚染排出構造に関する研究: その 9 環境の計画情報についての理論的整理, 日本建築学会 (近畿), 学術講演梗概集, 4254, p507-508, 神戸大学, 1987.10.08-11, 神戸市

1986 年

- 453) 外岡 豊: 発生源データの基礎解析 その 8 炉種別排出係数について, 大気汚染学会 27 講演要旨集, 1986, 京都市
- 454) 外岡 豊, 三浦 秀一: 東アジアの SO_x 排出, 大気汚染学会 27 講演要旨集, 1986, 京都市
- 455) 外岡 豊: 大気汚染排出構造に関する研究: その 8 事業所・住宅の熱消費と NO_x, SO_x 排出量, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, 4532, p1063-1064, 北海道大学, 1986.8.22-24, 札幌市
- 456) 尾島俊雄, 高橋信之, 外岡 豊, 三浦秀一, 須藤哲夫: 中国の環境容量: 大気からのアプローチ, 日本建築学会 (北海道), 学術講演梗概集, 4531, p1061-1062, 北海道大学, 1986.8.22-24, 札幌市
- 457) 外岡 豊: 大気汚染物質排出構造に関する研究 首都圏地域における排出量予測シミュレーション

の事後分析，建築環境工学学術研究発表会資料，建築会館，No.2，1986.6.03，東京都

1985 年

- 458) 外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 7 排出係数の応用手法，大気汚染学会大会 26 講演要旨集 529，国立教育会館他，1985.11.12-14，東京都
- 459) 外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 7 エネルギー需給と発生源施設燃原料使用の関係について，日本建築学会，学術講演梗概集，D，4296，p591-592，愛知工業大学，1985.10.04-06，豊田市
- 460) 外岡 豊：大気汚染物質排出構造に関する研究 地域別排出特性について，建築環境工学学術研究発表会資料，No.1，建築会館，1985.6.07，東京都
- 461) 外岡 豊，大塚幸雄：発生源データの基礎解析 その 6 ばいじんの排出要因分析，大気汚染学会大会 25 講演要旨集，1984，宇部市
- 462) 外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 6 地域別排出特性について，環境工学，日本建築学会（関東），学術講演梗概集，計画系 59，p619-620，横浜国立大学，1984.10.14-16，横浜市

1983 年

- 463) 永田勝也，神成陽容，外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 5 数量化理論による排出要因分析，大気汚染学会 24 講演要旨集，1983，四日市

1982 年

- 464) 外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 4 燃原料の取扱いについて，大気汚染学会 23 講演要旨集，1982，宮崎市
- 465) 尾島俊雄，外岡 豊，石岡英明：都市別に見た商業建築のエネルギー消費実態，日本建築学会（東北），学術講演梗概集，計画系 57，p435-436，東北大学，1982.10.01-03，仙台市
- 466) 尾島俊雄，外岡 豊，菊池 透：都道府県別・建物用途別 民生用エネルギー消費の実態研究，日本建築学会（東北），学術講演梗概集，計画系 57，p433-434，東北大学，1982.10.01-03，仙台市

1981 年

- 467) 外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 3 発生源の区分について，大気汚染学会 22 講演要旨集，1981，秋田市

1980 年

- 468) 外岡 豊：発生源データの基礎解析 その 2 排ガス量と残存酸素濃度分布，大気汚染学会 21 講演要旨集，1980，浦和市
- 469) 外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 5・矛盾解決の視点による汚染の全体過程と対策の検討，日本建築学会秋季大会（近畿），学術講演梗概集，55（環境工学），p451-452，近畿大学，

1980.9.21-23, 東大阪市

1979 年

- 470) 外岡 豊：關於大気汚染物質排出構造的研究，環境工学研究者訪中団研究交流会，浙江大学，1979.12.26，杭州市，中国
- 471) 外岡 豊：発生源データの基礎解析，大気汚染学会 20 講演要旨集 415，p243，1979.11.06-8，神戸市
- 472) 外岡 豊：首都圏地域の NO_x 排出現況，大気汚染学会 20 講演要旨集，416，p244，1979.11.06-8，神戸市
- 473) 外岡 豊：NO_x 排出量予測モデル・シミュレーション—首都圏地域を例として，大気汚染学会 20 講演要旨集，417，p245，1979.11.06-8，神戸市
- 474) 尾島俊雄，外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 4 首都圏地域を例とした NO_x 排出量と熱消費量の将来予測シミュレーション，日本建築学会（関東），学術講演梗概集，p419-420，東海大学湘南校舎，1979.9.17-19，平塚市
- 475) 外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 2 首都圏地域を例とした NO_x 排出量と熱消費量の算定日本，建築学会関東支部，研究報告集．計画系（環境工学）(50)，1，p1-4，1979.7.24，東京都
- 476) 外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 3 首都圏地域における NO_x 排出と熱消費の実態分析，日本建築学会関東支部，研究報告集．計画系（環境工学）(50)，2，p5-8，1979.7.24，東京都

1978 年

- 477) 尾島俊雄，外岡 豊：大気汚染排出構造に関する研究：その 1 首都圏を例とした発生源別 NO_x 排出特性分析，日本建築学会（北海道），学術講演梗概集，p203-204，北海道工業大学，1978.9.29-10.01，札幌市

1977 年

- 478) 外岡 豊：施設園芸について，大竹財団（青山貞一紹介），1977.11.25，東京都
- 479) 外岡 豊：外化の概念による空気調和に関する考察：試論，空気調和衛生工学会・学術講演会論文集，B-2，p45-148，1977.10

1976 年

- 480) 尾島俊雄，外岡 豊：人工熱排出に関する基礎調査：その 12 施設園芸への廃熱利用について（続報）：環境工学，日本建築学会，学術講演梗概集，計画系，51，p487-488，名古屋工業大学，1976.10.16-18，名古屋市

1975 年

- 481) 尾島俊雄，外岡 豊：人工熱排出に関する基礎調査：その 8・施設園芸への廃熱利用について：日本建築学会秋季大会（関東），学術講演梗概集，計画系 50，4228，p455-456，東京工業大学，

1975.10.09-11, 東京都

- 482) 外岡 豊：29 都市設備の総合化に関する研究：廃熱の有効利用と負荷変動，日本建築学会関東支部，研究報告集計画系 46（環境工学），p113-116，1975.4，東京都

口頭発表 注)

- a) 国際会議で審査後の論文が Proceeding に掲載されているものは論文として掲載し，口頭発表ありと付記してある
- b) 日本建築学会の研究集会は研究協議会，PD パネルディスカッション，研究懇談会があるが，予稿集が印刷配布され，学会 web で後日公開されるのが通常であるので予稿集ありと特記しないが，予稿集がなかったものは，なしと特記した
- c) この一覧原稿作成時点で発表月日が特定できなかったものは発表日，あるいは発表月も記載されていない。発表日が新しいものから古いものの順に並べているが発表日を特定できなかったものは順番が多少不正確な場合があり得る。

報告書等

- 1) 明日香 寿川，外岡 豊，上園昌武，歌川 学，田村 賢太郎，槌屋治紀，増井利彦，他：2015 年パリ合意に向けての日本における温室効果ガス排出削減中長期目標試算の比較分析(1) 2011 年以降に示された試算結果の比較，国民に開かれた日本のエネルギー・ミックスおよび温暖化ガス排出削減数値目標に関する議論のための記者発表資料，2015.3.23
- 2) 明日香 寿川，外岡 豊，上園昌武，歌川 学，田村 賢太郎，槌屋治紀，増井利彦，他：2015 年パリ合意に向けての日本における温室効果ガス排出削減中長期目標試算の比較分析(2) 試算結果比較からのメッセージ，国民に開かれた日本のエネルギー・ミックスおよび温暖化ガス排出削減数値目標に関する議論のための記者発表資料，2015.3.23
- 3) 外岡 豊（分担執筆）：伝統的木造住宅の温熱環境と省エネルギー特別研究委員会報告書，日本建築学会 2015.3
- 4) 外岡 豊，槌屋治紀，増井利彦：2030 年の省エネ量の試算について，総合資源エネルギー調査会長期エネルギー需給見通し小委員会，3 回，資料 6，高村ゆかり委員提出資料，2016.2.27
- 5) 木俣信行，他：社会的共通資本形成戦略特別調査委員会報告書，日本建築学会，2015.1
- 6) NPO 法人気候ネットワーク（研究作業分担）：2030 年の省エネ・エネルギー効率向上の可能性分析と政策研究，三井物産環境基金，2014.3
- 7) NPO 法人気候ネットワーク（研究作業分担）：原発にも化石燃料にも頼らない日本の気候変動対策ビジョン[シナリオ編] 省エネルギーを最大限に活用した 2050 年の温暖化対策シナリオ，2014.3
- 8) KikoNetwork（研究作業分担）：Japan Climate Vision 2050: An energy future independent of nuclear power and fossil fuels [Scenario projections]，2014.3
- 9) 田中 優，外岡 豊，相根昭典，前田拓生，高口洋人，中島裕輔，福島和彦，山崎 真理子，佐々木康壽，他：戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）研究開発領域「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発プログラム「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発プロジェクト「快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を『森と街』の直接連携で実現する」研究開

発実施終了報告書，(研究開発期間，平成21年10月～平成25年9月)，公開資料，2013.11

- 10) 田中 優，外岡 豊，相根昭典，前田拓生，高口洋人，中島裕輔，福島和彦，山崎 真理子，佐々木康壽，他：快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を「森と街」の直接連携で実現する，研究開発プロジェクト，社会技術研究開発事業，平成24年度研究開発実施報告書，科学技術振興機構社会技術研究開発センター，2013.4
- 11) 田中 優，外岡 豊，相根昭典，前田拓生，高口洋人，中島裕輔，福島和彦，山崎 真理子，佐々木康壽，他：快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を「森と街」の直接連携で実現する，研究開発プロジェクト，社会技術研究開発事業，平成23年度研究開発実施報告書，科学技術振興機構社会技術研究開発センター，2012.4
- 12) 埼玉大学経済学部，埼玉大学理工学研究科，北九州市立大学国際環境工学部，東北大学東北アジア研究センター：中国における気候変動対策シナリオ分析と国際比較による政策立案研究（E-0809），環境省環境研究総合推進費終了研究成果報告書（外岡豊，研究代表者），環境省総合政策局総務課環境研究技術室，環境保健部環境安全課環境リスク評価室，地球環境局総務課研究調査室，2011.5
- 13) 外岡豊（研究代表者），坂本和彦，高偉 俊（研究分担者），他：中国における気候変動対策シナリオ分析と国際比較による政策立案研究，地球環境研究総合推進費報告書，持続可能な社会・政策研究，環境省地球環境局総務課研究調査室，2011.5
- 14) Tonooka, Y: A Study on Climate Change Policy Options Scenarios in China and International Comparison Summary Report of Research Results under the ERTDF（Environment Research and Technology Development Fund）Research and Information Office Global Environment Bureau Ministry of the Environment Government of Japan, 2011.5
- 15) 田中 優，外岡 豊，相根昭典，前田拓生，高口洋人，中島裕輔，福島和彦，山崎 真理子，佐々木康壽，他：快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を「森と街」の直接連携で実現する，研究開発プロジェクト，社会技術研究開発事業，平成22年度研究開発実施報告書，科学技術振興機構社会技術研究開発センター，2011.4
- 16) 外岡豊：産業連関表の応用手法—HLCE（ヒューマンライフサイクルエミッション）や越谷レイクニュータウン解析例など—，地域の産業連関から見た低炭素社会実現への課題 Report～産業連関の解析事例の議論と成果・問題点の共有へ～ JST・社会技術研究開発センター「地球に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究領域，東北公益文科大学，日本青年館，p12-15，2010.9.25，東京
- 17) 田中 優，外岡 豊，相根昭典，前田拓生，高口洋人，中島裕輔，福島和彦，山崎 真理子，佐々木康壽，他：快適な天然素材住宅の生活と脱温暖化を「森と街」の直接連携で実現する，研究開発プロジェクト，社会技術研究開発事業，平成21年度研究開発実施報告書，科学技術振興機構社会技術研究開発センター，p1-34，2010.4
- 18) 外岡 豊（研究代表者），坂本和彦，高 偉俊（研究分担者），他：中国における気候変動対策シナリオ分析と国際比較による政策立案研究，環境研究総合推進費 平成21年度研究成果—中間報

- 告集—持続可能な社会・政策研究，環境省地球環境局総務課研究調査室，2010.5
- 19) Yutaka Tonooka: A Study on Climate Change Policy Options Scenarios in China and International Comparison (Abstract of the Interim Report) Summary Report of Research Results under the ERTDF (Environment Research and Technology Development Fund) in FY2009 p860-867, Research and Information Office Global Environment Bureau Ministry of the Environment Government of Japan, 2010.5
- 20) 外岡 豊：中国農村住宅とバイオマスエネルギー有効利用に関する国際共同研究，住友財団環境研究助成，成果報告，2009.5.31
- 21) 外岡 豊（研究代表者），坂本和彦，高 偉俊（研究分担者），他：中国における気候変動対策シナリオ分析と国際比較による政策立案研究，環境研究総合推進費 平成 21 年度研究成果—中間報告集一，p569-635，持続可能な社会・政策研究，環境省地球環境局総務課研究調査室，2009.4
- 22) Tonooka, Y.: A Study on Climate Change Policy Options Scenarios in China and International Comparison (2008-2010) (Abstract of the Interim Report) Summary Report of Research Results under the GERP (Global Environment Research Fund) in FY2008, p607-612, Research and Information Office Global Environment Bureau Ministry of the Environment Government of Japan, 2009.4
- 23) 外岡 豊：中国住宅におけるエネルギー消費実態調査と気候変動防止対策の提案，総合研究機構研究プロジェクト研究成果報告書，第 6 号，平成 19 年度埼玉大学総合研究機構，p91-94，2008.3
- 24) 外岡 豊（研究代表），田中俊彦，内海康雄，T.Oreszczyn, R.Lowe, D.Hutchinson, P.Pearson, (共同研究者)：日本の建築省エネルギー気候変動対策技術の海外都市波及移転，研究成果報告書，2006 年度～2007 年度，鹿島学術振興財団，2008.3
- 25) 外岡 豊，深澤大樹，中口毅博，馬場 剛，藤野 毅，石田武志，金本 圭一郎，(藤沼 康実編)：わが国民生部門の CO₂ 排出削減シナリオ，家庭・業務部門の温暖化対策，ISSN1341-4356, CGER-1079-2008 p91-133, 国立環境研究所地球環境研究センター，2008.3
- 26) 内海康雄，藤沼康実，神村一幸，井上 隆，外岡 豊（藤沼 康実編）：熱負荷シミュレーションからみた業務対策について，家庭・業務部門の温暖化対策，藤沼康実他 ISSN1341-4356, CGER-1079-2008, p135-142, 国立環境研究所地球環境研究センター，2008.3
- 27) 井上 隆，神村一幸，内海康雄，外岡 豊，藤沼康実，吉田 友紀子，(藤沼康実編)：BEMS を用いた業務対策の実態と総合評価手法について，家庭・業務部門の温暖化対策，SSN1341-4356, CGER-1079-2008, p153-174 国立環境研究所地球環境研究センター，2008.3
- 28) 外岡 豊，石田武志，平野 勇二郎：自動コントロールシステムを含む省エネ建築物の地域レベルにおける評価，建築物における空調・照明等自動コントロールシステム技術開発・成果報告書，5 章，国立環境研究所，2007.3
- 29) 藤沼康実，吉田 由紀子，外岡 豊，神村一幸，石田武志：開発した技術システムの商業化・事業化への道筋（ロードマップ），建築物における空調・照明等自動コントロールシステム技術開発・成果報告書，6 章，国立環境研究所，2007.3

- 30) 外岡 豊：中国住宅におけるエネルギー消費実態調査と気候変動防止対策の提案，総合研究機構研究プロジェクト研究成果報告書，第 6 号，平成 19 年度埼玉大学総合研究機構，p91-94，2007.3
- 31) 外岡 豊，深沢大樹，中口博毅，馬場 剛，藤野 毅：日本の業務部門における CO₂ 排出削減シナリオ，家庭・業務部門の温暖化対策報告書，国立環境研究所編，p262-276，国立環境研究所地球環境センター，2007.2
- 32) 外岡 豊，田中恭子，東野晴行：エアロゾル成因物質排出量推計，東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト，科研費特定領域研究(A)，平成 13 ～ 17 年度研究成果報告書，p207-218.2006.3
- 33) Tonooka, Y., K.Tanaka, H.Higashino: Emission Inventory of Aerosols and Their Precursors, Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia Research Report, 2001-2005fy, edt.by Kasahara, M., 2006.3
- 34) 藤野 毅，外岡 豊，平野 勇二郎：自動コントロールシステムを含む省エネ建築物の地域レベルにおける評価，埼玉大学地域共同研究センター紀要（5），121-126，2004 年度，2005.10
- 35) 独立法人国立環境研究所，京都大学防災研究所，(財)日本環境衛生センター酸性雨研究センター，(財)計量計画研究所，(株)トーニチコンサルタント，埼玉大学，静岡大学：環境省地球環境研究総合推進費終了研究成果報告書，北半球における越境大気汚染の解明に関する国際共同研究（平成 14 年度～平成 16 年度），p31-59，環境省地球環境局研究調査室，2005.4
- 36) 村野健太郎，外岡 豊，神成陽容：北半球における越境大気汚染の解明に関する国際共同研究，次世代型ソース・リセプターマトリックスの精緻化と検証に関する研究，発生源インベントリーの開発，地球環境推進費成果報告書，2005.4
- 37) 外岡 豊（部分執筆）：設計科学としての建築・都市，14.4，これからのライフスタイル，日本学術会議建築研究連絡委員会報告書，p309-312，2005.4
- 38) 外岡 豊，藤野 毅，平野 勇二郎：自動コントロールシステムを含む省エネ建築物の地域レベルにおける評価，国立環境研究所，建築物における空調・照明等自動コントロールシステム技術開発・報告書，2004 年度，2005.3
- 39) 外岡 豊，田中恭子，東野晴行：エアロゾル成因物質の排出量推計，東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト平成 16 年度研究成果報告書，2005.3
- 40) Tonooka,Y., K.Tanaka, H.Higashino: Emission Inventory of Aerosols and Their Precursors, Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia Research Report, 2004, p93-96, edt.by Kasahara, M., 2005.3
- 41) 外岡 豊（部分執筆），渡辺俊行（代表）：中国の住宅におけるエネルギー消費と居住環境に関する研究報告書，日本建築学会中国の住宅におけるエネルギー消費と居住環境問題特別研究委員会，日本建築学会，2005.3
- 42) 外岡 豊（部分執筆）：鋼構造物の LCA ガイドブック，鋼構造物の環境負荷調査研究小委員会，日本鋼構造協会，全 136p，2005.2
- 43) Tonooka, Y. H. Higashino: Emission Inventory of Aerosols and Their Precursors, Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia research Report, GASRPA (A), No.416, MECSST

- 44) 藤野 毅, 外岡 豊, 平野 勇二郎: 自動コントロールシステムを含む省エネ建築物の地域レベルにおける評価, 埼玉大学地域共同研究センター紀要(5), 121-126, 2004 年度, 2005.10
- 45) 外岡豊: 既存市街地変革と環境理想都市構想, 都市建築の発展と制御に関する応募論文集, 日本建築学会学術推進委員会, 2004.5
- 46) 外岡 豊 (研究代表), 寧 亜東, 近藤康彦, 穆 海林, 周 璋生: 21 世紀東アジアにおける環境とエネルギー問題の同時解決モデル分析, 日産科学振興財団研究助成報告, 2001年 9 月～ 2004 年 9 月, 2004. 9
- 47) 日本建築学会地球環境委員会 (部分執筆): サステナブルシティ・リージョン, 2004 年度日本建築学会大会 (北海道) 地球環境部門パネルディスカッション資料, 8. 持続可能都市・地域の要素としての計量・低層建築の提案, p47-49, 10. ヒートアイランド対策をきっかけとした緑地整備, p52-57, 14. 自然との関係を再考した新設環境理想都市構想, p72-73, 口頭発表なし資料原稿提出, 2004.8
- 48) 外岡 豊, 田中恭子, 東野晴行: エアロゾル成因物質の排出量推計, 東アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト平成 15 年度研究成果報告書, p147-156, 2004.3
- 49) Tonooka, Y., K. Tanaka, H. Higashino: Emission Inventory of Aerosols and Their Precursors, Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia Research Report, 2003, p93-96, ed. by Kasahara, M., 2004.3
- 50) 坂本和彦, 外岡 豊: アジア太平洋地域の大気環境の改善, 文部科学省科学技術振興調整費「我が国の国際的リーダーシップの確保」(平成 13 ～ 15 年度) 成果報告書, 埼玉大学分担部分, 4.2, 発生量・沈着量の解析, p46-59, 2004.3
- 51) 外岡 豊, 坂本和彦, 穆 海林, 寧 亜東, 近藤康彦: 東アジアの大気汚染酸性雨問題とその解決策, プロジェクト研究成果報告書, 埼玉大学 21 世紀総合研究機構, 109, p17-20, 2004.3
- 52) 外岡 豊, 田中恭子, 東野 晴行: エアロゾル成因物質の排出量推計, アジアにおけるエアロゾルの大気環境インパクト, 平成 14 年度研究成果報告書, p149-158, 2004.3
- 53) Tonooka, Y., K. Tanaka, H. Higashino: Emission Inventory of Aerosols and Their Precursors, Atmospheric Environmental Impacts of Aerosols in East Asia Research Report, 2003, p93-96, ed. by Kasahara, M., 2004.3
- 54) 村野 健太郎, 外岡 豊, 植田洋匡, 大原利真, 神成陽容, 片山学: C. 酸性雨等越境大気汚染, C-1, 北半球における越境大気汚染の解明に関する国際共同研究(2) 次世代型ソース・リセプターマトリックスの精緻化と検証に関する研究, 環境省地球環境研究総合推進費, 平成 15 年度研究成果—中間成果報告集, Ⅲ, p18-28, 環境省地球環境局研究調査室, 2004.3
- 55) 村野 健太郎, 外岡 豊, 植田洋匡, 大原利真, 神成陽容: C. 酸性雨等越境大気汚染, C-1, 北半球における越境大気汚染の解明に関する国際共同研究(2) 次世代型ソース・リセプターマトリックスの精緻化と検証に関する研究, 環境省地球環境研究総合推進費, 平成 14 年度研究成果—中間成果報告集, Ⅲ, p16-25, 2003.3
- 56) Tonooka, Y., K. Sakamoto ed: Proc. of the Saitama University Symposium-Asian Energy and Environment, Saitama University Innovative Research Organization for the New Century,

2003.3

- 57) 外岡 豊 (部分執筆, 編集): リサイクルと循環型社会, 埼玉大学・埼玉県政策研究会報告書 (2000 ~ 2002 年度), 農業受難の時代の中で (第2章, 2-4), p56-61, 2003.3
- 58) 外岡 豊 (部分執筆): 平成13年度「住宅内のエネルギー消費に関する全国調査研究」報告書, 日本建築学会, 住宅内のエネルギー消費量予測(マクロ)モデル作成, および5.4住宅部門のエネルギー消費量・CO₂排出量原単位, p107-114, 2002.3
- 59) 村野 健太郎, 外岡 豊, 神成陽容: C-1, 北半球における越境大気汚染の解明に関する国際共同研究(2)次世代型ソース・リセプターマトリックスの精緻化と検証に関する研究, 環境庁国立環境研究所地球環境研究総合推進費終了研究報告書平成11年度~平成13年度, p67-85, 2002.3
- 60) 村野 健太郎, 外岡 豊, 畠山史郎, 神成陽容: 東アジア地域の大気汚染物質発生・沈着マトリックス作成と国際共同観測に関する研究(3)東アジア地域の大気汚染物質発生源インベントリーの精緻化に関する研究, 環境庁国立環境研究所地球環境研究総合推進費, 平成13年度報告書, 2002.3
- 61) 本藤裕樹, 森泉由恵, 外岡 豊: 1995年産業連関表を用いたエネルギーおよび温室効果ガス原単位の推計, 電力中央研究所報告 No.Y01009, 2002.1
- 62) 本藤裕樹, 外岡 豊, 森泉由恵: 産業連関表(1995年表)部門別直接メタン排出量の推計, 電力中央研究所調査資料 NO.Y01909, 2001.7
- 63) 外岡 豊, 村橋喜満: 高耐食薄型鋼をスケルトンとした外張断熱鉄鋼住宅 LCCO₂30%削減・耐用年数3倍延伸をめざす建築, 日本建築学会公開コンペ, 2001.6
- 64) 外岡 豊: 東アジア全体を対象とした総合的な大気汚染物質排出量制御方法の確立, 科学研究費補助金研究成果報告書, 平成9~12年度, 2001.3
- 65) 村野 健太郎, 外岡 豊, 畠山史郎, 神成陽容: 東アジア地域の大気汚染物質発生・沈着マトリックス作成と国際共同観測に関する研究(2)東アジア地域の大気汚染物質発生源インベントリーの精緻化に関する研究, 環境庁国立環境研究所地球環境研究総合推進費, 平成12年度中間報告書, 2001.3
- 66) 外岡 豊 (部分執筆): 平成12年度報告書, 循環型社会システムを巡って, 埼玉県・埼玉大学政策研究会 2001.3
- 67) 外岡 豊, 鈴木俊治, 三浦秀一, 中島 裕輔: 21世紀環境理想都市構想—東京都区部を例として, 世界ガス会議国際コンペ, 国内予選, 2000.5
- 68) 外岡 豊 (主査, 部分執筆, 編集): 対策評価小委員会報告 1999年度, 日本建築学会地球環境委員会, 2000.3
- 69) Tonooka, Y.: Air Pollutant Emission Inventory in Japan, Report on Modeling of Transboundary Air Pollution, Neutirus Institute, 2000.9
- 70) 外岡 豊: 20世紀工業文明と生産技術選択, 材料の環境配慮性能評価と地球の有限性 その2, 未踏調査会, 1999.9
- 71) 外岡 豊, 穆 海林, 周 璋生: 東アジアのエネルギーと環境保全に関する研究—灰色システムモデル理論による中国のエネルギー消費量とCO₂排出量の予測—, 埼玉大学地域共同研究センター報

- 告書, 第5号 (1998年度) p15-18, 1999.4
- 72) 本藤祐樹, 外岡 豊, 内山洋司: 産業連関表を用いた我が国の生産活動に伴う環境負荷の実態分析: 電力中央研究所報告, データ集付, Y97017, 1998.6
- 73) 日本建築学会地球環境委員会: LCA 指針策定小委員会建物のライフサイクルアセスメント指針の策定, 建築分野における地球環境対策, 研究成果—概要集, 2p, 日本建築学会地球環境委員会 COP 対応小委員会編, 1997.12
- 74) Subcommittee on Life Cycle Assessment Guidelines: Development of Guidelines for life Cycle Assessment of Buildings, Architecture and Urban Planning Measures to Mitigate Climate Change, From the Research Works by the Members of Architectural institute of Japan, For UNFCCC COP3 KYOTO, 2p, edt by Subcommittee for UNFCCC COP3, Committee for Global Environment, AIJ, 1997.12
- 75) 清水 浩: B-14, 地球温暖化防止対策技術の総合評価に関する研究 (代表石谷久, 1994~1996 年度), (1) 技術評価のためのライフサイクル温室効果ガス排出量の分析に関する研究①技術評価のためのライフサイクル CO₂ 排出量の分析に関する研究, p257-279, 環境省環境研究総合推進費終了研究成果報告書, 1997.3 (委託先として分担研究)
- 76) 外岡 豊, 伊香賀 俊治, 小倉正雄, 前川哲也, 飯尾昭彦: 第 V 章ライフサイクル CO₂ 第 3 章産業連関分析による CO₂ 原単位の検討, 地球環境保全のための都市・建築の計画手法に関する総合的研究, 日本建築学会地球環境特別研究委員会 p214-225, 1995.12
- 77) 外岡 豊, 木村 富士男: 第 VII 章エコシティー, 4. 大気, 地球環境と都市・建築に関する総合的研究, 平成 5 年度科研費 (総合研究(A)) 研究成果報告書 (代表・安岡正人), p260-274, 1994.3
- 78) 外岡 豊, 木村 富士男: IV エコシティー, 5. 大気, 建築が地球環境に与える影響, 日本建築学会地球環境特別研究委員会 p43, 1992.6
- 79) 外岡 豊, 木村 富士男: 4. 大気, 建築が地球環境に与える影響 IV エコシティー, 日本建築学会地球環境特別研究委員会 p228-242 (報告書本文は p197p-285), 1992.6
- 80) 外岡 豊: 巨大なる生産力と地球環境問題, 朝日新聞 21 世紀地球賞応募論文, 1991.8.31
- 81) 外岡 豊: 多面体問題としての環境問題とその解決策について, 都市問題会議例会 (1990.10.27) 資料加筆改訂版, 1991.1.05
- 82) 外岡 豊: 施設園芸について, 未公刊, 大竹財団講演 (1977.11.25) 内容総説 (修士論文後の思考まとめ), 最終版, 1978.2

雑誌記事

- 1) 外岡 豊, 地球環境委員会報告, COP21 パリ合意に向けて, 建築雑誌 Vol.130, No.1675, p57, 2015.09
- 2) 外岡 豊: 地球環境委員会活動報告一節目の年に, 建築年報 2014 第 1 部, 建築雑誌, 2014 Vol.129, No.1662, p57, 2014.09
- 3) 外岡 豊: 視点—省エネルギー・節電・排出削減に向けて, 建築設備, p1, 2012.4
- 4) 外岡 豊: 復興に向けて—建築学会への期待, 特集 検証: 東日本大震災と建築学会, 第四部: 環

境エネルギー論—建築雑誌, Vol.126, No.1623, p44-45, 2011.10

- 5) 外岡 豊: 脱温暖化・環境共生社会プロジェクトの取組み 建築雑誌, Vol.125, No.1606 P75, 2010
- 6) 外岡 豊: 2050 年住宅カーボンニュートラル達成は可能か—木造自然素材住宅を例とした PDCA 試行—建築雑誌, Vol.125, No.1606, P76, 2010
- 7) 外岡 豊: 新会員紹介, エネルギーと環境研究: 学際と国際をつなぐ, 都市環境エネルギー, 92, 2009 春号, p42-43, 2009.3
- 8) 外岡 豊: 埼玉大学に於ける廃棄物の現状と課題, 樺, No11, p6-7, 2003.6
- 9) 外岡 豊: 大学における環境教育—埼玉大学経済学部社会環境設計学科— 21 世紀の環境を担う人材の育成, 環境管理 32(11), 1357-1360, 1996.11

新聞記事, 雑誌コラム, 等

- 1) 外岡 豊: 持続可能社会に向けて, 経済コラム, 研究者の眼, 埼玉大学・エコノとーく, 143, 埼玉新聞, 2015.10.9
- 2) 外岡 豊: 持続可能と林業, 緑のエッセー, 林野 2014.11
- 3) —: 「持続可能とは」太陽エネで展望開ける, 外岡豊埼玉大学読売講座結果紹介, 読売新聞記事, 2014.10.17
- 4) —: 環境問題, 経済から考察「持続可能社会とは」来月 4 日外岡教授講演, 埼玉大学読売講座予告紹介記事, 読売新聞記事, 2014.9.27
- 5) 外岡 豊: リオ+20 に寄せて—環境と経済の危機打開へ, 経済コラム, 研究者の眼, 埼玉大学・エコノとーく, 68, 埼玉新聞, 2012.6.29
- 6) 外岡 豊: 本気の温暖化対策を!, 研究者の眼, 創立 60 周年の埼玉大学, 埼玉新聞, 2010.5.28
- 7) —: 報告, 国際さいたまシンポジウム—気候変動による国際的課題—, 国連ジャーナル, 春号 2009, p41-47, 2009.3.25
- 8) 外岡 豊: トリレンマの底から希望を見出す—ローマ時代を振り返って, エントロピー, 日本エネルギー学会誌, 2008.12,
- 9) 外岡 豊, 池田清彦: 対論, コンビニ深夜営業の是非, 積極推進で CO₂ 減を, 一業界の対応には限界, 北海道新聞, 2008.7.13, 総合 2
- 10) 日本放送協会: NHK ニュース 9 時, 早稲田大学理工学部機械工学科永田勝也研究室との共同研究結果紹介報道, ボイラ, 工業炉等の省エネ余地について計算したもの, 1990.8.27
- 11) 早稲田大学総長室広報課: 早稲田大学学位論文(博士) 審査要旨, 工学博士(早大乙第 717 号, 論文提出による者), 外岡 豊, 論文題目「都市環境計画のための大気汚染物質排出構造に関する研究」, 早稲田大学広報, 号外第 2003 号, 学位論文— 1243, p 1-3, 1989.5.31

計量計画研究所・所員として担当した研究業務

1. 環境庁・大気汚染物質燃焼系発生源関係

- i001) 計量計画研究所：都市型大気汚染防止対策調査―巨大都市地域における大気環境管理モデル策定調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 50 年度），1976
- i002) 計量計画研究所：都市型大気汚染防止対策調査―巨大都市地域における大気環境管理モデル策定調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 51 年度），1977
- i003) 計量計画研究所：都市型大気汚染防止対策調査―巨大都市地域における大気環境管理モデル策定調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 52 年度），1978
- i004) 計量計画研究所：石炭等使用実態調査環境庁大気保全局委託（昭和 54 年度），1980
- i005)#センチュリリサーチセンタ：産業構造と大気汚染の相互関係分析調査，1980
- i006)#センチュリリサーチセンタ：エネルギーと大気汚染モデルに関する基礎調査報告書，1981
- i007) 計量計画研究所：大気汚染物質排出構造解析調査，環境庁大気保全局委託（昭和56年度），1981
- i008) 計量計画研究所：汚染マップ調査解析，日本電算委託（昭和 56 年度），1981
- i009) 計量計画研究所：大気汚染物質排出量総合調査に係る基本解析調査マクロ・チェック作業報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 56 年度），1982
- i010) 計量計画研究所：エネルギー消費と大気環境影響分析モデルに関する調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 56 年度），1982
- i011) 計量計画研究所：エネルギー消費と大気環境影響分析モデルに関する調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 57 年度），1983
- i012)#E X 都市研究所：窒素酸化物測定方法調査，環境庁委託（昭和 55 年度），1981
- i013)#E X 都市研究所：窒素酸化物測定方法調査，環境庁委託（昭和 56 年度），1982
- i014)#E X 都市研究所：石炭利用施設ばい煙等排出状況実態調査報告書，石炭利用等と大気汚染環境保全対策検討会（昭和 57 年度），1983
- i015)#環境庁大気保全局：石炭利用に係る大気汚染防止対策調査報告書，1985
- i016) 計量計画研究所：大気汚染物質排出原単位解析検討調査報告書，1983
- i017) 計量計画研究所：大気汚染物質排出原単位解析検討調査報告書別冊（排出量総合調査手法の基礎的検討），環境庁委託（昭和 57 年度），1983
- i018) 計量計画研究所：汚染マップ調査に係る基礎解析，日本電算委託（昭和 57 年度），1983
- i019)#神奈川県公害センター：環境庁委託業務結果報告書（大気汚染物質発生量原単位調査）―集計・解析―，1983
- i020) 計量計画研究所：エネルギー消費構造と大気汚染物質排出構造総合解析調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 58 年度），1984
- i021) 計量計画研究所：大気汚染物質排出量総合調査報告書，環境庁大気保全局委託，1985
- i022) 計量計画研究所：大気汚染物質排出量総合調査報告書 資料編，1985
- i023) 計量計画研究所：大気汚染物質発生量原単位解析検討調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 61 年度），1987
- i024) 計量計画研究所：大気汚染物質排出実態解析手法検討調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 62 年度），1988

- i025) 計量計画研究所：大気汚染物質排出総合調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 63 年度），1989
- i026) 計量計画研究所：大気汚染物質排出実態解析調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 63 年度），1989
- i027) 計量計画研究所：大気汚染物質排出量総合調査，環境庁大気保全局委託（平成元年度），1990
- i028) 計量計画研究所：大気汚染物質排出量総合調査データチェックマニュアル検討調査，環境庁大気保全局委託（平成元年度），1990
- i029) 計量計画研究所：大気汚染物質排出実態解析査，環境庁大気保全局委託（平成 2 年度），1991
- i030) 計量計画研究所：大気汚染物質排出実態解析査，環境庁大気保全局委託（平成 4 年度），1993
- i031) 計量計画研究所：環境庁保全長期構想に係る環境負荷量調査（大気分野）報告書，環境庁企画調整局委託，1985
- i032) 計量計画研究所：二酸化窒素環境基準達成緊急対策検討調査，環境庁大気保全局委託（昭和 60 年度），1986
- i033) 計量計画研究所：硫黄酸化物対策等効果分析調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 61 年度），1986
- i034) *計量計画研究所：NO_x 高濃度総合解析調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 63 年度），1989
- i035) 計量計画研究所：大都市交通総量抑制等計画策定推進調査，環境庁大気保全局委託（平成 2 年度），1991
- i036) 計量計画研究所：ばい煙処理施設稼働状況調査報告書，環境庁大気保全局委託（平成 3 年度），1992
- i037) 計量計画研究所：大気汚染物質の固定発生源施設種類別排出量調査，環境庁大気保全局委託業務報告書（平成 5 年度），1994
- i038) #未来工学研究所：エネルギー生産，消費における環境からの制約条件の分析，1986

2. 環境庁・大気汚染物質蒸発系発生源関係（炭化水素類，光化学大気汚染）

- i039) 計量計画研究所：光化学大気汚染にかかる大気汚染物質排出モデル作成調査（昭和 56 年度，環境庁大気保全局委託），1982
- i040) 計量計画研究所：関東地域の大気汚染発生源メッシュ・データ作成作業報告書，環境庁国立公害研究所委託（昭和 60 年度），1986
- i041) *計量計画研究所：光化学モデル発生源データ作成作業，日本科学技術研修所研究委託（昭和 58 年度），1983
- i042) 計量計画研究所：西日本地域の大気汚染物質発生源メッシュ・データ作成，環境庁国立公害研究所委託（平成元年度），1990
- i043) 計量計画研究所：炭化水素類排出量概要推計方法確立調査，環境庁大気保全局委託（昭和 58 年度），1984

- i044) 計量計画研究所：炭化水素類排出量概要推計調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 59 年度），1985
- i045) 計量計画研究所：炭化水素類排出量概要推計調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 60 年度），1986
- i046) 計量計画研究所：炭化水素類発生源基礎解析調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 61 年度），1987
- i047) 計量計画研究所：炭化水素類発生源対策調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 62 年度），1988
- i048) 計量計画研究所：炭化水素類発生源対策調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 63 年度），1989
- i049) 計量計画研究所：炭化水素固定発生源対策検討調査，環境庁大気保全局委託（平成元年度），1990
- i050) 計量計画研究所：炭化水素固定発生源対策検討調査，環境庁大気保全局委託（平成 2 年度），1991
- i051) 計量計画研究所：炭化水素類固定発生源対策調査報告書，環境庁大気保全局委託（平成 3 年度），1992
- i052) 計量計画研究所：炭化水素類固定発生源対策基礎情報調査，環境庁大気保全局委託業務報告書（平成 5 年度），1994
- i053)* 計量計画研究所：光化学オキシダント長期予測モデル作成調査，環境庁大気保全局委託（昭和 60 年度），1986
- i054)* 計量計画研究所：光化学オキシダント長期予測モデル作成調査，環境庁大気保全局委託（昭和 61 年度），1987
- i055)* 計量計画研究所：光化学オキシダント長期予測モデル作成調査，環境庁大気保全局委託（昭和 62 年度），1988
- i056)* 計量計画研究所：光化学オキシダント長期予測モデル改良調査，環境庁大気保全局委託（平成 4 年度），1993
- i057)* 計量計画研究所：光化学オキシダント長期予測モデル確立調査，環境庁大気保全局委託業務報告書（平成 5 年度），1994

3. 環境庁・温室効果ガス排出量関係

- I058) *計量計画研究所：地球温暖化が及ぼす影響評価予備調査報告書，環境庁大気保全局委託（昭和 63 年度），1989
- i059) 計量計画研究所：E P A 地球温暖化モデルの我が国への適用に関する調査，環境庁大気保全局委託（平成 2 年度），1991
- i060) 計量計画研究所：温室効果ガス等排出抑制施策のための排出構造解析調査，環境庁大気保全局委託（平成 2 年度），1991

- i061) 計量計画研究所：温室効果ガスに関する排出量等調査報告書，環境庁大気保全局委託（平成3年度），1992
- i062) #環境庁地球環境部：二酸化炭素排出量調査報告書，及び英語版，Global Environment Dept. Environment Agency, Government of Japan (1992) The Estimation of CO₂ Emission in Japan, 国立環境研究所森口祐一と共同作業，1992
- i063) 計量計画研究所：温室効果ガス排出量推計手法検討調査，環境庁大気保全局委託（平成4年度），1993
- i064) 計量計画研究所：前駆物質排出目録検討調査，環境庁請負調査（平成8年度），（埼玉大学移籍後実作業担当），1997

4. 自治体委託

- i065) *計量計画研究所：環境計画策定調査，川崎市委託（昭和63年度），1987
- i066) *計量計画研究所：東京集中問題調査，東京都委託（平成元年度），1990
- i067) *計量計画研究所：大気汚染対策推進のための基礎調査，東京都環境保全局委託（平成3年度），1992
- i068) *計量計画研究所：窒素酸化物対策業務，山梨县委託，1994

5. 建築研究所・都市施設研究室関係

- i069) 計量計画研究所：都市ユーティリティ施設設備手法に関する研究，建設省建築研究所第6研究部都市施設研究室委託（昭和49年度），1975
- i070) #建設省建築第6研究部都市施設研究室：都市交通計画におけるエネルギー評価に関する研究報告書（昭和54年度），1980
- i071) 建設省建築第6研究部都市施設研究室：都市交通計画におけるエネルギー評価に関する研究報告書（昭和55年度），1981

6. 建築研究所・産業連関表温室効果ガス排出量推計

- i072) 計量計画研究所：都市開発活動による炭酸ガス発生量推計のための基礎データ解析報告書 建設省建築研究所委託（平成2年度），1991
- i073) 計量計画研究所：都市開発活動による炭酸ガス発生量推計方法及び発生源対策技術動向の調査，建築研究所委託（平成3年度），1992
- i074) 計量計画研究所：都市開発活動による炭酸ガス発生対策技術の導入可能性と削減効果の調査，建築研究所委託（平成4年度），1993

7. 建築研究所・都市構造とエネルギー研究会

- i075) 計量計画研究所：市街地における資源エネルギー消費構造分析のための資料収集・整理，報告書名＝都市構造と資源・エネルギー消費の検討（都市構造とエネルギー研究会報告），建築研究

所委託（平成 3 年度），1992

- i076) 計量計画研究所：広域都市群レベルのエネルギー消費及び省エネルギー対策の効果の把握に関する方法論の検討（都市構造とエネルギー研究会報告），建築研究所委託（平成 4 年度），1993
- i077) 計量計画研究所：省資源・省エネルギー型都市整備に向けた市街地計画ガイドライン策定のための基礎的研究（都市構造とエネルギー研究会報告）建築研究所委託（平成 5 年度），1994
- i078) 計量計画研究所：省資源・省エネルギー型都市整備に向けた市街地計画ガイドライン策定のための基礎的研究（都市構造とエネルギー研究会報告）建築研究所委託（平成 6 年度），1995

8. 東京湾横断道路調査

- i079) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 51 年度），1977
- i080) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 52 年度），1978
- i081) 計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 53 年度），1979
- i082) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 54 年度），1980
- i083) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 55 年度），1981
- i084) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 56 年度），1982
- i085) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 58 年度），1984
- i086) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 59 年度），1985
- i087) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 60 年度），1986
- i088) *計量計画研究所：東京湾横断道路大気質影響調査報告書，国土開発技術研究センター委託（昭和 61 年度），1987

9. 交通系，その他委託元

- i089) #日本エネルギー経済研究所：交通部門の省エネルギーに関する研究（昭和 56 年度），1981
- i090) *計量計画研究所：道路環境情報の整備に関する検討報告書，建設省関東地方建設局，道路環境研究所委託（昭和 61 年度），1987
- i091) *計量計画研究所：自動車排気の大気拡散研究用基準データベースの編集業務，社団法人日本自動車工業会委託（平成 6 年度），1995

10. 酸性雨・環境省，電力中央研究所（狛江）

- i092) *計量計画研究所：関東地域における酸性雨実態解析調査，環境庁大気保全局委託（昭和61年度），1987
- i093) *計量計画研究所：地域スケールにおける酸性雨把握システム作成調査，環境庁大気保全局委託（昭和62年度），1988
- i094) *計量計画研究所：広域輸送モデルの開発，電力中央研究所委託（昭和63年度），1989
- i095) 計量計画研究所：発生源調査，電力中央研究所委託（平成元年度），1990
- i096) 計量計画研究所：原因物質発存量予測調査，電力中央研究所委託（平成6年度），1995
- i097) 計量計画研究所：長距離輸送モデルによる酸性物質の濃度解析，電力計算センター委託（平成3年度），1992
- i098) 計量計画研究所：発生源調査，資源環境技術総合研究所委託（平成4年度），1993
- i099) 計量計画研究所：原因物質発存量予測調査，電力中央研究所委託，1994

11. エネルギー需要分析，電力中央研究所（大手町），日本電熱協会

- I100) 計量計画研究所：エネルギー機器別燃料消費データの分析，電力中央研究所委託（昭和61年度），1987
- I101) 計量計画研究所：燃料選択と電力シフトの実態調査，電力中央研究所委託（昭和62年度），1988
- I102) 計量計画研究所：エネルギー間競合にかかる利用機器別需給データの作成，電力中央研究所委託（昭和63年度），1989
- I103) 計量計画研究所：エネルギー消費技術構造と燃料転換にかかるデータ整備，電力中央研究所委託（昭和63年度），1989
- I104) 計量計画研究所：エネルギー間競合分析のためのエネルギー消費構造データベースの作成，電力中央研究所委託（平成元年度），1990
- I105) 計量計画研究所：省エネルギーの限界に関する調査，電力中央研究所委託（平成2年度），1991
- I106) 計量計画研究所：家庭用エネルギー需要分析に関する調査，東京首都圏地域・住宅エネルギー消費実態調査，電力中央研究所経済研究所委託（平成3年度），梶田考一（家政学院大学）協力，1992
- I107) 計量計画研究所：家庭用エネルギー需要分析に関する調査（北海道，鹿児島地区における住宅エネルギー消費実態調査と地域別エネルギー・データベースの作成），電力中央研究所経済研究所委託（平成4年度），梶田考一（家政学院大学）協力，1993
- I108) 計量計画研究所：家庭用エネルギー需要分析，東北地区における住宅エネルギー消費実態調査と地域別エネルギー・データベースの作成，電力中央研究所（平成5年度），梶田考一（家政学院大学）協力，1994
- i109) 計量計画研究所：業務用蓄熱技術に関する調査，電力中央研究所経済社会研究所委託，1996
- i110) 計量計画研究所：電熱需要統計の作成業務，日本電熱協会委託（平成元年度），1990
- i111) 計量計画研究所：産業部門電熱需要統計の作成業務，日本電熱協会委託（平成2年度），1991

- i112) 計量計画研究所：民生部門電熱需要統計の作成業務，日本電熱協会委託（平成 2 年度），1991
- i113) 計量計画研究所：電熱需要統計の作成業務，電熱協会委託（平成 4 年度），1993

12. エネルギー需要分布解析，電力中央研究所（大手町），東電，東ガス

- i114) 計量計画研究所：東京都区部における電力・熱需要推計と地域別エネルギー・データベースの作成，電力中央研究所経済研究所委託（平成 3 年度），1992
- i115) 計量計画研究所：東京都区部における電力・熱需要推計と地域別エネルギー・データベースの作成，電力中央研究所経済研究所委託（平成 4 年度），1993
- i116) 計量計画研究所：メッシュデータによる電力エネルギー消費モデルの研究(1)，東京電力委託（昭和 61 年度），1987
- i117) 計量計画研究所：メッシュデータによる電力エネルギー消費モデルの研究(2)，東京電力委託（昭和 62 年度），1988
- i118) 計量計画研究所：メッシュデータによる電力エネルギー消費モデルの研究(3)，東京電力委託（昭和 63 年度），1989
- i119) 計量計画研究所：メッシュデータによる電力エネルギー消費モデルの研究(4)，東京電力委託（昭和 64 年度），1990
- i120) *計量計画研究所：コージェネ導入による NO_x 濃度変化予測調査，東京ガス株式会社委託，1994
- i121) *計量計画研究所(1994) コージェネレーション等による省エネルギー対策推進地区の抽出に関する研究，東京ガス株式会社委託

13. エネルギー・モデル用技術データ整備等

- i122) 計量計画研究所：エネルギー技術の環境排出及び排出抑制技術に関する調査検討報告書，日本原子力研究所委託（昭和 63 年度），1988
- i123) 計量計画研究所：エネルギー技術の環境影響分析のためのデータベースの作成調査，日本原子力研究所委託（平成元年度），1990
- i124) 計量計画研究所：エネルギー・環境システム解析研究のための基礎データベースの整備，日本原子力研究所委託（平成 2 年度），1991
- i125) 計量計画研究所：MARKAL モデル入力データベースの開発—温室効果ガス排出係数データの整備，日本原子力研究所委託（平成 3 年度），1992
- i126) 計量計画研究所：エネルギー環境リスク分析モデルの開発—地域大気汚染影響計量モデルの基本設計及びデータベース整備—，日本原子力研究所委託（平成 4 年度），1993
- i127) 計量計画研究所：エネルギー環境リスク分析モデルの開発—地域大気汚染影響計量モデルの開発とデータベース整備—，日本原子力研究所委託（平成 5 年度），1994
- i128) 計量計画研究所：エネルギー環境リスク分析モデルの開発—地域大気汚染影響計量モデルの開発とデータベース整備—，日本原子力研究所委託（平成 6 年度），1995
- i129) 計量計画研究所：CO₂ 対策技術データ調査，電子技術総合研究所委託（平成 3 年度），1992

注 # : 他の研究機関報告書作成業務の一部を計量計画研究所が業務契約して外岡が担当

* : 計量計画研究所の他の研究員が主担当として請負った業務の一部を外岡が担当